

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読になったあとは大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

転居される時

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電取扱店をご紹介させていただきます。なお、本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

修理を依頼される時 (出張修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(99～99ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

なお、ビデオカセットレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責については、ご容赦ください。保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名 ビデオカセットレコーダー
 形名 VT-F77NV形
 お買い上げ日 年 月 日
 故障の状況 できるだけ具体的に
 ご住所 付近の目印等も併せてお知らせください
 お名前
 電話番号
 訪問ご希望日

● 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金は、技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付随する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検 長年ご使用の本機の点検を!

ビデオカセットレコーダーはカラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。

特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、おおよそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。

くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

愛情点検



● 長年ご使用のビデオの点検をぜひ!

このようなことはありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理のついでに費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

● ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
 サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名 _____ 電話 () _____

ご購入年月日 平成 年 月 日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。



株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
 電話 (03) 3502-2111

再生紙

この取扱説明書は、地球環境に優しい無塩素漂白100%リサイクル紙を使用しております。

取扱説明書

HITACHI

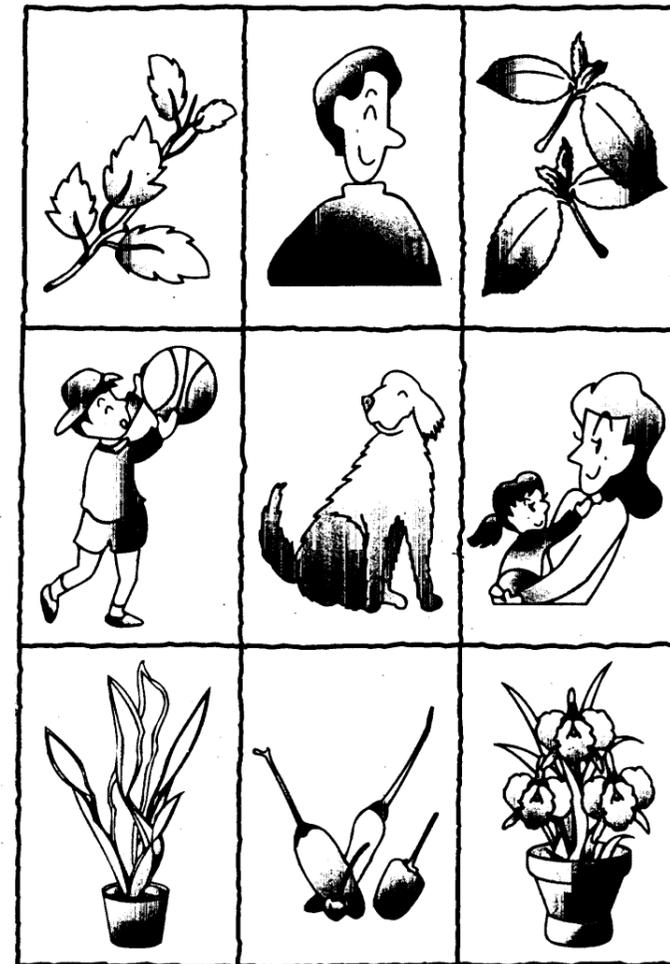
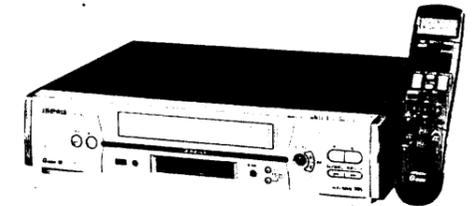
このたびは、日立ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みにになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

日立ビデオカセットレコーダー

ハイファイ
Hi-Fi VHS G-CODE®
VT-F77NV形



はじめに

見る

じりじりな再生

録る

じりじりな録画

タイマー録画

便利な使いかた

設定・準備

ご参考

Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。
 Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

このビデオの特長

テープナビ (55ページ) タイムナビ (64ページ) オート登録 (69ページ)

録画した日にち、開始時刻、チャンネル、録画時間、録画モードなどの情報がビデオに自動的に登録されます。見たい番組の頭出しや時刻を指定しての場面探しが快適にできます。また、オート登録すると昔のビデオのテープナビデータも使えます。

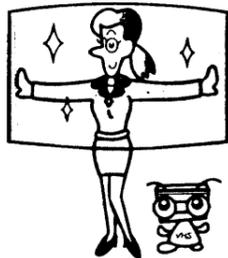


ライブラリ登録 (67ページ)

テープの頭数秒間にテープナビの録画データを記録します。ライブラリ登録をすると、テープナビの登録数を気にせずに、テープナビ・タイムナビが使えます。



高画質



ワイドポジション (26ページ)

輝度の劣化を補正し、クッキリ見やすいワイド映像を再現します。

クローズド・キャプション・デコーダ内蔵 (25ページ)

クローズド・キャプション信号入りのテープを再生すると、英語の字幕を表示できます。



CS簡易予約 (40ページ)

デジタルCSチューナーをつないで番組を予約すると、ビデオ前面のCS予約ボタンを押すだけで、デジタルCS放送がタイム録画できます。



Gコード予約 (41ページ)

Gコードシステム内蔵により、新聞などに掲載されているGコード予約番号(8桁の数字)を入力するだけで、簡単にタイマー予約ができます。



CMとばしワザ (27ページ)

再生中にCMの部分だけ自動的に早送りされます。



CMオートカット (34ページ)

CMを自動的にカットしながら録画できます。



高速リwind (23ページ)

テープを約260倍速で巻き戻します。



19ミクロンヘッド

3倍モードも標準モードに匹敵する高画質で記録します。



3倍モードもきれいに

この説明書の見かた

-: この章の説明が次のページに続きます。
-●: この章の説明がこのページで終わります。

このページの概要

Gコード予約する

タイマー録画予約をしておくと、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。Gコード予約は、新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード予約番号をリモコンに入力するだけで、簡単に録画予約ができます。現在より1カ月先までの番組を予約することができます。

重要

操作の前に必ずお読みください。

おしらせ

このページの操作に関連するおしらせです。

操作前の準備

重要

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは26ページ参照)
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。Gコードボタンを押してやり直してください。

おしらせ

付属のリモコンは当社製ビデオ専用です。当社製以外のGコード対応の機器には使えません。

Gコードシステムについて

- このビデオは、現在掲載されているGコード予約番号、および将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

Gコードの掲載例

4	00	天下の奇術の不思議	458182	Gコード	80057
5	00	ぼくの旅行記(前)	347		
	30	鉄腕アトム(前)	80057		

ビデオで 「つめ」の折れていないテープを入れる

Gコード予約する

1 Gコードボタンを押す

リモコンの表示窓
表示窓で「-」が点滅します。

2 Gコード予約番号を入力する

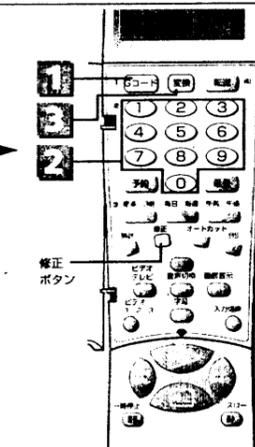
例えば、Gコード予約番号「62466」を入力します。
数字を間違えたときは、修正ボタンを繰り返し押し、間違えたところまで数字を消して、入れ直してください。

3 変換ボタンを押す

リモコンの表示窓に予約内容が出ます。
「Error」が出たら、テレビ欄などのGコード予約番号をもう一度確かめて、やり直してください。

リモコン番号は操作手順と対応しています。ビデオ本体に同じなまへのボタンがあるものは、本体のボタンでも同じ操作ができます。

操作手順



インデックス章ごとに位置を変えてあります。ページを繰り返しながら探すと便利です。

タイマー録画

ボタンを押すことを表します。

41 ページ

安全にお使いいただくためのご注意

ご使用になる前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な注意事項を記載しています。

注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示について



警告

誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

※1 重傷 ……失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害 ……治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害 ……家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

注意(警告を含む)が必要なことを示す記号



一般的な注意



指に注意

してはいけない行為を示す記号



禁止



分解禁止



風呂・シャワー室での使用禁止



水ぬれ禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

必ず実行していただくことを示す記号



電源プラグを抜く

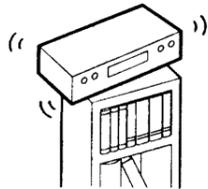
警告

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

頭や足の上などにビデオが落下すると、けがの原因となります。



禁止

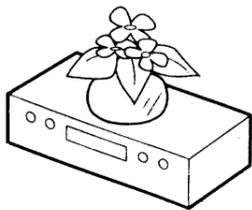


ビデオの上に、花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器、または小さな金属物を置かない

水がこぼれたり金属物が落ちて内部に入ると、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

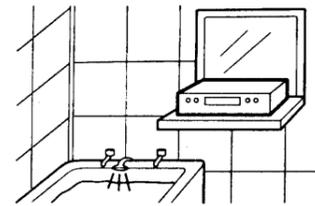


風呂、シャワー室では使用しない

(風呂、シャワー室で使用すると)火災・感電の原因となります。



風呂・シャワー室での使用禁止



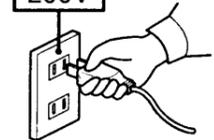
指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使用しない

過電圧により、発熱して、火災・感電の原因となります。



禁止

200V



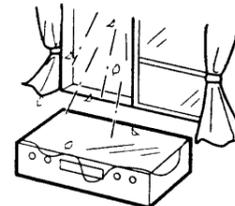
水にぬらさない

内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●屋外や窓辺で使用するときは、ビデオをぬらさないようにご注意ください。



水ぬれ禁止



●内部に水などが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるため、取り扱いの際は、次の点を守ること

- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重い物や角が鋭利なものをのせない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- 束ねない
- 敷物などでおおわない



禁止



破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグを抜く

電源プラグや電源プラグの刃にゴミやほこりを付着させない

そのまま使用すると、発熱・火災の原因となります。

●ほこりが付着しているときは、電源プラグを抜いて、ほこりを取り除いてください。



禁止



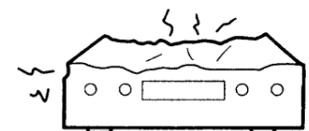
落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く



内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない

ビデオテープ挿入口・ビデオの通風孔などから内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止



●内部に金属物や燃えやすいものが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど異常なときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。



電源プラグを抜く



警告

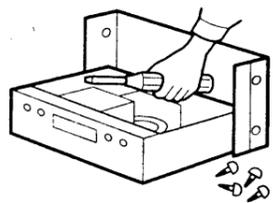
ビデオのカバー、裏ぶたを外さない 分解・修理・改造をしない

分解、修理、改造などで内部の電源部にさわると、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

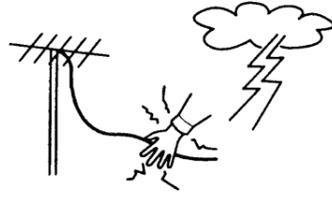


雷が鳴り出したら、アンテナ線や 電源プラグに触れない

アンテナ線や電源プラグに触れると感電の原因となります。



接触禁止



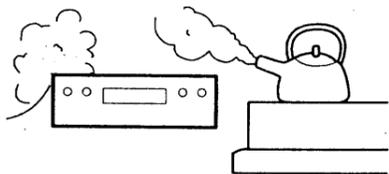
注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当 たる場所、振動が激しい場所に置かない

内部にほこりや水分が入ると、火災・感電の原因となることがあります。また振動により、内部部品が破損すると、発熱し、火災・故障の原因となることがあります。



禁止



ビデオの上に、重い物を置かない ビデオの上に乗らない

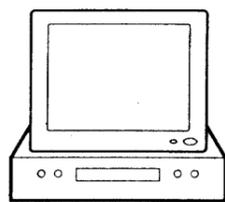
倒れたり、壊れたり、落下などしてけがの原因となることがあります。

また、重みでキャビネットが変形し、内部部品が破損して発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

- 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止



通風孔をふさがない

ビデオの通風孔をふさがないように、設置の際は次の点を守ること

- 横倒し、逆さまにしない
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスを掛けない
- ビデオの後面を壁に押しつけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

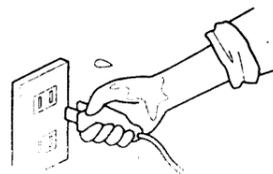


ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれていると、感電する原因となることがあります。



ぬれ手禁止



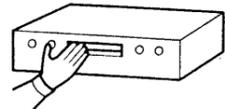
テープ挿入口に手を入れない

内部にふれたり、はさまれたりして、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様にご注意ください。



指に注意

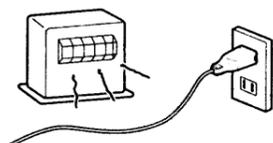


電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止



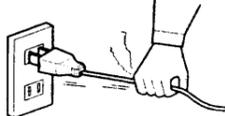
電源コードを持って抜かない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。



禁止



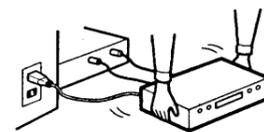
アンテナ線、電源コード、その他のコードを接続したまま移動させない

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- テープ保護のため、ビデオテープは取り出しておいてください。



禁止



指定以外の乾電池は使わない

指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

〈乾電池の液漏れについて〉

- 液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明などの事故の原因となります。こすらずに、すぐきれいな水で洗い流してから、ただちに医師の治療をうけてください。



禁止

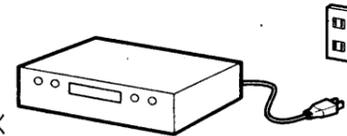


お手入れの際は、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く

電源コードが接続されていると、感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



長期間使わないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



乾電池を取り扱う際は、次の点を守ること

- 火の中に入れない
- 加熱しない
- 充電・分解しない
- ショートさせない
- 鍵などの金属物と接触させない

発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。



禁止



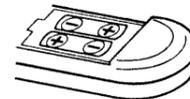
アンテナ工事には、技術が必要です 販売店にご相談ください

アンテナが倒れたり、落下した場合、けがや感電の原因となることがあります。



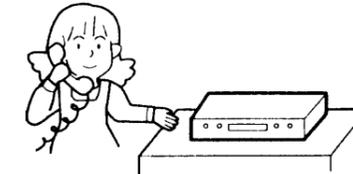
乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)の向きに注意し、機器の指示通り正しく入れる

間違えると、乾電池の発熱・破裂、液漏れなどにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



5年に1度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください

ビデオの内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うことをおすすめします。なお、費用については、ご相談の際にお確かめください。



使用上のご注意

アンテナの立てかたについて

- 妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。
- 金属の多い場所に配線することも避けてください。
- VHFアンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。

アンテナの点検について

- アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは寿命が短くなりますので早めに点検してください。

テレビの映りが悪いときは

- ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなることがあります。このときはブースター(別売品)をご使用ください。

ビデオの設置場所について

テレビの近くに置かない

- テレビラックやオーディオラックなどをご使用のときは、ビデオをラックの下段に設置してご使用になることをおすすめします。(本機をラックの上段でご使用になると、テレビとビデオの位置が近すぎるために、再生中またはテレビ番組を見ているとき、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。)

ラジオの近くに置かない

- ビデオの近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出る場合があります。ビデオから離してご使用ください。

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

強力な磁気のあるところに置かない

- テープが磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたり、故障の原因となることがあります。

接続機器の取り扱いについて

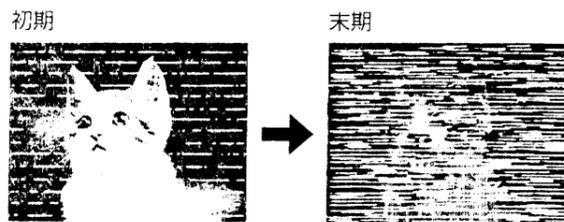
- ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくご覧ください。

ヘッド汚れにご注意!

ビデオヘッドが汚れて、画像や音が出なくなることがあります。

●ヘッドの清掃

(テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になる)



ビデオを使っているとこんな症状が出る場合があります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。

本機ではおそうじヘッドの採用により、ヘッドが汚れにくくなっております。しかし、汚れた場合は別売りのヘッドクリーニングテープをご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

- お使いのビデオにテープナビ機能があり、市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください。

●ヘッドの摩耗



ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

結露にご注意!

※ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます。

- 結露したまま使用するとテープが切れたり、ビデオヘッドを傷つけることがあります。
- 結露が生じてしまったら、水滴を急激に蒸発させることはできません。電源プラグを差し込んで、約2時間お待ちください。
- 結露は次のようなときにおきやすいのでご注意ください。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。
 - ・暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。
 - ・夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。
 - ・湿気の多いところや湯気のたちこめているところ。
- 結露がおこりそうなときは、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“入”にしておくと、結露が生じにくくなります。

外国では使わない

- このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- <This video cassette recorder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

標準モード専用のビデオでの再生について

- 本機の「3倍」モードで録画したテープは「標準」モード専用のビデオでは再生できません。

録画内容の補償について

- ビデオ、ビデオカメラおよびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

テープナビ・タイムナビの録画データの保持について

- 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

大切な録画をするときは試し録りを!

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

著作権について

- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

はじめに

このビデオの特長 2
 この説明書の見かた 3
 安全にお使いいただくためのご注意 4
 使用上のご注意 8
 各部のなまえ 12
 リモコン(ふたを閉じたところ) 12
 リモコンに乾電池を入れる 12
 リモコン(ふたを開けたところ) 13
 リモコンの操作範囲 13
 ビデオ(正面) 14
 ビデオ(後面) 14
 ビデオの表示窓 15
 テープ走行状態表示 15
 表示窓のガイド表示 16
 リモコンの使いかた 17
 テープを入れる・取り出す 18
 入れかた 18
 取り出しかた 18
 テープの「つめ」について(誤消去防止) 18
 テープを見る準備 19
 ビデオの電源を自動的に切る 20

見る

いろいろな再生

テープを見る(再生) 22
 テープを早送りまたは巻き戻したいとき 22
 再生画をきれいにする(トラッキング調節) 23
 テープを高速(260倍速)で送る 23
 聞きたい音声を選ぶ 23
 いろいろな再生のしかた 24
 ある場面を止めて見る(静止画) 24
 画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ) 24
 ゆっくりした速さで見る(スロー) 24
 英語の字幕を見る(Closed Caption) 25
 字幕を止めて見るとき 25
 録画した番組の頭出しをする(VISS) 26
 画像をクッキリさせる(ワイドポジション) 26
 CMをとばして見る(CMとばしワザ) 27
 CMとばしワザのしくみ 27
 CMオートとは 27
 ステレオCMスキップとは 27
 CMとばしワザでCMをとばす 28
 CMとばしワザを解除するには 28
 次のCMの終わりまでとばすには 28
 とばした部分を見たいときは 29
 CMとばしワザでCMがとばせないときは 29

録る

いろいろな録画

テレビ番組を録画する 30
 いろいろな録画のしかた 33
 録画しながら別の番組を見る 33
 選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー) 33
 CMをカットしながら録画する(オートカット) 34
 ダビングする 36
 ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする 36
 本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする 37
 ステレオから音声を録音する(オーディオ録音) 38
 BS放送を録画する 39
 デジタルCS放送を録画する 40

タイマー録画

Gコード予約する 41
 Gコードシステムについて 41
 Gコード予約する 41
 チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する 44
 リモコン予約する 46
 予約の確認・取り消しをする 49
 予約した番組のCMをカットする 50
 タイマー予約・録画のご注意 51

便利な使いかた

画面表示を見る 52
 残り時間・経過時間を表示する 53
 テープの残り時間を表示する 53
 経過時間を表示する 53
 ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト) 54
 テープナビを使う 55
 録画データを登録する 55
 テープの録画データを見る 57
 テープナビ機能とタイムナビ機能を入/切する 58
 録画データを使って番組の頭出しをする 59
 登録内容を取り消す 60
 登録内容を確認する 61
 番組のジャンルマークを設定する 62
 テープナビのご注意 63
 タイムナビで見たい場面を探す 64
 ライブラリデータでテープナビ、タイムナビを使う 67
 昔のビデオで録画したテープでテープナビを使う 69
 リモコンで2台のビデオを操作する 71
 リモコンで他社のテレビを操作する 72

設置・準備

ご自分で設置するときにお読みください。 74~95
 接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたが説明してあります。
 設置・準備編のもくじは74ページをご覧ください。
 受信チャンネルを合わせる 86
 エリアコードで受信チャンネルを合わせる 90
 時計を合わせる 94

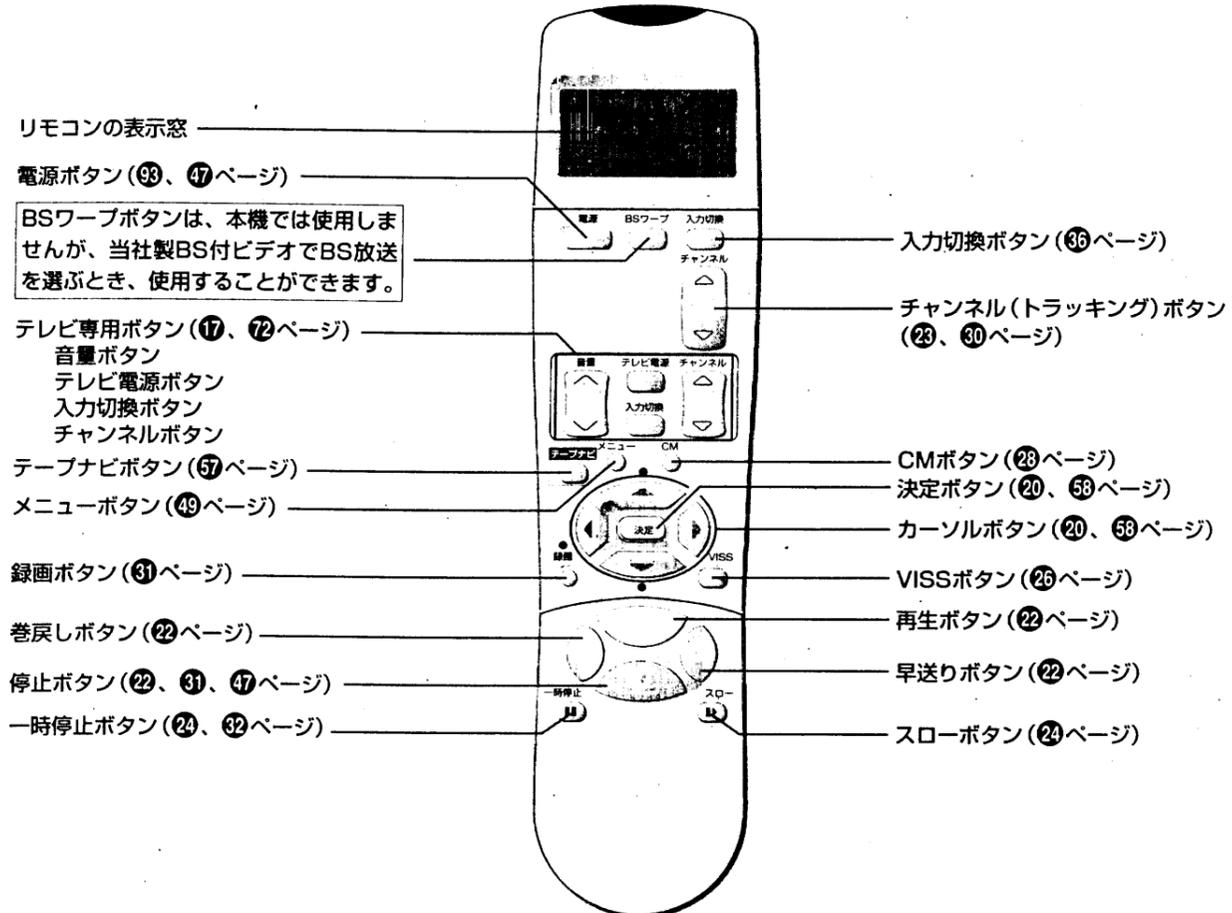
ご参考

故障かなと思ったら 96
 日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表 100
 仕様 102
 別売品のご紹介 102
 用語の解説 103
 索引 105
 保証とアフターサービス 裏表紙

各部のなまえ

()の中のページに詳しい使いかたがあります。

リモコン(ふたを閉じたところ)



注意

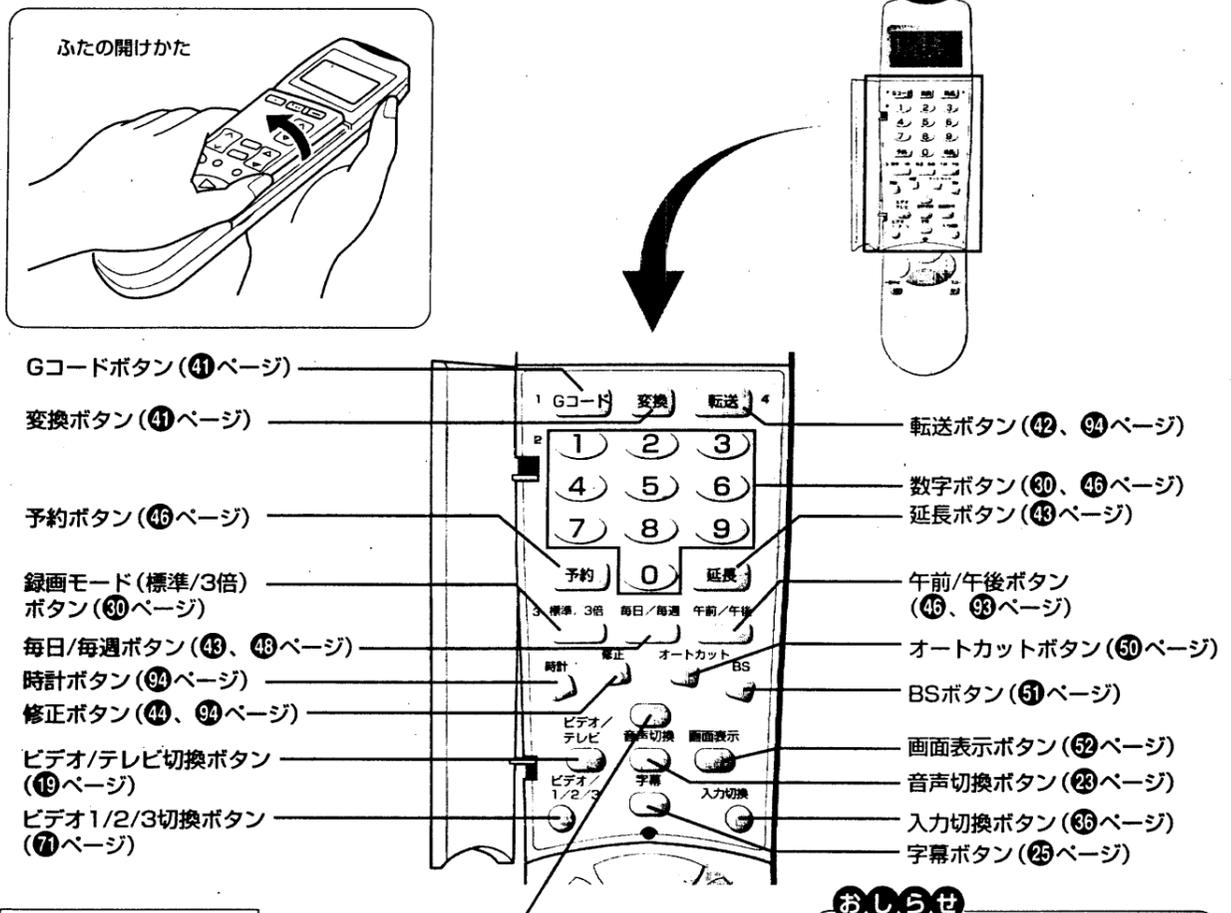
- 指定以外の乾電池は使わないでください。指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - 火の中に入れてない
 - 加熱しない
 - 充電・分解しない
 - ショートさせない
 - 鍵などの金属物と接触させない
- これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

リモコンに乾電池を入れる

ビデオは主にリモコンで操作します。ご使用前に付属の乾電池を入れてください。

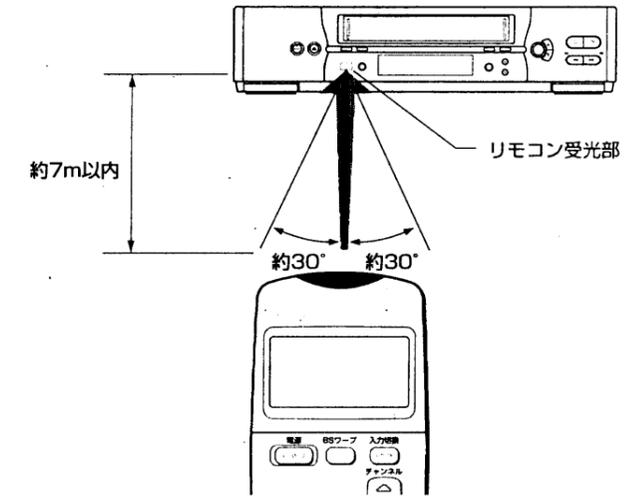


リモコン(ふたを開けたところ)



リモコンの操作範囲

ビデオとリモコンの間に障害物がないときに、次の範囲で操作できます。



おしらせ

乾電池が消耗したとき

①から⑥の症状が出ます。このときは、新しい乾電池に交換してください。

- リモコン操作後、表示窓に マークが出る
- リモコンの到達距離が短くなったり、リモコンでビデオを操作できない
- 表示窓の時計表示が " --- : --- " になった
- 表示が薄くなったり、異常な表示が出る
- 時計が動かない
- 表示がすべて消えた

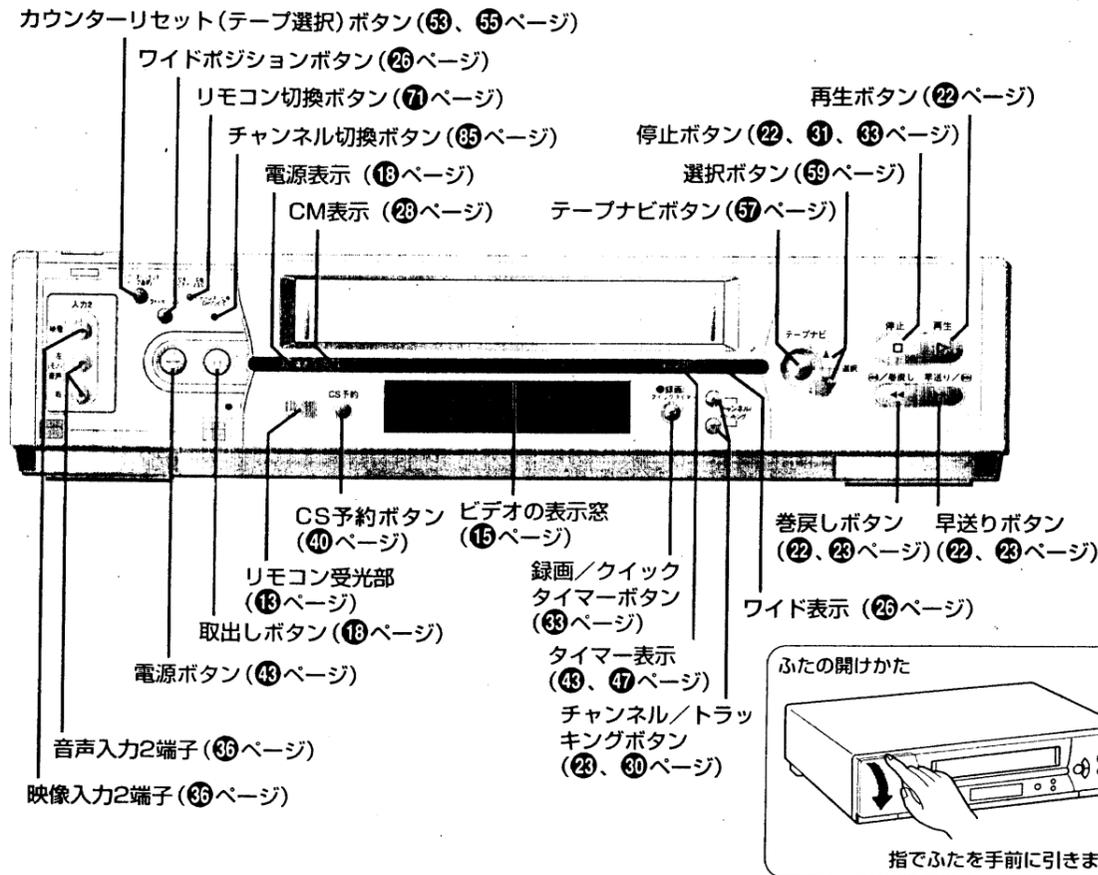
マークについて

乾電池の特質上、一度点灯してもまた消灯する場合があります。

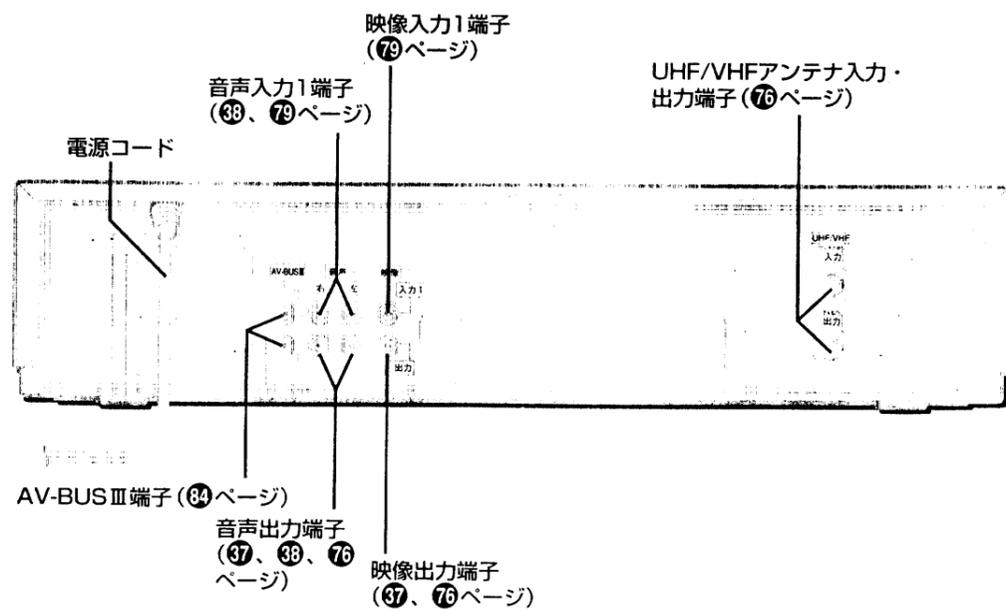
乾電池を交換するとき

古い乾電池を取りはずし、電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください。その後、リモコンの時計を合わせ直してください(リモコンの時計合わせは94ページ参照)。

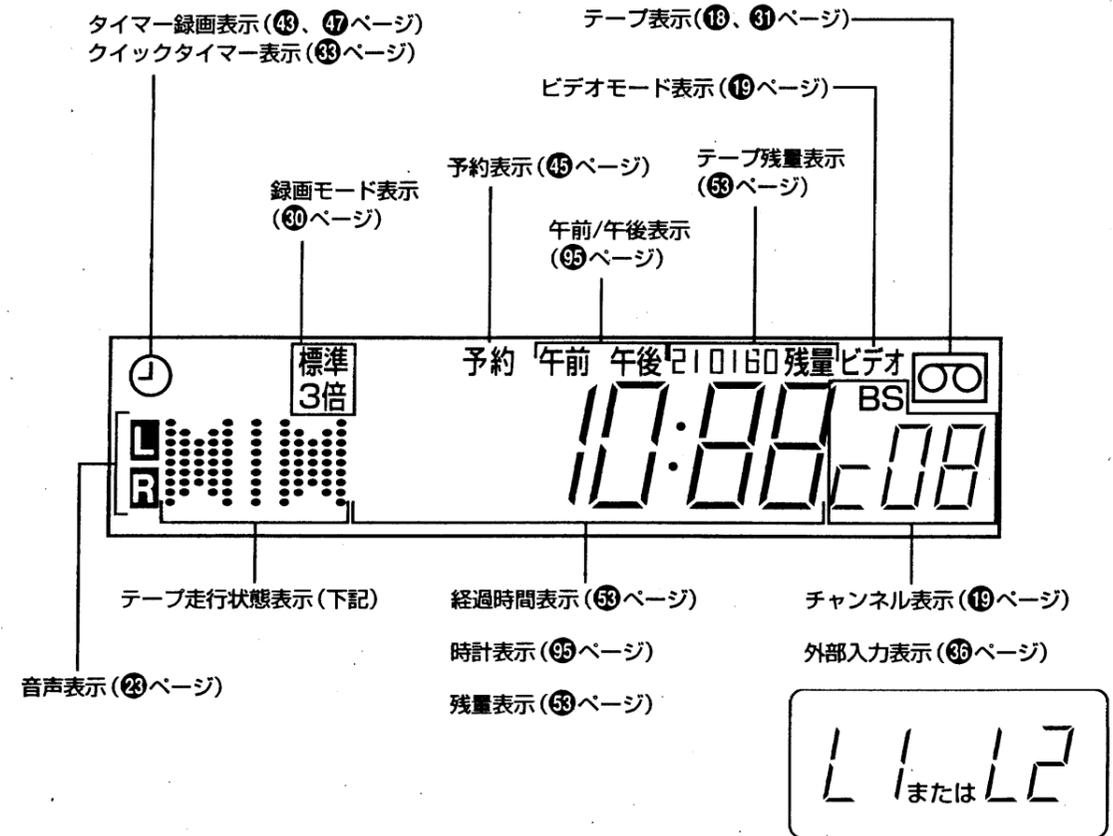
ビデオ(正面)



ビデオ(後面)



ビデオの表示窓



テープ走行状態表示

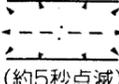
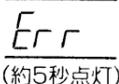
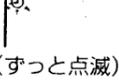
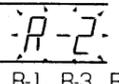
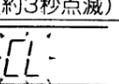
	再生すると点灯		録画一時停止中およびオートカット中点灯
	早送りすると点灯、早送り再生すると点滅		一時停止中点灯
	巻戻しすると点灯、巻戻し再生すると点滅		スロー再生すると点灯

おしらせ

- 電源を切ると、表示窓は暗くなります。
- 表示窓は上記以外にもいろいろなメッセージを表示します (16 ページ参照)。

表示窓のガイド表示

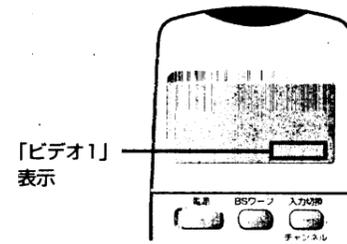
ビデオの表示窓に次のような表示が出て、ビデオの状態をお知らせします。

表示	表示が出るとき	意味と処置	参照ページ
 (約5秒点滅)	タイマー予約転送時	• ビデオの時計が「—:—」になっています。時計を合わせ直してから転送してください。	94
 (約5秒点灯)	タイマー予約転送時	• リモコンをビデオに向けずに転送しています。ビデオに向けてください。	—
 (約5秒点灯)	タイマー予約転送時	• すでに8つの番組が予約されています。不要な予約を取り消してから転送してください。	49
 (約5秒点灯)	タイマー予約転送時	• 予約を受け付けました	42 45 47
 (ずっと点滅)	タイマー予約後、電源を切ったとき、または電源切で予約を転送したとき	• テープが入っていない、またはつめの折れたテープが入っています。つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	43
 (約3秒点滅)	再生、録画、早送り、巻戻しボタンを押したとき	• テープが入っていません。テープを入れてください。	—
 (約3秒点滅)	録画、ダビング時に録画ボタンを押したとき	• つめの折れたテープが入っています。つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	31
 (または、R-1、R-3、R-OFF) (約3秒点滅)	リモコンのボタンを押したとき	• ビデオのリモコン切換ボタンの設定が、リモコンの表示窓の設定と違っています。ビデオのリモコン切換ボタンを押して、リモコンの表示窓の設定(ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3)と合わせてください。	71
 (約3秒点滅)	電源を入れたとき	• ビデオのヘッドが汚れましたので、ヘッドを清掃してください。CL表示を消すには、ヘッド清掃後、電源を切り、ビデオ本体のチャンネル▲ボタンを押してください。なお、CL表示は表示後約5時間録画、再生すると自動的に消えます。	8

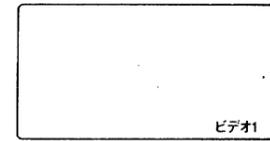
リモコンの使いかた

付属のリモコンは、ビデオ(本機)とテレビを操作できます。
1985年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどを操作できます。
また、日立製以外の9社のテレビも操作できます(詳しくは72ページを参照)。

ビデオを操作する



1 リモコンの表示窓に「ビデオ1」が出ていることを確かめる

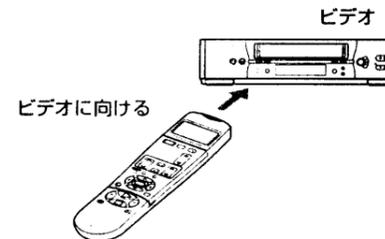


「ビデオ2」や「ビデオ3」が出ているときは、リモコンのふたをあけてビデオ1/2/3ボタンを押してください。

おしらせ

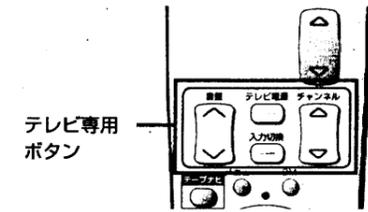
• 工場出荷時は、リモコンの表示窓に「ビデオ1」が表示されているときビデオの操作ができるよう、設定してあります。設定を変えて使うには、71ページをご覧ください。

2 リモコンをビデオに向けて、ボタンを押す

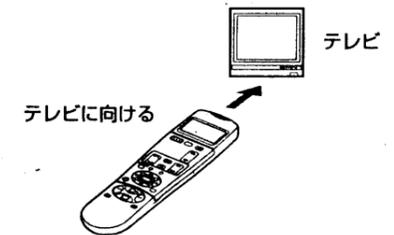


ビデオとリモコンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓にビデオのリモコンコードが数秒間点滅します。
このときは、ビデオのリモコン切換ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-1」を出してください(71ページ参照)。

テレビを操作する



リモコンをテレビに向けて、テレビ専用ボタンを押す



テレビ専用ボタン
• テレビ電源ボタン
• 入力切換ボタン
• チャンネルボタン
• 音量ボタン

テープを入れる・取り出す……………

電源コードをコンセントにつないでおけば、電源の入/切に関係なく、テープの出し入れができます。

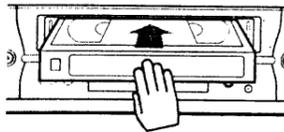


警告

ビデオテープ挿入口から内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

入れかた

テープの中央部を押しながら入れる



- 電源が自動的に入ります。ビデオ前面の[電源]が点灯します。
- ビデオの表示窓に⑩が点灯し、経過時間表示になります。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。

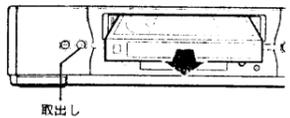
おしらせ

テープを入れると

- ビデオの表示窓が自動的に経過時間表示になります。時計や残り時間表示にするには、画面表示ボタンを押します。

取り出しかた

テープが止まっているとき、取出しボタンを押す



電源を入れなくてもテープを取り出せます。

おしらせ

テープを取り出すと

- ビデオの表示窓が自動的に時計表示になります。

おしらせ

テープの種類と録画時間

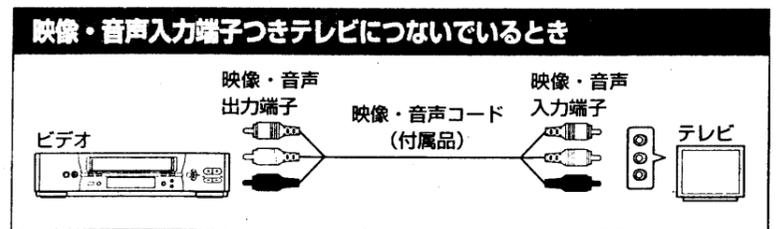
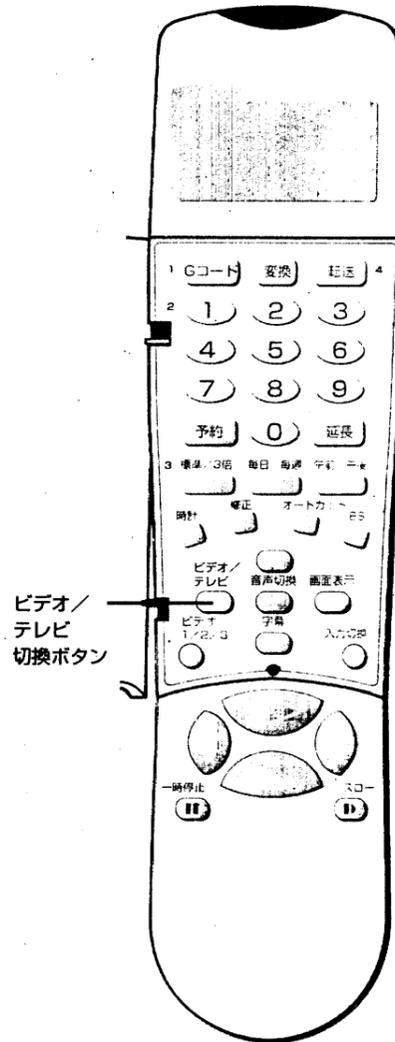
・録画モードを「標準」にするとテープの表示と同じ時間、「3倍」にするとその3倍の時間、録画できます。

テープの種類	T-210		T-180		T-160		T-140		T-120		T-90		T-60		T-30	
	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍
録画時間	3時間30分	10時間30分	3時間	9時間	2時間40分	8時間	2時間20分	7時間	2時間	6時間	1時間30分	4時間30分	1時間	3時間	30分	1時間30分

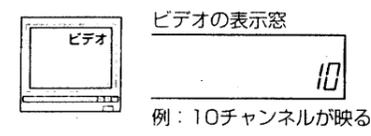
上記には、当社で販売していないテープも含まれています。詳しくは「別売品のご紹介」を参照してください。

テープを見る準備……………

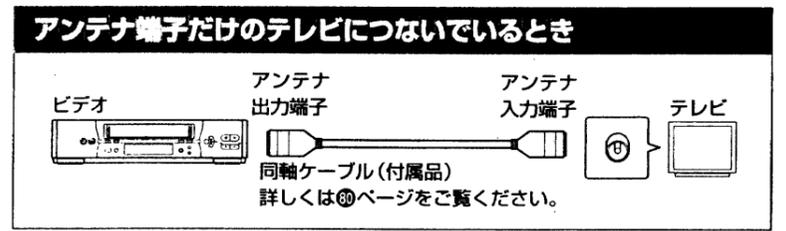
ビデオテープの再生画や録画中の番組をテレビで見するには、テレビの準備が必要です。テレビとビデオの接続を確かめてから、次のように設定してください。



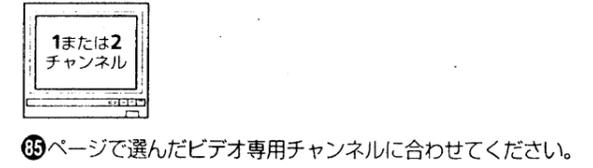
テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする



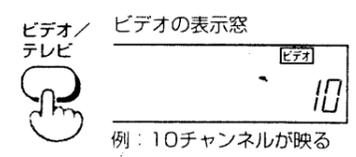
テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。



1 テレビの電源を入れ、テレビをビデオチャンネル(1または2)に合わせる



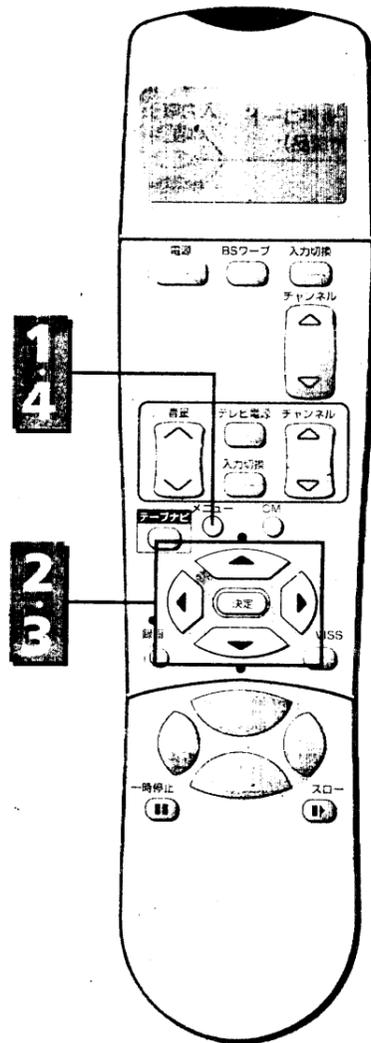
2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す



- ビデオの表示窓に「ビデオ」を出します。
- テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

ビデオの電源を自動的に切る……

このビデオは、何も操作しないと指定した時間で、自動的に電源を切ることができます。この機能をオート電源オフといいます。次のように設定してください。

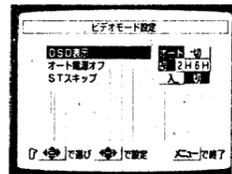


ビデオの電源を自動的に切る(オート電源オフ)

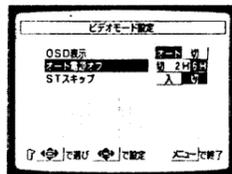
1 メニューボタンを押す



2 ▶ボタンを押して「ビデオモード設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンを押して「オート電源オフ」を選び、◀、▶ボタンで電源を切るまでの時間を選ぶ



- 「2H」を選ぶと2時間後、「6H」を選ぶと6時間後に自動的に電源が切れます。
- 「切」を選ぶとオート電源オフ機能は動きません。

4 メニューボタンを押す



おしらせ

- オート電源オフを設定していて、録画・再生中に他の操作をしないと
- 3分後にビデオの表示窓が自動的に暗くなります。
 - 表示窓が暗いときにビデオを操作すると、表示窓が点灯します。
 - オート電源オフを設定してタイマー録画すると、録画のはじめから表示窓が暗くなります。



操作編

見る

録る

便利な使いかた

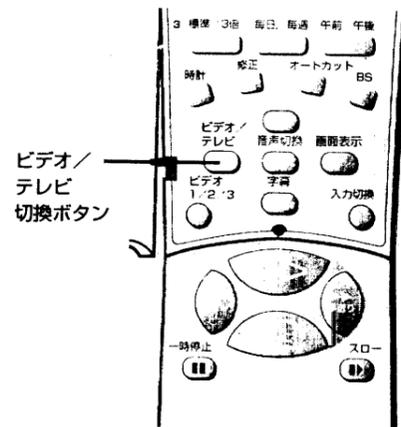
テープを見る(再生)

録画したテープを見ることを、「再生」といいます。

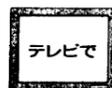
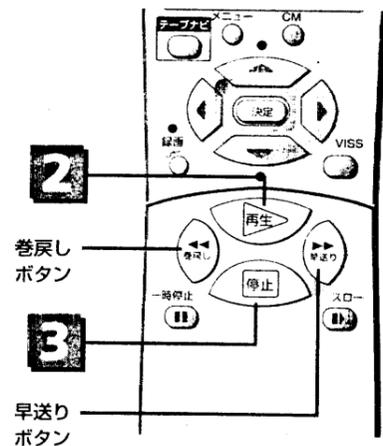
重要

冬など寒い時期は、テープを十分に部屋の温度になじませてから再生してください。テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。

ふたを開けたところ

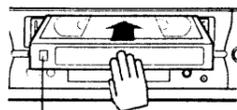


ふたを閉じたところ



- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

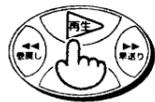
1 録画したテープを入れる



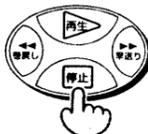
つめ

- 自動的に電源が入ります。
- レンタルテープなど「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「再生」が数秒間出ます。

2 再生ボタンを押す



3 再生を止めたいときは、停止ボタンを押す

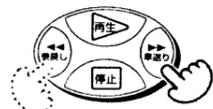


おしらせ

ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶには
 • ビデオ/テレビ切換ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消してください。

テープを早送りまたは巻戻ししたいとき

停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す



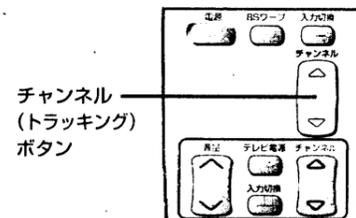
または

おしらせ

こんな機能があります！
 • S-VHS方式、S-VHS ET方式で録画したテープを簡易的に再生できます (簡易再生 (SQPB))。
 • SQPBは、S-VHS Quasi Playback (S-VHS簡易再生) の略です。
 • テープを最後まで再生すると、テープの最初まで自動的に巻戻します。(オートリワインド)
 • テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。(オートリワインドシャットオフ)

再生画をきれいにする(トラッキング調節)

再生を始めると画面がきれいになるように自動的に調節します(オートトラッキング)。再生中にリモコンの再生ボタンを押しても、オートトラッキングが働きます。再生を始めてからしばらくたっても画面がきれいにならないときは、下記の方法で調節してください。



チャンネル(トラッキング)ボタン

再生中にチャンネル(トラッキング)ボタンを押す



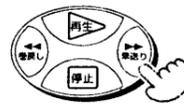
- 画面がもっともきれいになるところに調整してください。
- ビデオのチャンネル/トラッキングボタンでも調整できます。

おしらせ

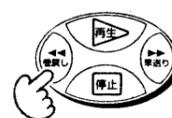
テープによっては再生を始めてオートトラッキングが働いたとき、一時的に画像や音質が悪くなる(ノイズが入る)ことがあります。次のようなテープでは、再生を始めても正常に自動調節できないことがあります。
 • 傷がついたテープ • 録画状態の悪いテープ
 • このビデオ以外で録画したテープ

テープを高速(260倍速)で送る

早送りするとき
早送りボタンを2回押す



巻戻すとき
巻戻しボタンを2回押す

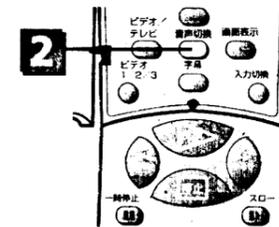


- 高速の早送りまたは巻戻し中、早送りまたは巻戻しボタンを押すと、ふつうの速さに戻ります。

おしらせ

高速で早送りや巻戻しをしているときは、テープ保護のため停止ボタンを押してからテープが止まるまでに約5秒かかります。早く止めたいときは、ふつうの早送り/巻戻しの早さに戻してから停止ボタンを押してください。

聞きたい音声を選ぶ



1 テープを再生するまたはテレビ番組を見る



テレビ画面に音声表示がしばらく出ます。

2 音声切換ボタンを押して音声を選ぶ



ボタンを押すたびに、ビデオの表示窓の「L」「R」の表示が変わります。

表示	表示	
	二重音声番組	ステレオ番組
主音声と副音声 (例: こんにちはと Hello)	ステレオ	ステレオ
主音声だけ (例: こんにちはだけ)	左の音声 (Lチャンネル)	左の音声 (Lチャンネル)
副音声だけ (例: Helloだけ)	右の音声 (Rチャンネル)	右の音声 (Rチャンネル)
主音声だけ (例: こんにちはだけ)	モノラル (ノーマルサウンド)	モノラル (ノーマルサウンド)
表示なし		

おしらせ

• 「表示なし」以外は、Hi-Fiサウンドです。
 • 映像・音声入力端子のないテレビとつないでいるときは、「L」「R」のどちらかを選んでください。「L」「R」を出すと左右の音声が混じって聞こえます。
再生オートについて
 • 一度音声を選ぶと、次に選び直すまでは前に選んだ音声が聞こえます。日立製の再生オート機能付きビデオで録画したテープを再生すると機能します。

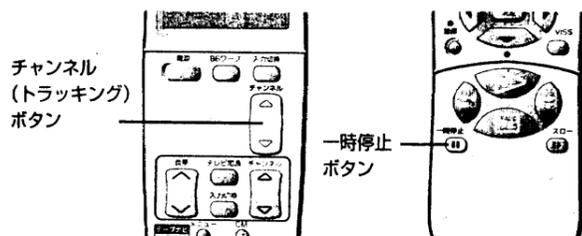
いろいろな再生のしかた

テープに録画した場面を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。

重要

- 静止画、サーチ、CMとばしワザ、スロー再生中は音声が出ません。
- スロー再生や静止画再生中にノイズを調節してもノイズが消えないことがあります。また、静止画、サーチ、スロー再生の切り換わる部分では、画像に乱れやノイズが出たまま消えないことがあります。故障ではありません。
- スロー再生中、テープの録画モード(標準/3倍)が切り換わる場所では、一時的に画像が乱れます。

ある場面を止めて見る(静止画)



再生中に、一時停止ボタンを押す



- 一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- 静止画が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

おしらせ

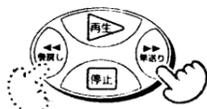
静止画が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、揺れを最小にするように調節してください。
- テレビとの組合せによっては、揺れを抑えられないことがあります。

画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ)

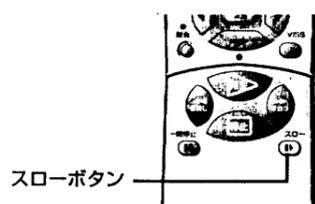


再生中に、早送りまたは巻き戻しボタンを押す



- 見たい場面が出たら、再生ボタンを押します。
- サーチ再生中は、画面に数本のノイズが出ます。
- CMとばしワザを設定していると、CM部分の終わりで再生に戻ります(28ページ参照)。

ゆっくりした速さで見る(スロー)



再生中に、スローボタンを押す



- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- スロー再生が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

おしらせ

スロー再生中や静止画再生中にノイズが出る時は

- スロー再生にしてから、チャンネル(トラッキング)ボタンでノイズが少なくなるように調節してください。スロー再生時のノイズを少なくすると静止画再生時のノイズも少なくなります。

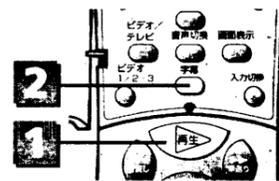
重要

字幕を表示できるのは、 または マークの付いたクローズド・キャプション信号の入ったテープだけです。これ以外のテープでは表示できません。

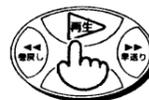
* はナショナル・キャプションング・インスティテュート・インク社のサービスマークおよび商標です。

英語の字幕を見る(クローズド・キャプション Closed Caption)

クローズド・キャプション信号の入ったビデオテープを再生したとき、英語の字幕を表示させることができます。



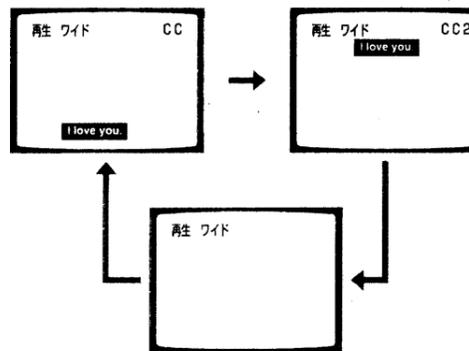
1 クローズド・キャプション信号の入ったテープを再生する



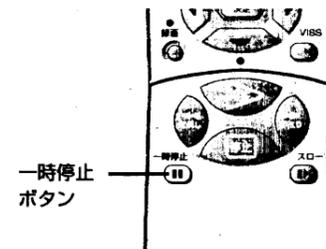
2 字幕ボタンを押す



ボタンを押すたびに、下のように字幕表示が切り換わります。



字幕を止めて見るとき



一時停止ボタンを押す



一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと、再生に戻ります。

おしらせ

字幕が出ないとき

- 早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が消えます。
- テープに傷がついていたり、録画状態の悪いテープでは字幕を正しく表示できないことがあります。

字幕が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンで字幕と画像の揺れを最小に調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては揺れを抑えられないことがあります。

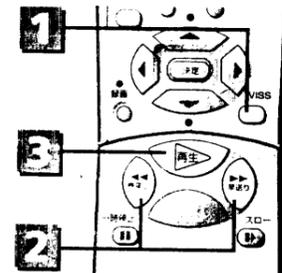
または マークの付いたテープ以外で字幕表示ができるもの

- クローズド・キャプション信号の入ったテープをダビングしたテープ
- 外部入力につないだ、クローズド・キャプション信号の入ったレーザーディスクなど(ただし、デジタルメモリー機能付きのレーザーディスクプレーヤーをお使いのときは字幕表示ができないことがあります)。

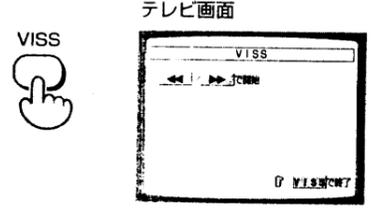
いろいろな再生

録画した番組の頭出しをする(VISS)

テープに記録されている頭出し信号(VISS信号)を使って、見たい番組の頭出しができます。

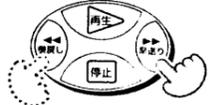


1 停止状態のとき、VISSボタンを押す



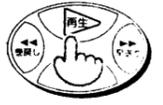
VISS画面が出ます。

2 1の画面が出ている間に、早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 番組の頭(VISS信号の部分)まで早送り、または巻戻されたあと、自動的に約15秒間再生します。
- 番組ごとに、早送り(または巻戻し)と15秒間の再生を繰り返します。

3 見たい番組になったら、再生ボタンを押す



再生になります。

おしらせ

VISS*(頭出し)信号について

- 本機は、録画するたびに、自動的に頭の部分にVISS信号を記録します。
- VISS信号は、録画ボタンを押すと記録されますが、録画一時停止から録画に戻したときは記録されません。ただし音声だけ録音するときやチャンネルを変えたときは、記録されます。

次のような場合、VISS信号が検知されず、頭出しができないことがあります。

- 録画時間が10分以内の番組
- VISS信号が記録されている付近で操作したとき
- 本機以外のVISS機能のないビデオで録画したテープ

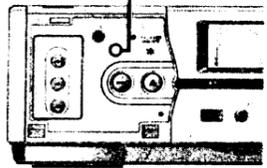
*VISSはVHS Index Search Systemの略です。

重要

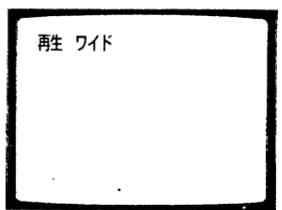
テープをダビングするときは、ワイドポジション機能を解除して「再生 ワイドオフ」を表示してください(27ページ参照)。

映像をクッキリさせる(ワイドポジション)

ワイドポジションボタン



再生中にビデオのふたをあげ、ワイドポジションボタンを押す



- ワイドポジションボタンを押すと、再生した画面の輪郭を強調します。
- ビデオ前面の「ワイド」表示が点灯します。
- ワイドポジションボタンをもう1回押すと、ワイドポジションは解除されます。テレビの画面に「再生 ワイドオフ」と出て、ノイズを抑えた画質で再生します。
- 録画状態の悪いテープを再生する場合は、「再生 ワイドオフ」をおすすめします。

おしらせ

ワイドポジションについて

- 再生中にワイドポジションボタンを押すと、画面にノイズが出るがありますが故障ではありません。
- この機能は、通常の画面をワイド画面にする機能ではありません。

CMをとばして見る(CMとばしワザ)

再生中、CM(コマーシャル)だけを早送り再生でとばして見るができます。

重要

BS、CS放送番組中のCMや、外部入力につないだ機器から録画した番組中のCMは、とばすことができません。

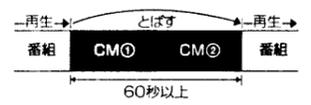
CMとばしワザのしくみ

CMとばしワザは、CMオートとステレオCMスキップの2つの方法でCM(コマーシャル)をとばす機能です。テレビ放送は、ふつう、番組と番組の間に複数のCMが続きます。CMオートは、録画するときに番組とCMの切り換わる点を検出し、再生時にCM部分をとばします。ステレオCMスキップは、ステレオ放送とモノラル/二重音声の違いを検出し、ステレオ放送の部分のみをとばします。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、とばすことができます。

CMオートについて

CMオートは、複数のCMが集まった合計60秒以上の部分を「CM部分」と判断してとばします。CMオートでCMをとばせるのは、このビデオでテープナビを「入」に設定して録画した番組だけです。

■CMオートで正しくとばされる例



- CMが2本、合わせて60秒以上続くと正しくとばされます。

■CMオートで正しくとばされない例

- 例1
-
- 例2
-
- 例3
-
- 1本が60秒以上のCMはとばされません。(テレビショッピングなど)
 - 1本が15秒以内のCMはとばされません。
 - 2本以上続いて60秒未満のCM部分はとばされません。

おしらせ

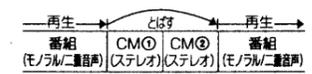
以下の場合には、CMオートでCMをとばせません。このようなときには、ステレオCMスキップをお使いください。

- 本機以外のビデオで録画したとき
- テープナビ「切」で再生しているとき
- テープナビ「切」で録画したとき
- オート登録したテープを再生したとき

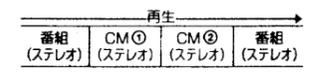
ステレオCMスキップについて

ステレオCMスキップは、ステレオ放送部分を「CM部分」と判断してとばします。他の日立製のステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオで録画したテープでも使えますが、CMの前後の本番組がステレオ放送のときはCM部分がとばされません(29ページ参照)。

■ステレオCMスキップで正しくとばされる例



■ステレオCMスキップでとばされない例



■ステレオCMスキップで正しくとばされない例

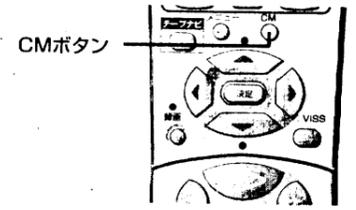
- 例1
-
- 例2
-

いろいろな再生

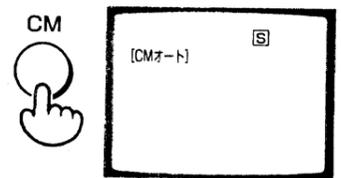
重要

• CMとばしワザでCMをとばせるのは、このビデオでテープナビを「入」にして録画した番組だけです。CMオートでCMをとばすには、録画前にテープナビが「入」に設定されていることを確認してください(68ページ参照)。また、再生時にビデオのテープナビボタンが点灯していることを確認してください。

CMとばしワザでCMをとばす



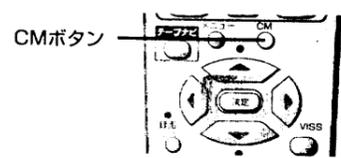
停止中にリモコンのCMボタンを押す



例：CMオートでCMをとばすとき

- CMオートでCMをとばすときは、テレビ画面に数秒間「CMオート」が出ます。
- ビデオ前面のCMが点灯します。
- CMが始まると、スキップ(早送り再生)されて、そのCM部分が終わると再生に戻ります。

CMとばしワザを解除するには

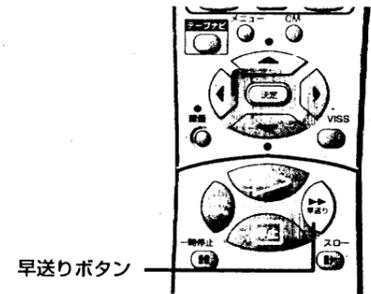


リモコンのCMボタンを押してビデオ前面のCMを消す

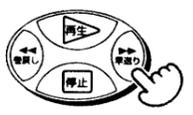


次のCMの終わりまでとばすには

ビデオ前面のCMが点灯しているときは、番組の途中から次のCM部分の終わりまで、またCMの途中からそのCM部分の終わりまでをとばすことができます。



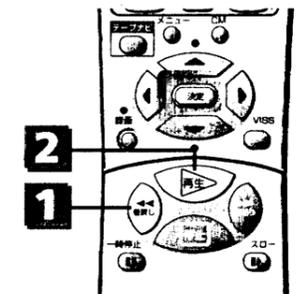
再生中に早送りボタンを押す



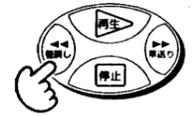
- 早送り再生が始まります。
- CM部分の終わりまでとばすと再生に戻ります。

とばした部分を見たいときは

CMオートでCMをとばしたときは、とばした部分に戻って再生できます。

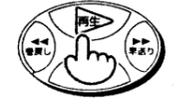


1 巻戻しボタンを押す



巻戻し再生でとばした部分の頭まで巻戻します。

2 再生ボタンを押す



おしらせ

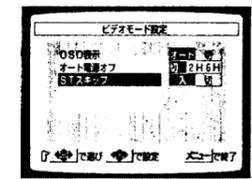
CMオートのご注意

- 録画開始部分や終了部分では、正しくとばせないことがあります。
- 番組によっては、CMオートが正しく動作しないことがあります。
- CMによっては、CMの途中からとばしたり、CMの途中で再生に戻ることがあります。
- 番組予告がとばされることがあります。
- 番組および電波の状態によっては、番組の一部がとばされることがあります。
- 録画中に電源コードが抜かれたり、停電が起きたりすると、CMオートは正しく動作しません。

CMとばしワザでCMがとばせないときは

1 メニュー画面で「ビデオモード設定」を選ぶ

2 「ビデオモード設定」の画面で「STスキップ」を「入」に切り換えて、メニューボタンを押す



3 停止中にリモコンのCMボタンを押して、ビデオ前面のCMを点灯させる

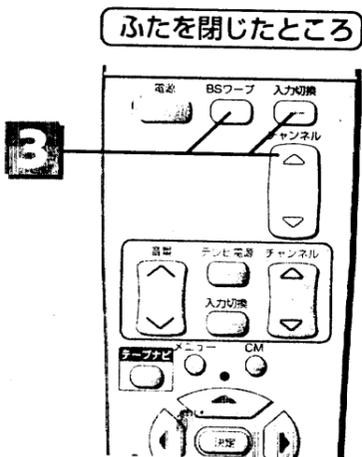
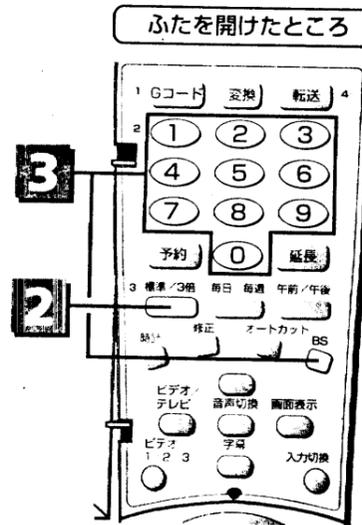


テレビ番組を録画する

テレビで見ている番組をテープに録画します。

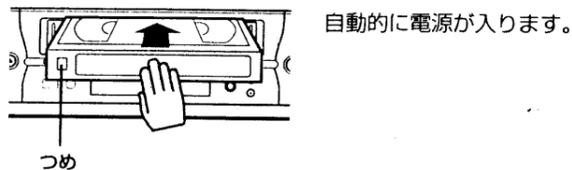
重要

テープを入れると、ビデオのテープナビボタンが数秒間点滅してから点灯します。点滅している間は録画ボタンや他の操作ボタンを押さないでください。

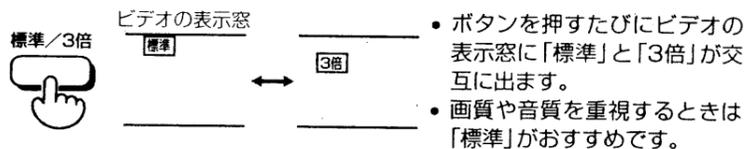


- テレビで
- テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

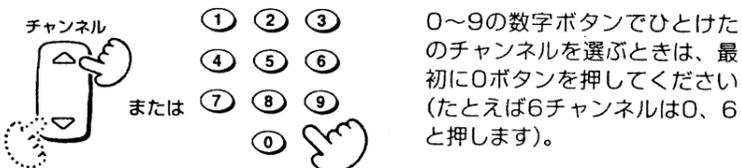
1 「つめ」の折れていないテープを入れる



2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ

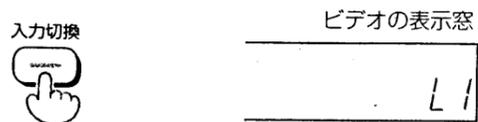


3 録画したいチャンネルを選ぶ



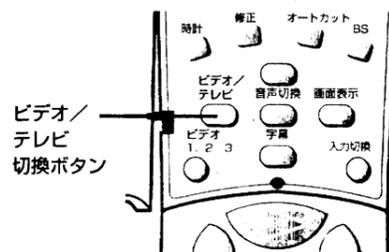
BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビをつないでBS放送を選ぶとき (接続は④～⑥ページ参照)

- 1 BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビで、録画したいBSチャンネルを選ぶ
- 2 ビデオの入力切換ボタンを押して「L1」(外部入力)を表示させる

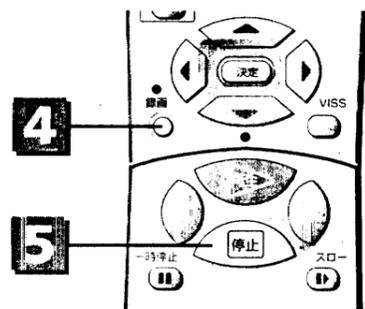


デジタルCS放送を選ぶとき
⑩ページを参照してください。

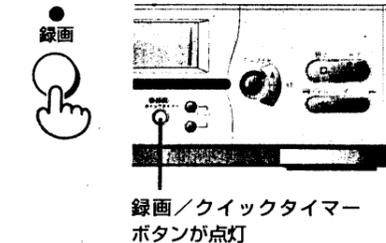
ふたを開けたところ



ふたを閉じたところ

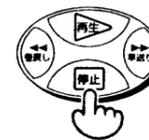


4 録画ボタンを押す



- ビデオの録画/クイックタイマーボタンが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、ビデオの表示窓に「TAB」が数秒間点滅し、自動的にテープが出てきます。
- テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

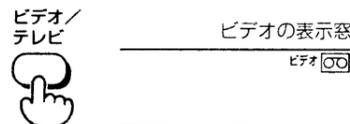
5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す



録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

おしらせ

テレビチャンネル1または2を選んでいるとき
• 録画したいチャンネルがテレビに出ないときは、ビデオ/テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させてください。



オート機能について
• テープの最後まで録画すると自動的に巻戻されます (オートリワインド)。

音声について
• ステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声 (日本語) と副音声 (英語など) が自動的に録音されます。
• 録音中は、録音される音声には影響なく、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます (⑫ページ参照)。
オートカット機能について
• CMをカットしながら番組を録画することができます (⑭ページ参照)。

CMをカットしながら録画する(オートカット)

録画の途中で、CM(コマーシャル)の部分だけカットすることができます。

重要

- 番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ、何も録画することができません。ステレオ放送の番組はオートカット機能を使わないでください。
- 外部入力(L1、L2)で見ている番組およびBS、CSチャンネルは、オートカット機能が働きません。

オートカット機能とは

テレビ放送の音声には、二重音声放送・モノラル放送・ステレオ放送があります。この音声の違いを利用して、二重音声放送とモノラル放送を録画し、ステレオ放送を自動的にカットすることをオートカット機能といいます。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、CMを自動的にカットしながら録画することができます。

オートカット機能についてのご注意

- 「オートカット機能を使ったら、録画できなかった」などの誤りを防ぐために、録画する番組の音声(放送)を確認してからオートカット機能を使うことをおすすめします。
- NHK総合テレビ、NHK教育テレビを録画するときはオートカット機能を使わないでください。オートカット機能を使うと録画されない番組があります。
- 文字多重放送(☒と表示)は、番組が二重音声放送やモノラル放送のときは録画されますが、ステレオ放送のときは録画できません。
- 番組表によっては、ステレオ放送の番組でも[S](ステレオ放送)の表示がないことがあります。ご注意ください。
- 電波の弱い地域では、オートカット機能が正しく働かないことがあります。

番組の音声を知る方法

番組の音声は、新聞などでご確認ください。

番組表の例

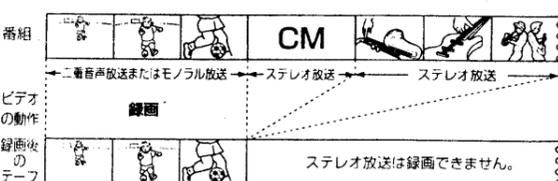
7	00	☒	HITACHIニュース	多	二重音声放送 解説などを聞くことができます。
8	05	☒	海外スペシャルドラマ 「HITACHI street」	☐	二重音声放送(二か国語放送) 日本語と英語を聞くことができます。
9	00	S	ヒットソングタイム ゲスト:H&H	S	ステレオ放送
	30		トークショー		表示なし:モノラル放送

番組表の例は、説明のためのもので実際のものとは異なります。

オートカット機能で正しく録画される例



オートカット機能で正しく録画できない例



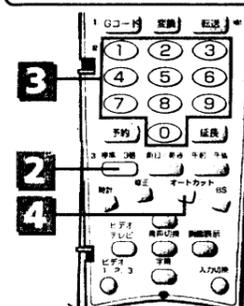
重要

- オートカット機能を使って録画しているときは、一時停止ボタンを押しても録画一時停止にすることはできません。
- オートカット機能でCMをカットした部分には、わずかにCMが録画されることがあります。
- CMカット「一時停止X」の状態が6分以上続くと、ビデオ内部でテープ保護動作が働くため、録画を再開した部分の画が少し乱れることがあります。

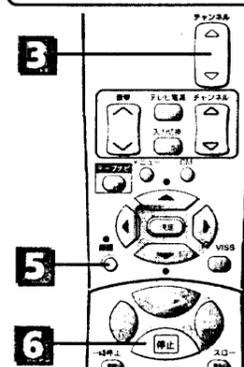


- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

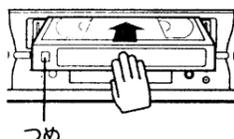
ふたを開けたところ



ふたを閉じたところ

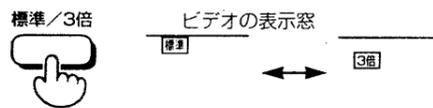


1 「つめ」の折れていないテープを入れる



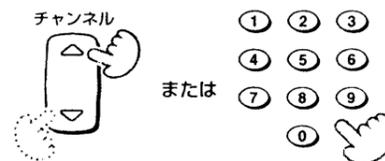
自動的に電源が入ります。

2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ



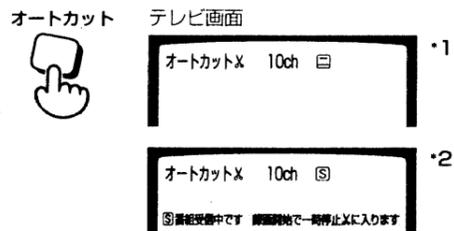
- ボタンを押すたびにビデオの表示窓に「標準」と「3倍」が交互に出ます。
- 画質や音質を重視するときは「標準」がおすすめです。

3 録画したいチャンネルを選ぶ



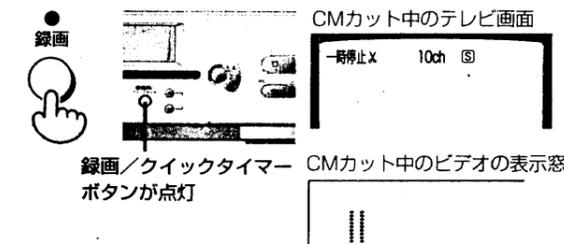
0~9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください(たとえば6チャンネルは0、6と押します)。

4 オートカットボタンを押して「オートカットX」を出す



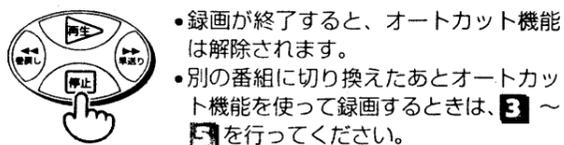
ステレオ番組を見ているときは*2の表示が出て、オートカット機能が使えないことを知らせます。

5 「オートカットX」表示中(8秒以内)に録画ボタンを押す



- ビデオの録画/クイックタイマーボタンが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、自動的にテープが出てきます。
- ステレオ放送のCMを自動的にカットしながら録画します。
- ステレオ放送のCMをカットしているとき、「一時停止X」が出ます。

6 録画をやめるときや、別の番組に切り換えるときは停止ボタンを押す



- 録画が終了すると、オートカット機能は解除されます。
- 別の番組に切り換えたあとオートカット機能を使って録画するときは、3~5を行ってください。

おしらせ

- オートカット機能を解除するとき
- 停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。
 - CMカット中に「一時停止X」が表示されているときは、一時停止ボタンを押すとオートカット機能を解除できます。

50502録画

デジタルCS放送を録画する.....

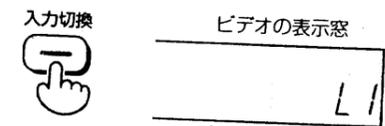
デジタルCSチューナーをつなぐと、デジタルCS放送を録画することができます。
デジタルCS放送を録画する前に、デジタルCSチューナーとの接続を確認してください(83ページ参照)。

重要

デジタルCSチューナーを外部入力1「L1」に接続しておいてください。

デジタルCS放送を見る・録画する

1 ビデオの電源を入れ、入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる



2 デジタルCSチューナーの電源を入れ、チャンネルを選ぶ

デジタルCS放送のチャンネルが映ります。

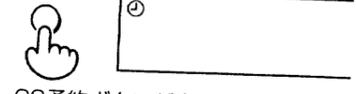
3 録画するときはビデオの録画ボタンを押す



デジタルCS放送をタイマー録画する

1 デジタルCSチューナーでタイマー予約の設定をして、予約の待機状態にする

2 ビデオ本体前面のCS予約ボタンを、約2秒間押す

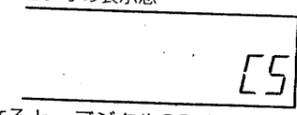


- CS予約ボタンが点灯します。
- ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。

3 ビデオの電源を切る



開始時刻になると、デジタルCSチューナーが予約していた番組を受信し、ビデオの電源が入り、録画が始まります。ビデオの表示窓に「CS」と出ます。

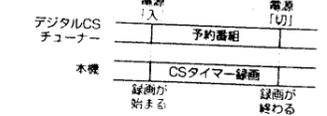


終了時刻になると、デジタルCSチューナーの電源が切れて、ビデオの録画が停止し、電源が切れます。

おしらせ

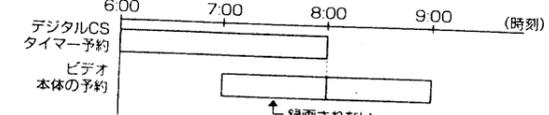
- ビデオをデジタルCS放送の予約の待機状態にしているときには、デジタルCSチューナーの電源を入れないでください。デジタルCSチューナーの電源を入れると、自動的にビデオの録画が始まってしまいます。もし誤ってデジタルCSチューナーの電源を入れてしまった場合は、ビデオ本体前面のCS予約ボタンを約2秒間押してください。このビデオのデジタルCS放送タイマー予約が取り消されます。
- デジタルCS放送の予約を解除したいときはビデオ本体前面のCS予約ボタンを約2秒間押してください。または、テープを取り出してもデジタルCS放送タイマー予約が解除されます。
- デジタルCS放送の予約と他の予約が重なったときは先の予約が優先して録画されます。
- デジタルCSチューナーの電源の入るタイミングにより、ビデオの録画開始が遅れて、番組の最初の部分が録画されません。
- デジタルCSチューナーの取扱説明書もよくお読みください。

(デジタルCS放送タイマー予約のしくみ)

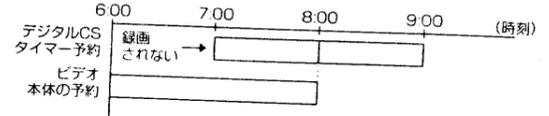


(予約の優先順位)

例1: デジタルCSタイマー予約が優先されます。デジタルCSタイマー予約が最後まで録画されたあと、ビデオ本体の予約が途中から録画されます。



例2: ビデオ本体の予約が優先されます。ビデオ本体の予約が最後まで録画されたあと、デジタルCSタイマー予約が途中から録画されます。



Gコード予約する.....

タイマー録画予約をしておくと、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。
Gコード予約は、新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード予約番号をリモコンに入力するだけで、簡単に録画予約ができます。現在より1カ月前までの番組を予約することができます。

重要

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは94ページ参照)
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。Gコードボタンを押してやり直してください。

おしらせ

付属のリモコンは当社製ビデオ専用です。当社製以外のGコード対応の機器には使えません。

Gコードシステムについて

- このビデオは、現在掲載されているGコード予約番号、および将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

Gコードの掲載例

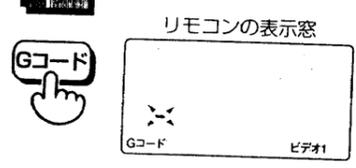
4	00	昼下がりのサスペンス	
	55	「乱心」再	458182
		楽しいクッキング	83521
5	00	はくの旅日記	サン
	30	ゴの海から(前)	347
		鉄腕アトム	80057

Gコード
80057

ビデオで 「つめ」の折れていないテープを入れる

Gコード予約する

1 Gコードボタンを押す



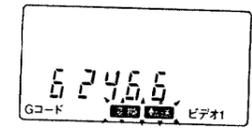
表示窓で「-」が点滅します。

2 Gコード予約番号を入力する

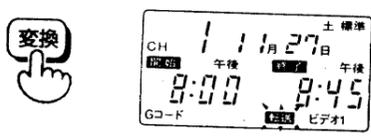
例えば、Gコード予約番号「62466」を入力します。



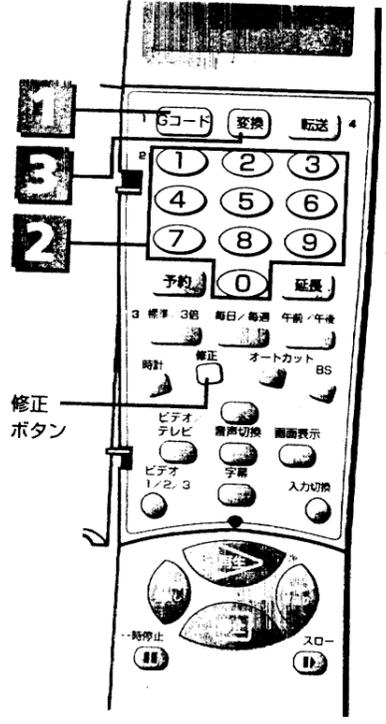
数字を間違えたときは、修正ボタンを繰り返し押して、間違えたところまで数字を消して、入れ直してください。



3 変換ボタンを押す



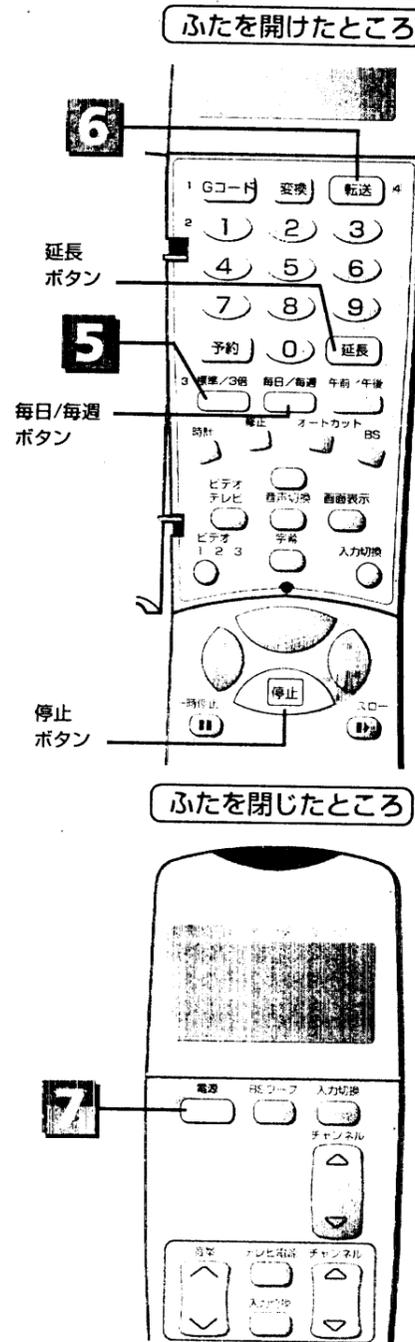
- リモコンの表示窓に予約内容が出ます。
- 「Error」が出たら、テレビ欄などのGコード予約番号をもう一度確かめて、やり直してください。



タイマー録画

重要

タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。



4 表示窓の予約内容を確認する

次のようなときは**43**、**44**ページを見て、予約内容を修正してください。

- 録画したいチャンネル、開始時刻、終了時刻が違っているとき→**41**ページ
- 終了時刻を延長したいとき→**43**ページ
- 毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画したいとき→**43**ページ

チャンネル
開始時刻 終了時刻

5 録画モードを合わせる

ボタンを押すたびに左のように切り換わります。

- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(**5**ページ「録画モードをオートに合わせたとき」参照)。

標準→3倍→オート

6 転送ボタンを押す

ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。

- テレビ画面に予約内容が出ます。
- 続けて別の番組を予約するときは、**1**～**6**を繰り返してください。

ビデオの表示窓
テレビ画面

おしらせ

途中でGコード予約をやめるとき

- Gコードボタンを押してください。

予約内容について

- 番組により、録画時間が実際より長め、または短めに設定されることがあります。
- 放送が終了した番組のGコード予約番号を入力すると、まったく違った予約内容か、または「Error」が表示されます。

7 ビデオの電源を切る

電源

ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。

テープが入っていないと、「タイマー」と①が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

終了時刻を延長するには

41ページの手順**3**のあとで、延長ボタンを押して希望の終了時刻を選ぶ

- ボタンを押すたびに、終了時刻が30分、60分と延長されます。
- 希望の終了時刻を選んだら、**42**ページの**5**へ進んでください。

延長

毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

41ページの手順**3**のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ

- ボタンを押すたびに、左のように切り換わります。
- 希望の終了曜日から、**42**ページの**5**へ進んでください。
- 曜日表示の見かた

日	この日だけの1回録画
月～金	月曜日から金曜日
月～土	月曜日から土曜日
日～土	日曜日から土曜日
毎日	毎日同じ時間に録画
毎週土	毎週同じ曜日のこの時間に録画

おしらせ

タイマー録画予約をしたあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。
- 使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

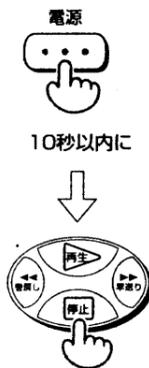
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。
- 「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

オートカット機能について

- CMをカットしながら番組を録画することができます(**50**ページ参照)。
- 6**で予約をビデオに転送したときに、テレビ画面に予約の内容が約1分間出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

タイマー録画を途中でやめるとき

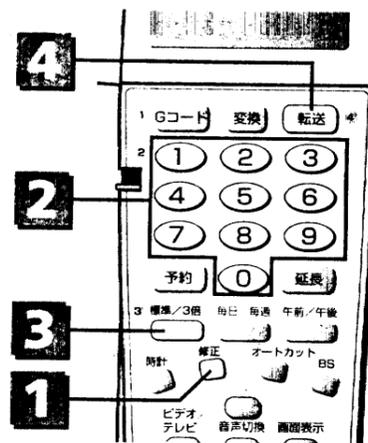
- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



毎日、または毎週予約を転送して、ビデオの表示窓にエラーが出たときは

- 43**ページを参照して修正してください。

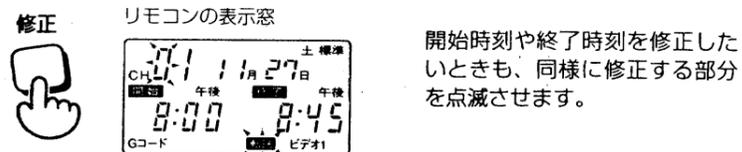
ふたを開けたところ



チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する

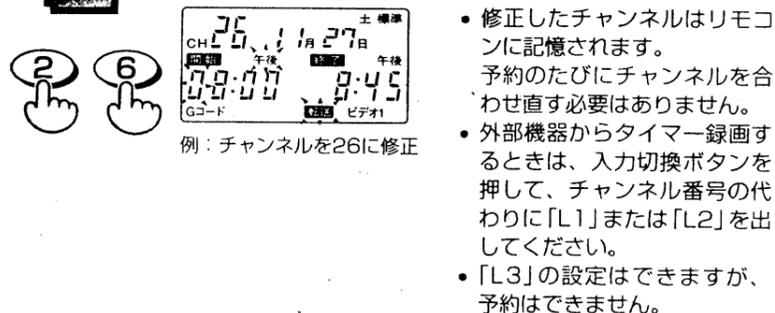
Gコード予約番号を入力して変換ボタンを押したとき、リモコンの表示窓に出る予約内容のチャンネルが違っていることがあります。これは、各地のテレビ局の番組編成によるものです(たとえば26チャンネルの番組をGコード予約したら、1チャンネルが表示されたなど)。また、一部の地域では、異なる放送局の番組に同じGコード予約番号が掲載されている場合があります(たとえば、静岡県の一部の地域で、テレビ静岡と中京テレビの番組が同じGコード予約番号で掲載されることがあります)。
 ④⑤⑥⑦ ④2ページの④で、26チャンネルを予約したはずなのに1チャンネルが表示されたとき(1チャンネルから26チャンネルに修正したい)。

1 修正ボタンを繰り返し押し、修正する部分を点滅させる



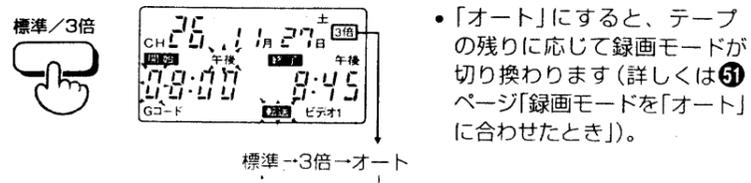
例：チャンネルの10桁の0を点滅させる

2 0~9ボタンを押してチャンネルを修正する



例：チャンネルを26に修正

3 録画モードを合わせる



標準→3倍→オート

- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(詳しくは⑤1ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」)。

おしらせ

- 「0」で始まるGコード(Gコード・インフォ)の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。開始時刻や終了時刻は修正できません。
- 「L3」のタイマー録画はできません。

4 転送ボタンを押す



- ビデオの表示窓に「予約」と「PRG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。
- 続けて別の番組を予約するときは、④⑤ページの①~⑥を繰り返してください。

5 ビデオの電源を切る



- ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。
- テープが入っていないと、「タイマー」と①が点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

おしらせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。
- 使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

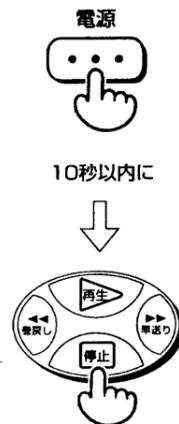
オートカット機能について

- CMをカットしながら番組を録画することができます(⑤0ページ参照)。

④で予約をビデオに転送したときに、テレビ画面に予約の内容が約1分間出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



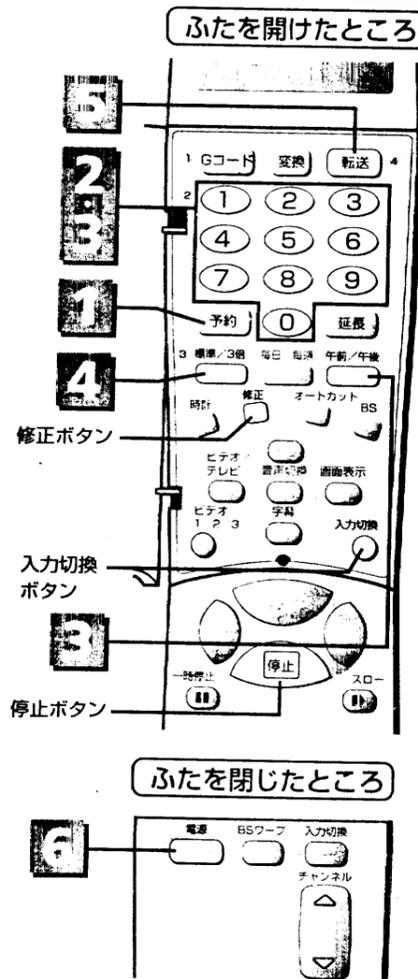
タイマー録画

リモコン予約する

録画したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などをリモコンで予約します。
Gコード予約番号がわからない場合などにご利用ください。現在より1年先までの番組を予約することができます。

重要

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは49ページ参照)。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。予約ボタンを押してやり直してください。
- デジタルCS放送のタイマー録画については、40ページを参照してください。

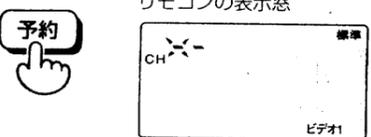


ふたを開けたところ

4チャンネルを、午後9時00分から午後10時55分まで、11月6日に、3倍モードで録画するとき

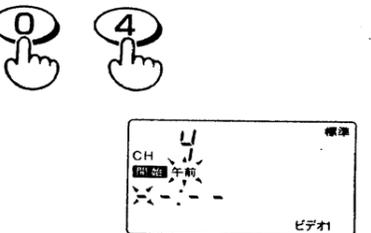
ビデオで 「つめ」の折れていないテープを入れる

1 予約ボタンを押す



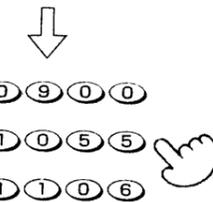
表示窓で「-」が点滅します。

2 録画したいチャンネルを合わせる



- ひとけたのチャンネルを合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- 外部機器からタイマー録画するとき、入力切換ボタンを押してチャンネル番号の代わりに「L1」または「L2」を表示させてください。
- 「L3」の設定はできますが、予約はできません。

3 開始時刻、終了時刻、日にちの順に合わせる



- 先に開始時刻の午前か午後を選びます。終了時刻の午前/午後は自動的に表示されます。
- 昼の12時は「午後00:00」、夜の12時は「午前00:00」に合わせてください。
- 日にちを合わせると曜日は自動的に表示されます。

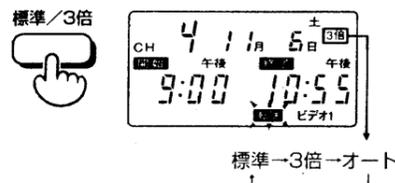
おしらせ

- 「L3」のタイマー録画はできません。予約している途中で修正するとき
- 修正ボタンを繰り返し押し、修正したいところまで点滅に戻して行ってください。
- 途中で予約をやめるとき
- 予約ボタンを押してください。

重要

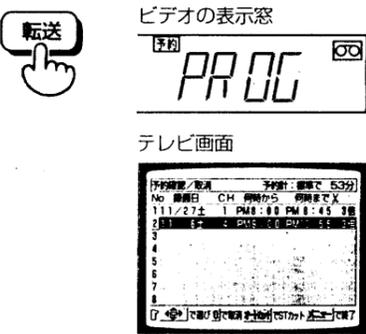
タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。

4 録画モードを合わせる



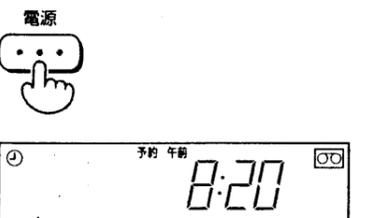
- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが自動的に切り換わります(31ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」参照)。

5 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



- ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。
- 続けて別の番組を予約するときは、1～5を繰り返してください。

6 ビデオの電源を切る



開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

- ビデオ前面の「タイマー」表示が点灯し、ビデオの表示窓に「①」(タイマー録画表示)が出ます。
- テープが入っていないと、「タイマー」と①が点滅してお知らせします。

おしらせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

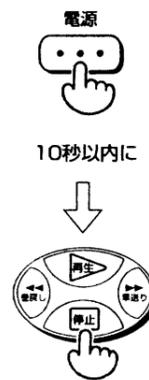
- ビデオの電源を入ると、再生や録画をすることができます。
- 使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。
- 「つめ」の折れたテープを入れたとき
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

オートカット機能について

- CMをカットしながら番組を録画することができます(50ページ参照)。
- 5で予約をビデオに転送したときに、テレビ画面に予約の内容が約1分間出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。

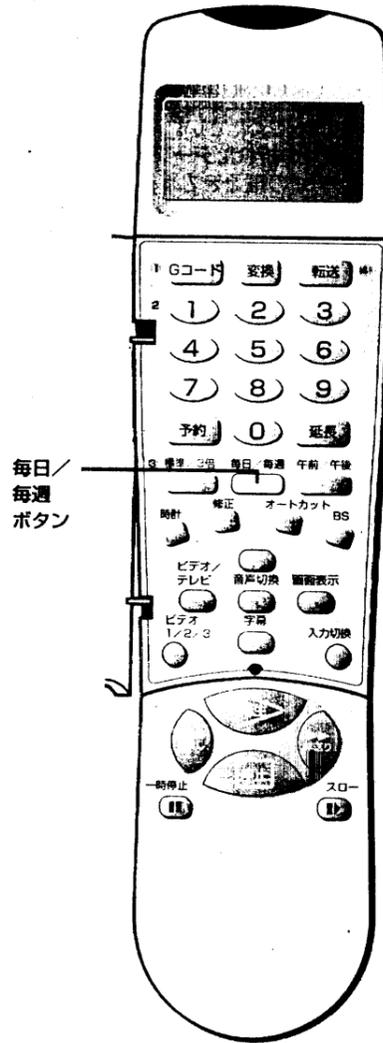
タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



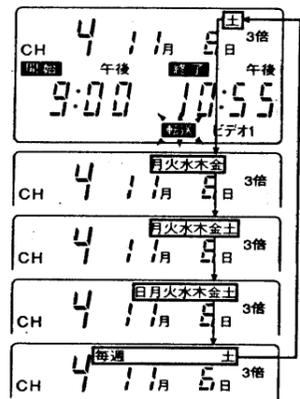
予約の確認・取り消しをする……

Gコード予約した内容も、リモコン予約した内容も次の方法で確かめたり、取り消したりできます。



毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

46 ページの手順 3 のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ



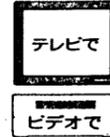
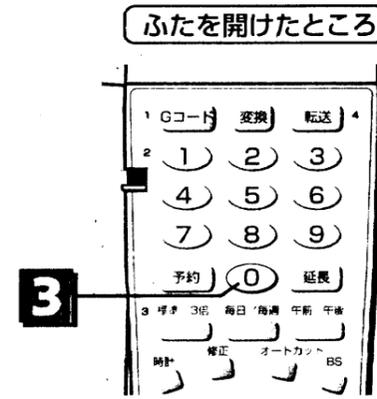
- ボタンを押すごとに左のように切り換わります。
- 曜日表示の見かた
土……この日だけの1回録画
月～金…月曜日から金曜日
日～土…日曜日から土曜日まで
毎日同じ時間に録画
毎週土…毎週同じ曜日のこの時間に録画
- リモコンに表示されている曜日以外の毎週同じ曜日に録画するには、46 ページの手順 3 で希望の曜日になるように、日にちを合わせてください。

毎日、または毎週予約を転送して、ビデオの表示窓にエラーが出たときは

現在の時刻より前の時刻(過去)の録画を転送すると、ビデオの表示窓に「Err」と出ます。

現在の時刻より前の時刻の番組を予約する場合は、46 ページの手順 3 の日にちを合わせるときに、日にちを次に録画される曜日の日にちに合わせてから、毎日/毎週ボタンを押してください。

例えば、11月5日(金)の午前11時に翌週月～金の午前9:00～10:00の番組を予約するには、手順 3 で日にちを11月8日(月)に合わせてから、毎日/毎週ボタンを押してください。

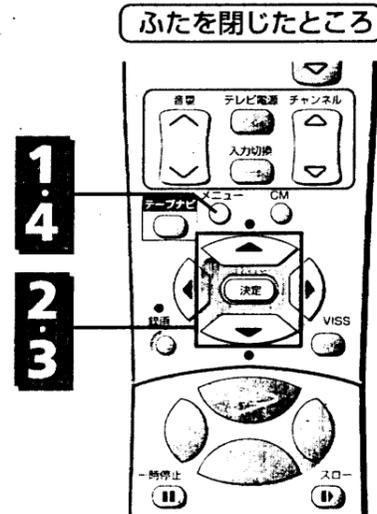
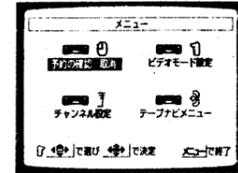


- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオの電源を入れる

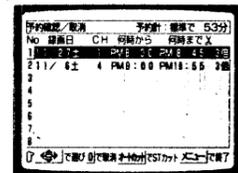


メニューボタンを押す

メニュー画面が出ます。



「予約の確認/取消」が選ばれていることを確かめ、決定ボタンを押す



- 予約内容が一覧表示されます。
- 予約の合計時間は、3倍予約のときでも標準に換算して表示されます。

おしらせ

- メニュー画面や予約内容の画面は、約1分たつと自動的に元の画面に戻ります。
- 予約の合計時間は、標準で210分まで表示されます。211分以上は「--」になります。



予約を取り消したいときは、▼、▲ボタンで取り消したい内容を選び、0ボタンを押す



- 予約内容が消えます。
- 続けて別の予約も取り消したいときは、3 を繰り返してください。



確認・取り消しが終わったら、メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

予約した番組のCMをカットする……

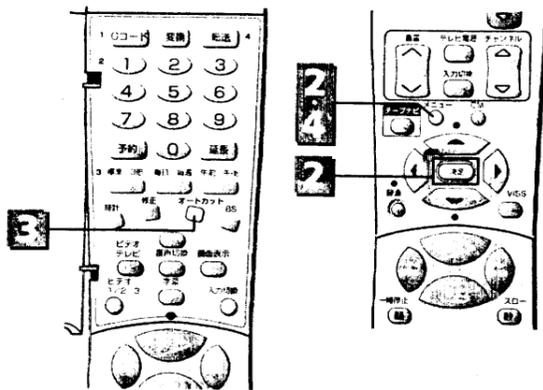
重要

予約した番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ、何も録画されません。ステレオ放送の番組を予約するときは、オートカット機能を使わないでください。

- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

ふたを開けたところ

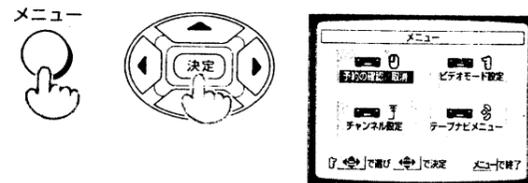
ふたを閉じたところ



1 タイマー録画予約する

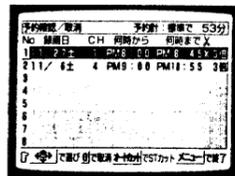
④1～④8ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「予約の確認/取消」が選ばれていることを確かめ、決定ボタンを押す



予約内容が一覧表示されます。

3 オートカットボタンを押して✂マークを出す



続けて別の番組もCMカットして録画したいときは、▼、▲ボタンを押して別の予約内容を選んでからオートカットボタンを押して✂マークを出してください。

おしらせ

- オートカット機能を解除するには、解除したい内容を選んでからオートカットボタンを押して✂マークを消してください。

4 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

- リモコンのタイマー録画予約をビデオに転送したとき、テレビ画面に予約の内容が約1分出ます。このとき、オートカットボタンを押すと、オートカットの設定ができます。
- 録画が始まってから、オートカット機能を解除するには、電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。

タイマー予約・録画のご注意……

Gコード予約とリモコン予約に共通の内容です。

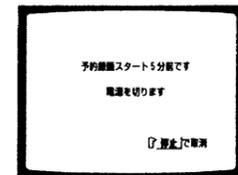
■ 予約を転送したとき、ビデオの表示窓に「--:--」や「Err」、「FULL」が出たら

「--:--」: ビデオの時計が「--:--」になっている(約5秒点滅) す。時計を合わせてから予約してください。

「Err」: リモコンをビデオに向けずに転送しています。ビデオに向けて転送してください。

「FULL」: すでに8つの番組が予約されていますので、予約はできません。不要な予約を取り消してください(④9ページ参照)。

■ タイマー録画予約後、電源を切り忘れたとき



電源が「入」になっていると、タイマー録画開始5分前にテレビ画面に上の警告表示が現れ、ビデオの電源が自動的に切れます。

■ タイマー録画中のボタン操作

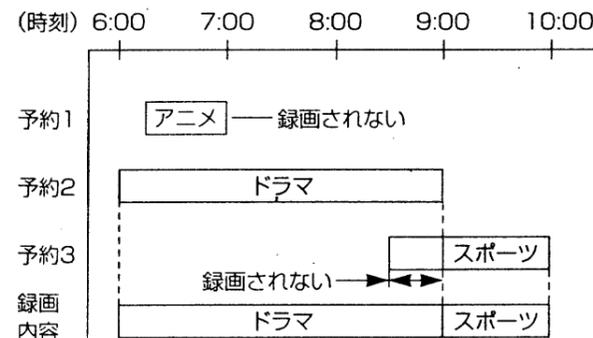
一時停止や、録画モードの変更などのボタン操作はできません。

■ 60分以上の停電があったとき

ビデオの表示窓が「--:--」に変わり、時計と予約内容が消えてしまいます。時計合わせと予約をやり直してください(時計合わせは④9ページ、予約は④1～④8ページ参照)。

■ 予約内容が重なったとき

先に始まった番組が最後まで録画されたあと、次の番組が途中で録画されます。



■ タイマー録画中にテープがなくなったとき

自動的にビデオの電源が切れ、テープがビデオから出てきます。

■ 日立製の他のビデオのリモコンを使うとき

時計表示窓付きリモコンは、リモコンの予約内容をそのまま本機に転送することができます。

■ 録画モードを「オート」に合わせたとき

テープの残り時間にに応じて自動的に録画モードが切り換わります。

- 「標準」で録画を始めて、途中でテープがなくなりそうになると録画モードを自動的に「3倍」に切り換えます。
- 最初から「3倍」で録画を始めても、録画時間が足りないときは、最後まで録画されません。
- 録画モードの切り換わった部分を再生すると、画像が乱れます。
- 2つ以上の番組を「オート」でタイマー録画予約すると、テープの残り時間と番組の録画時間によっては、2つ目以降の番組が録画されないことがあります。たとえば、T-120のテープの巻始めから、1つ目の2時間番組を「オート」でタイマー録画予約すると「標準」で2時間(最後の約5分は「3倍」)録画されます。このため、2つ目以降の番組は録画されません。

■ ケーブルテレビのBS放送番組をGコード予約するとき

リモコンの表示窓に「BS」表示が自動的に出ます。このときは、修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させたあと、BSボタンを押して「BS」表示を消してからケーブルチャンネルに合わせてください。

■ ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき

「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送の番組をタイマー録画するときは、UHF放送のチャンネルを変更し、その変更したチャンネル番号を予約してください(④8ページ参照)。

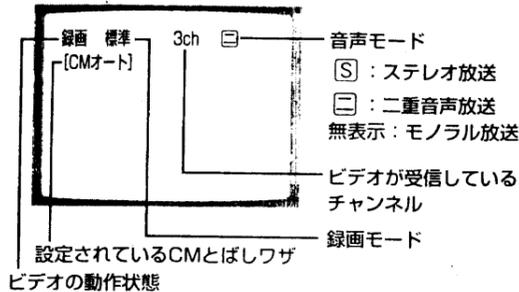
タイマー録画

画面表示を見る.....

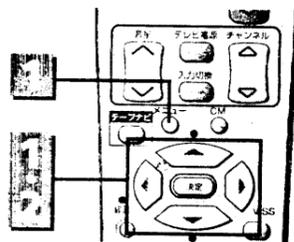
テレビ画面にビデオの動作状態や、チャンネル、時計、テープの走行経過時間などを表示することができます。

テレビ画面表示

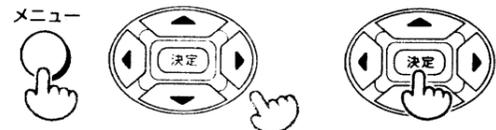
「ビデオモード設定」で「OSD表示」を「オート」に設定していると、ビデオを操作するたびに、下の表示がテレビの画面に約8秒間出ます。



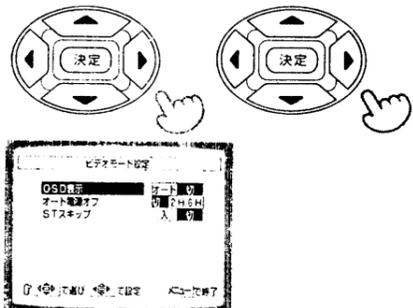
画面表示を入/切する



1 メニュー画面を出し「ビデオモード設定」を選び、決定ボタンを押す

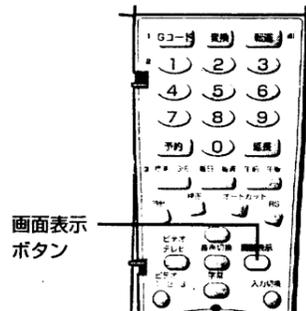


2 ▼、▲ボタンで「OSD表示」を選び、◀、▶ボタンで設定を「オート」または「切」にする



「切」にするとビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したときまたはテープナビ機能やオートカット機能などをお使いのときは、表示が出ます。

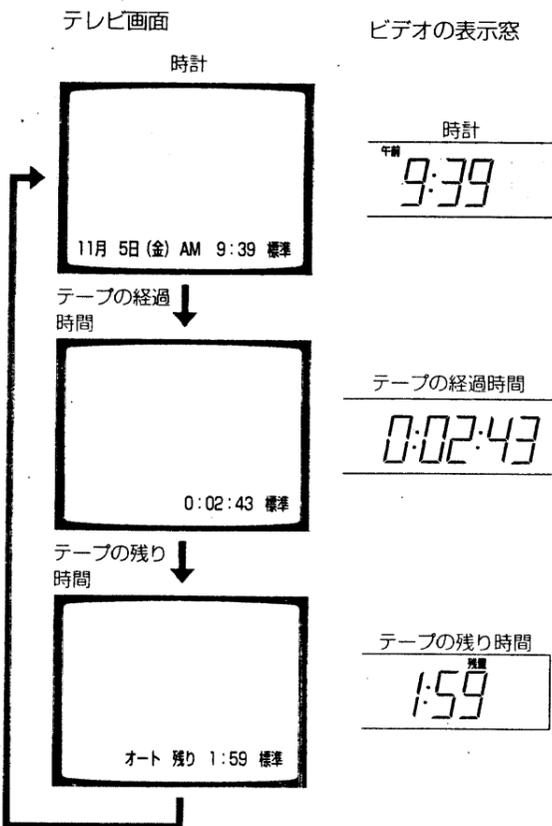
時計、経過時間、テープの残り時間を切り換える



画面表示ボタンを押す



画面表示が出ている間にボタンを押すと、ビデオの表示窓も同時に切り換わります。



おしらせ

- 時計が表示されているときにテープを再生すると、自動的にテープの経過時間に切り換わります。
- 時計またはテープの残り時間に切り換えるときは、画面表示ボタンを押してください。

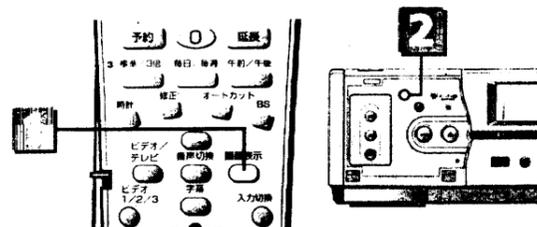
残り時間・経過時間を表示する.....

テープの走行中、テープの残り時間を「時・分」で表示できます。また、走行の経過時間を「時・分・秒」で表示することもできます。

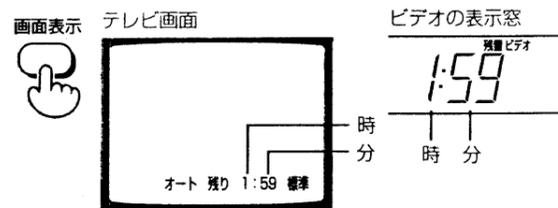
重要

テープの残り時間は、録画や再生を始めて約2分後に表示されます。テープが動き始めてしばらくは、「---:---」の表示が出ます。

テープの残り時間を表示する

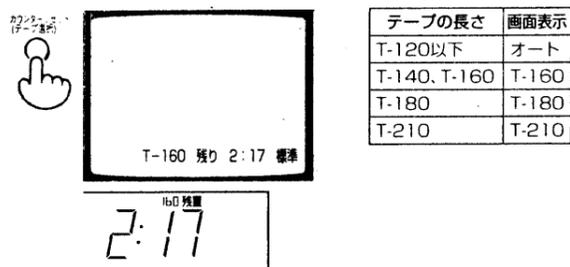


1 画面表示ボタンを押して、残り時間を出す



テープを入れたばかりのときは、「---:---」が表示されます。再生または録画を始めると、約2分後に残り時間が出ます。

2 カウンターリセット(テープ選択)ボタンを押して、テープの長さを選ぶ



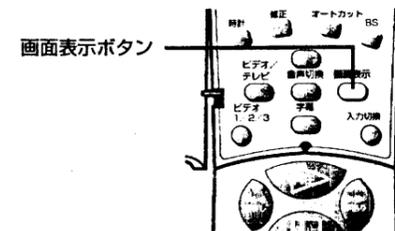
テープの長さ	画面表示
T-120以下	オート
T-140、T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

- テープの長さに合わせて表示を選んでください。これで正しい残り時間が表示されます。
- 画面表示が「オート」のときは、ビデオの表示窓にテープの長さが出ません。

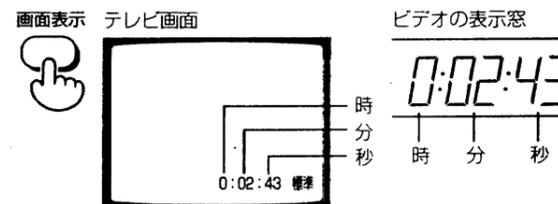
おしらせ

- テープの残り時間の表示について
- 何も録画していないテープやT-30/60/90/120/140/160/180/210以外のテープでは、残り時間が正しく表示されません。
 - 早送りや巻戻しのときは、テレビ画面に正しく表示が出ません。

経過時間を表示する



画面表示ボタンを押して、テープの走行経過時間を表示する



おしらせ

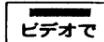
- 経過時間の表示について
- テープを取り出すと、自動的に「0:00:00」に戻ります。
 - テープに何も録画されていない部分では、経過時間の数字は変わりません。
 - 録画または再生中に、ビデオのカウンターリセット(テープ選択)ボタンを押すと、経過時間が「0:00:00」になります。録画や再生が終わってから、見たい場面を探すとき便利です。

ビデオの機能を画面で選ぶ (お好みセレクト) ……

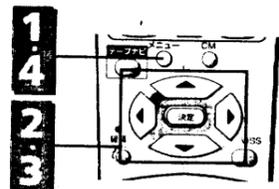
ビデオの動作や機能を、お好みに合わせて選ぶことができます。



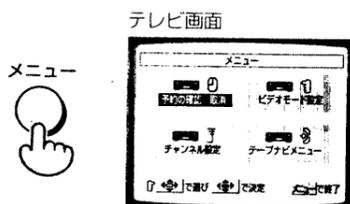
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする (または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)



- ビデオの電源を入れる

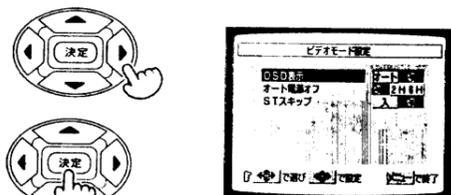


1 メニューボタンを押す



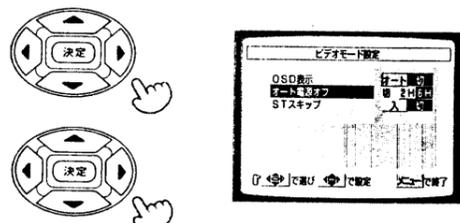
メニュー画面が出ます。

2 ▶ボタンを押して「ビデオモード設定」を選び、決定ボタンを押す



- お好みセレクト (ビデオモード設定) の画面が出ます。
- 各項目の説明は、右段をご覧ください。

3 ▼、▲ボタンで合わせたい項目を選び、◀、▶ボタンで設定を変える

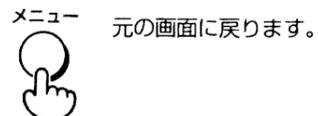


文字が白く出ている表示が現在の設定を示しています。◀または▶ボタンを押すたびに設定が変わります。

おしらせ

- メニュー画面やお好みセレクトの画面は、約1分たつと自動的に元の画面に戻ります。
- 工場出荷時は [] の画面に合わせてあります。

4 メニューボタンを押す



「ビデオモード設定」画面の説明

OSD表示 オートまたは 切

オート	ビデオを操作するたびに動作表示などがテレビ画面に出ます。 • 詳しくは⑨ページ「画面表示を入/切する」をご覧ください。
切	ビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したとき、またはテープナビ機能やオートカット機能などをお使いのときは、表示が出ます。

オート電源オフ 切または 2H または 6H

切	オート電源オフ機能は動きません。
2H	ビデオの電源を入れたまま何も操作しないと、2時間後に自動的に電源が切れます。 • 詳しくは⑩ページ「ビデオの電源を自動的に切る」をご覧ください。
6H	ビデオの電源を入れたまま何も操作しないと、6時間後に自動的に電源が切れます。

STスキップ 入または 切

入	録画したテープを再生すると、ステレオ放送部分を「CM部分」と判断してとばします。 • 詳しくは⑪ページ「CMをとばして見る (CMとばしワザ)」をご覧ください。
切	STスキップ機能は動きません。

テープナビを使う ……

このビデオでは、テープを入れて録画すると、そのテープに整理番号を付け、録画データ (録画日、録画時刻、チャンネル、録画モードなど) を登録してテープごとに管理します。

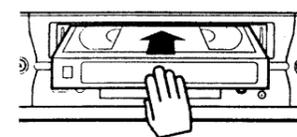
録画データを活用してテープの中身を一目で見たり、番組の頭出しをする機能をテープナビといいます。

重要

- テープの種類を間違えて選ぶと、5分以上録画してもデータを正確に登録できません。
- 他機で録画したテープを初めてこのビデオで録画するときも、テープの種類を正しく選んでから録画やタイマー録画をしてください。
- テープを入れると、ビデオのテープナビボタンが点滅したあと点灯します。点灯後に操作してください。点滅中に操作すると、同じテープに複数のテープ番号が登録されてしまい、誤動作の原因となります。

録画データを登録する

1 テープを入れる



このビデオに初めて入れたテープのときは、ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから消えます。そのあと、ビデオの表示窓の残量表示が約10秒間点滅します。点滅している間に 2 の操作をしてください。

2 140分以上のテープのときは、テープの種類を切り換える



テープの種類	表示
T-140、T-160	T-160
T-180	T-180
T-210	T-210

- テープの種類に合わせて表示を選んでください。これでテープナビが正しく働きます。
- 120分以下のテープでは、切り換える必要ありません。

3 録画、またはタイマー録画する



標準モードで約5分以上 (3倍モードでは約15分以上) 録画すると、録画データが自動的に登録されます。

便利な使いかた

重要

オートカット機能を使って録画した番組の録画時間は、録画予約した時間よりCMをカットした分だけ短く表示されます。また、CMをカットした分だけ録画時間が短くなるため、30分以内の番組は、録画データが登録されないことがあります。

テープナビ画面の見かた

テープバー 現在選択されている番組のテープ上の位置と長さを示します。

テープ番号 (本機がテープにつけた整理番号)

カラーバー 選択されている番組表示に、色がついています。

ジャンルマーク ジャンルマークを設定したときに表示されます。

見たマーク 番組を続けて半分以上見たとき、表示されます。

録画日*

録画チャンネル 録画したチャンネルの番号です。デジタルCS放送を録画したときは、「CS」と表示されます。

ブランク 録画した番組と番組のあき時間

録画開始時刻*

ステレオ放送表示 番組の半分以上がステレオ放送のとき表示されます。

録画時間(分)

CMカット表示 オートカット機能を使って録画したとき、または録画中に一時停止した番組のとき表示されます。

テープに録画された番組数

録画モード**

残り (テープの残り時間)

二か国語放送表示 番組の半分以上が二か国語放送のとき表示されます。

* 時計を設定していないと「-」で表示されます。
** 録画中にモードが変わったときは、「-」と表示されます。このときは、標準モードに置き換えた時間が表示されます。

録画日	CH	何時から	何分
11/5金	4	PM8:00	42
11/12金	CS	PM9:00	60
11/15月	1	PM8:00	23
11/26金	CS	PM8:00	27
11/30火	L2	PM8:00	15

タイムナビ画面の見かた

現在位置 再生中に、その画面が録画された時刻を示します。

カーソル(現在位置)

カーソル(再生/停止位置) CMの終わるところを選ぶときには「」になります。

録画開始時刻

テープバー 現在選択されている番組を示します。

録画終了時刻

再生/停止位置の時刻 タイムナビで探して再生/停止する場面の録画時刻を示します。

タイムナビ

現在位置 PM9:00

録画開始時刻 PM9:00

再生/停止位置 PM9:00

録画終了時刻 PM10:00

おしらせ

番組の録画数について

• 「ブランク」、「残り」も含めて約256番組を登録できます。

テープ番号の登録数について

• 130以上は登録されません。

録画時間の精度について

• 表示される録画時間と実際の録画時間には、約3分の誤差があります。

録画データの保持について

• 登録された録画データは、停電や電源プラグをコンセントから抜いたときも消えません。

• 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

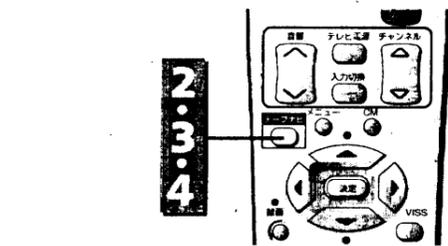
見たマークについて

• 見たマークは、番組を続けて半分以上見た(再生した)とき表示されます。番組の半分以上で再生をやめたり、テープナビ画面を出すと、見たマークは表示されません。

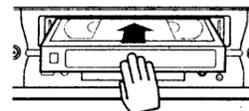
重要

テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、本機で録画したテープだけです。

テープの録画データを見る

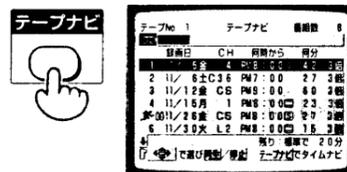


1 本機で録画したテープを入れる



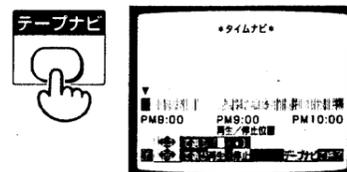
ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



• テープナビ画面が出ます。画面の見かたは56ページをご覧ください。
• この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出しして停止したりできます。(59ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照)。

3 テープナビボタンを押す



• タイムナビ画面が出ます。
• この画面で、番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、選んだ時刻を探して停止したりできます(64ページ「タイムナビで見た場面を探す」参照)。

4 テープナビボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき

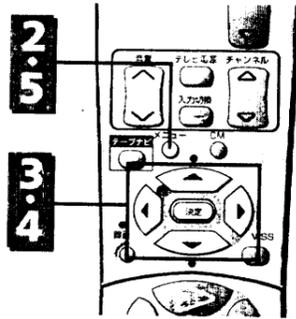
- テープを最初から約2分間再生したあとテープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。
- タイムナビ「切」のとき、またはテープナビ画面で「ブランク」、「残り」を選んだときには、3の画面が出ません。

便利な使いかた

重要

テープナビ機能を入/切するときは、テープを取り出して下さい。
テープが入っていると、切り換えることができません。

テープナビ機能とタイムナビ機能を入/切する

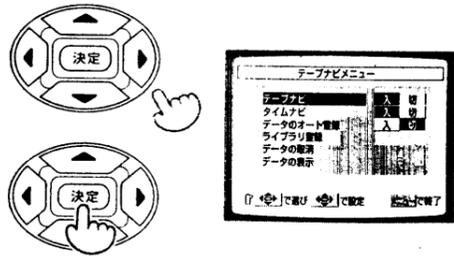


1 テープを取り出す

2 メニューボタンを押す



3 カーソルボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



テープナビメニューが出ます。

4 ◀、▶ボタンで「テープナビ」の「入」か「切」を選ぶ



- 工場出荷時は「入」です。
- テープナビ機能を使わないときは「切」にしてください。
- タイムナビ機能を「入/切」するには、テープナビ「入」のとき、▼、▲ボタンで「タイムナビ」を選び、◀、▶ボタンで「入」、「切」を選んでください。

5 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

お知らせ

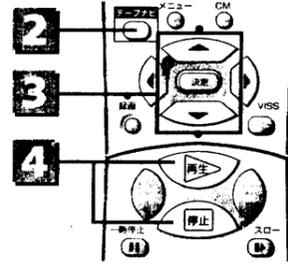
「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データのオート登録」、「ライブラリ登録」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。また、CMオートが動作しません。

重要

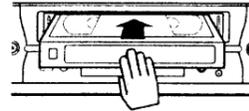
テープを入れてもビデオのテープナビボタンが緑に点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。
58ページをご覧くださいになって「入」に設定してください。

録画データを使って番組の頭出しをする

録画データを使って見たい番組を探したり、テープの録画されていないところ(ブランク)を探すことができます。

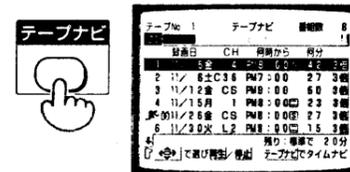


1 本機で録画したテープを入れる



ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。
点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



テープナビ画面が出ます。

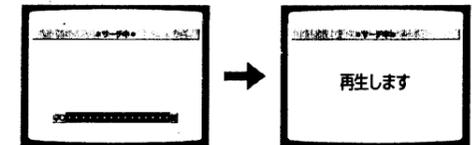
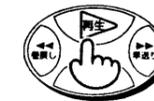
3 ▼、▲ボタンを押して、見たい番組(またはブランク)を選ぶ



- カラーバーが選んだ番組に移動します。
- テープバーが選んだ番組の位置と長さを示します。
- 6番目以降の番組を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押し、表示します。
- 番組の途中を探すときは「タイムナビで見たい場面を探す」(64ページ)をご覧ください。

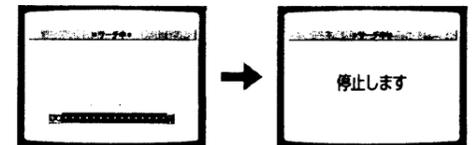
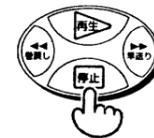
4 番組の頭から再生する、または頭出しして停止する

再生するとき



番組の頭を探して自動的に再生します。

頭出しして停止するとき



番組の頭を探して自動的に停止します。

お知らせ

テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき
 ・ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。
頭出しのあと自動的に電源を切るには
 ・**3** で見たい番組(または残り)を選んだあと電源ボタンを押すと、番組を頭出ししてから自動的に停止し、電源が切れます。
 本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
 ・テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
 ・本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

便利な使いかた

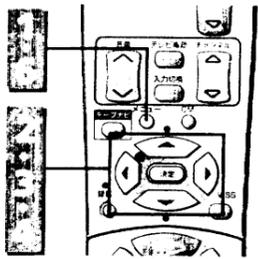
重要

- ビデオの中にテープが入っているときは、入っているテープのデータを取り消すことはできません。テープを取り出してから操作してください。
- データの取り消しをすると、1本のテープに登録されているテープデータ全てが取り消されます。データの一部(番組データ)を取り消すことはできません。

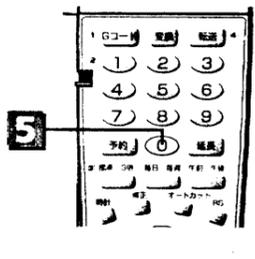
登録内容を取り消す

登録できるデータ数が残り少なくなったときや、いらなくなったテープのデータ、ライブラリ登録したテープのデータを取り消したいときに行います(67ページ参照)。

ふたを閉じたところ



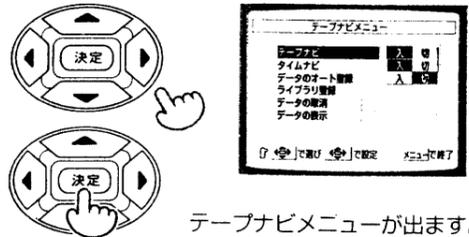
ふたを開けたところ



メニューボタンを押す



カーソルボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す

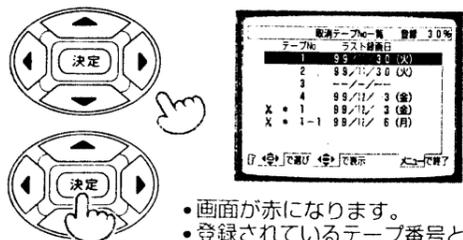


テープナビメニューが出ます。

おしらせ

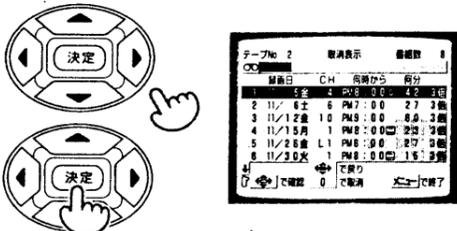
「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データのオート登録」、「ライブラリ登録」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。

▼、▲ボタンで「データの取消」を選び、決定ボタンを押す



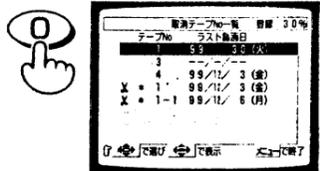
- 画面が赤になります。
- 登録されているテープ番号と最後に録画した年月日、曜日が表示されます。
- Xはライブラリ登録したテープです。

4 ▼、▲ボタンで取り消したいテープ番号を選び、決定ボタンを押す



- 次の画面を見るには、▼ボタンを繰り返し押し表示します。
- 選んだテープの詳しい登録内容が出ます。取り消してよいテープか、内容を確認してください。

5 0ボタンを押して取り消す



- 選んだテープの録画データが取り消され、3の画面に戻ります。
- 他のテープも取り消したいときは4～5を繰り返してください。

6 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

一度このビデオで録画したテープに再度録画するときは、登録内容を取り消す必要はありません(録画すると新しいデータが自動的に登録されます)。

登録パーセント表示について

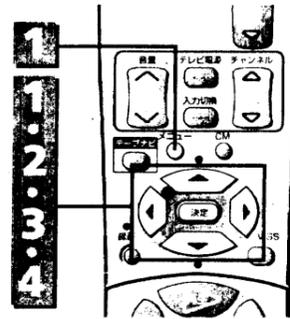
パーセント表示は、テープ番号の数ではなく、登録されている番組数や内容によって変わります。

ラスト録画日の表示について

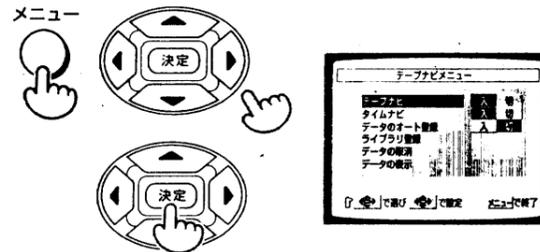
時計を設定していないときにデータが登録されたり、登録時間(録画時間)が短い(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)と、ラスト録画日は「- / - / -」と表示されます。

登録内容を確認する

テープを入れずに、このビデオに登録されている全テープの登録内容を確認することができます。お手持ちのテープのラベルに、登録されたテープ番号を付けておくと、テープを探すのに便利です。



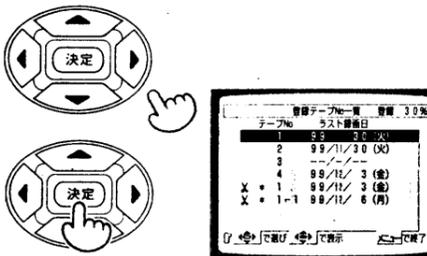
1 メニューボタン、カーソルボタンと決定ボタンで「テープナビメニュー」を出す



おしらせ

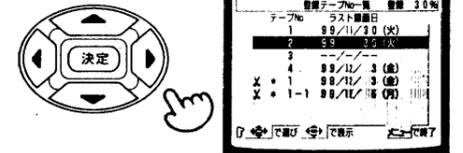
「テープナビ」が「切」のときは「タイムナビ」、「データのオート登録」、「ライブラリ登録」、「データの取消」、「データの表示」は出ません。

2 ▼、▲ボタンで「データの表示」を選び、決定ボタンを押す



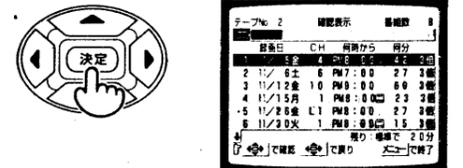
登録されているテープ番号と最後に録画した年月日、曜日が表示されます。

3 ▼、▲ボタンで確認したいテープ番号を選ぶ



次の画面を見るには、▼ボタンを繰り返し押し表示します。

4 決定ボタンを押す



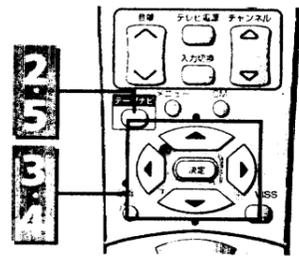
- 選んだテープの詳しい登録内容が出ます。
- 他のテープの内容も確かめたいときはもう1回決定ボタンを押してから3、4を繰り返してください。
- 元の画面に戻すには、メニューボタンを押してください。

便利な使いかた

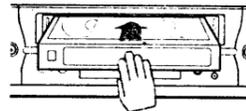
テープナビのご注意

番組のジャンルマークを設定する

テープナビ画面と確認表示画面で、番組に該当するジャンルマークを設定できます。



1 本機で録画したテープを入れる



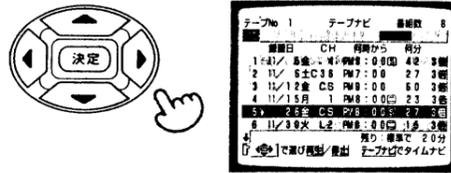
ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。
点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



テープナビ画面が出ます。

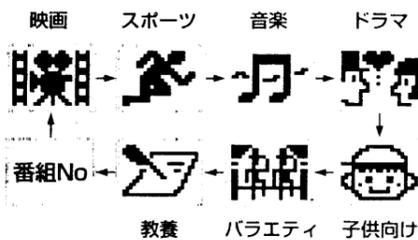
3 ▼、▲ボタンを押して、変えたい番組を選ぶ



4 カーソルボタンを押してジャンルマークを変える



- ◀、▶ボタンを押すとジャンルマークが以下のように切り換わります。
- ▼、▲ボタンを押すと切り換えたジャンルマークが設定されます。

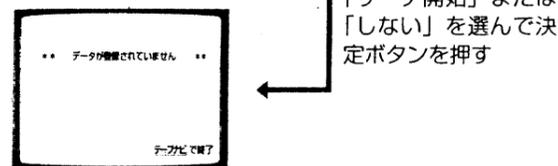
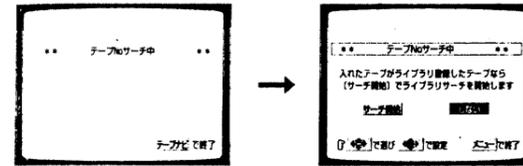


5 テープナビボタンを押す、元の画面に戻る



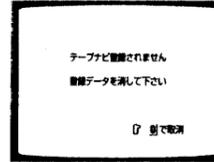
次の①～⑤のテープが入っているときテープナビボタンを押すと、下の画面が出ます。

- ①何も録画していないテープ
- ②本機以外のビデオで録画したテープ
- ③テープナビを[切]にして本機で録画したテープ
- ④登録内容を取り消したテープ
- ⑤市販のソフトテープ

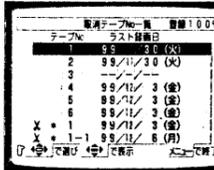


登録の数には限りがあります。

- 録画を始めたときに下の画面が出たときは、いらぬテープの登録内容を消してください。



- 上の画面が出ている間に0ボタンを押すと60ページの「登録内容を取り消す」の3の画面になります。3の画面でテープNoに*が付いていないテープの中からいらぬテープを選んで4～6の操作を行い、登録を取り消してください。
- このビデオでオート登録をしたテープを入れて録画を始めたときに上の画面が出た場合は、上の画面が出ている間に0ボタンを押すと、下のような画面が出ます。



テープNoに*が付いたテープの中からいらぬテープを選んで60ページの4～6の操作を行い、登録を取り消してください。

ダビング編集について

- 音声だけを録音したときやCDV(コンパクトディスクビデオ)から録画したときは、テープナビ機能は動きません。

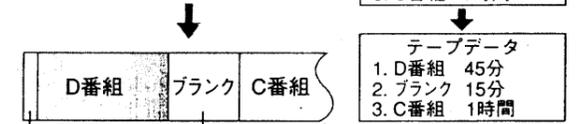
- 市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください(68ページ参照)。

一度録画したテープに再度録画したときのテープデータについて

例1) テープナビを使ってA番組、B番組を録画したテープに、D番組をA番組と同じ時間録画したとき

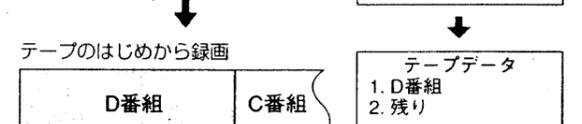


例2) テープナビを使ってA番組、B番組、C番組を録画したテープに、D番組を録画したとき



- aの時間が5分(3倍モードで15分)未満のときは何も表示されません。約5分以上のときは、「A番組」と表示され、録画時間はaの時間に変わります。
- bの時間が約5分(3倍モードで約15分)以上のときは「ブランク」と表示されます。5分未満のときは、何も表示されません。

例3) 他の機器でA番組、B番組、C番組を録画したテープに、テープナビを使ってD番組を録画したとき



- C番組は「残り」と表示されます。

便利な使いかた

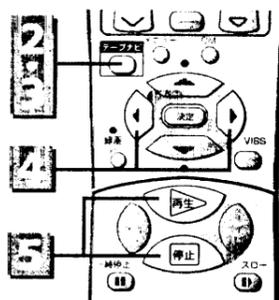
タイムナビで見たい場面を探す

このビデオには、ある番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、その場面で停止したり、CMの終わるところを探せるタイムナビ機能がついています。
テープナビ機能が「入」になっているときにお使いください。

重要

- テープを入れてもビデオのテープナビボタンが緑に点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。68ページをご覧ください。
- テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、テープナビが「入」で録画したテープだけです。
- データのオート登録で、昔のテープナビの録画データを読み込んだテープでは、タイムナビ画面の現在位置表示が動かないことがあります(70ページ参照)。

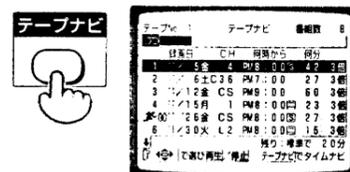
指定した時刻の頭出しをする



1 テープナビメニューの「タイムナビ」を「入」にする

操作のしかたは68ページをご覧ください。

2 再生中、テープナビボタンを押す



テープナビ画面が出ます。

おしらせ

再生中以外の番組でタイムナビを使うとき

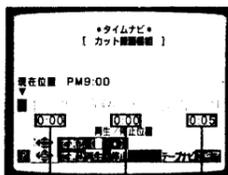
- [] でテープナビ画面を出したとき、▼、▲ボタンを押して番組を選んでからテープナビボタンを押してください。この場合、タイムナビ画面の「現在位置」の時刻は表示されません。
 - テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき、ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。
- 本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
- テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
 - 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

3 もう1回テープナビボタンを押す



- 再生中の番組のタイムナビ画面が出ます。
- もう1回テープナビボタンを押すと、元の画面に戻ります。

オートカット機能を使って録画した番組、または録画中に一時停止した番組のとき



- a. 録画開始時刻の代わりに「0:00」が表示されます。
- b. 「再生/停止位置」には、録画開始からの経過時間が表示されます。
- c. 録画終了時刻の代わりに録画時間が表示されます。

- [オート録画番組] の場合、3倍モードで録画された部分も、録画時間および経過時間は標準モードに置き換えた時間になります。

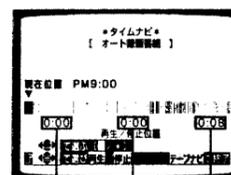
おしらせ

- 現在位置表示の黒い四角が 00 のときは、66ページを参照してください。

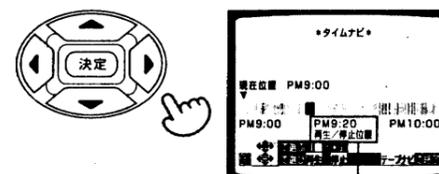
タイムナビ機能が使えないとき

- テープの現在位置が「残り」または「ブランク」にあるとき、またはテープナビ画面で▼、▲ボタンを押して「残り」または「ブランク」の部分を選んだときは、タイムナビ機能が動きません。

録画モード「オート」でタイマー録画した番組のとき



4 ◀、▶ボタンで見たい場面の時刻を選ぶ

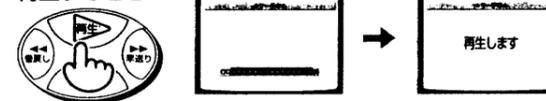


再生/停止位置の時刻

- 「再生/停止位置」の時刻を選びます。
- バーの中の黒い四角が現在のテープ位置を示します。

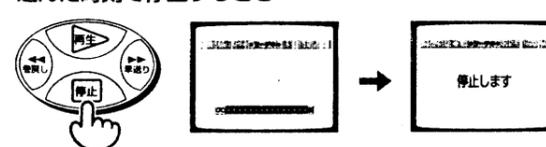
5 選んだ時刻の場面から再生する、またはその時刻を探して停止する

再生するとき



選んだ時刻を探して、そこから自動的に再生します。

選んだ時刻で停止するとき



選んだ時刻を探して自動的に停止します。

おしらせ

自動的に電源を切るとき

- 4の操作のあと電源ボタンを押すと、選んだ時刻を探してから自動的に停止し、電源が切れます。

便利な使いかた

ライブラリデータでテープナビ、タイムナビを使う.....

テープにライブラリ登録をすると、ライブラリデータでテープナビ、タイムナビを使うことができます。ライブラリ登録は、テープの録画データをテープの頭にまとめて記録する機能です。複数の番組を録画した保存用のテープがふえて、テープナビの登録数が足りないときは、ライブラリ登録をするとテープナビの登録数を減らすことができます。ライブラリ登録をしたら、録画データを取り消すことをおすすめします(60ページ参照)。

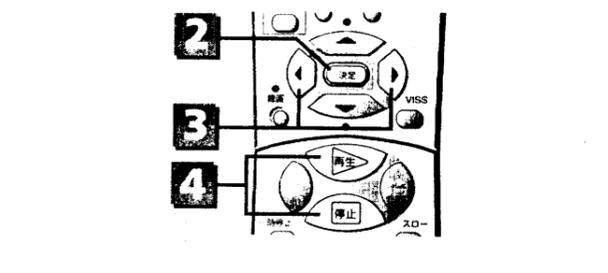
重要

- ライブラリ登録はテープの頭の数秒間にデータを記録します。データ記録部分の画像は、現在受信しているチャンネルの映像が録画されますが、音声は前のままです。
- ライブラリ登録できるのは、このビデオでテープナビを「入」にして録画したテープだけです。
- ライブラリ登録したテープに録画しても、ライブラリデータの内容は変わりません。録画できないようにテープのつめを折って使ってください。
- 放送局からの映像信号を受信していないときは、「NO SYNC」と出て、ライブラリ登録できません。

重要

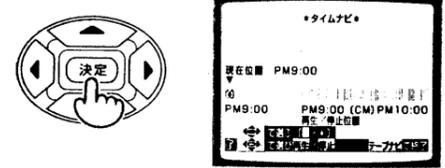
データのオート登録で、昔のテープナビの録画データを読み込んだテープでは、CMの終わるところは探せません(70ページ参照)。

CMの終わるところを探す



1 タイムナビ画面を出す
操作のしかたは64ページの**1**～**3**をご覧ください。

2 決定ボタンを押してカーソルを変える

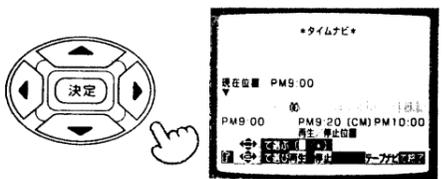


バーの中の黒い四角が(0)に変わります。

おしらせ

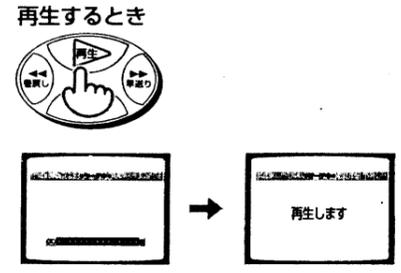
ビデオ前面の[CM]が消えているときは、画面の下の「再生/停止位置 (CM)」が出ません。

3 ◀、▶ボタンで見たいCMの終わるところを選ぶ



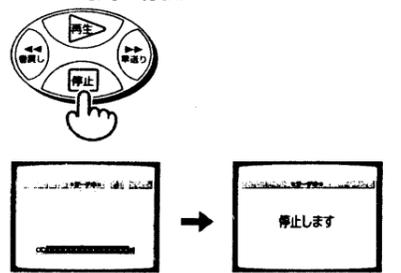
- 「再生/停止位置 (CM)」の時刻を選びます。
- バーの中の(0)が、CMの終わる位置を示します。
- CMがない場合は(0)が動きません。

4 選んだCMの終わるところから再生する。または探して停止する



選んだCMの終わるところを探して、そこから自動的に再生します。

選んだ時刻で停止するとき

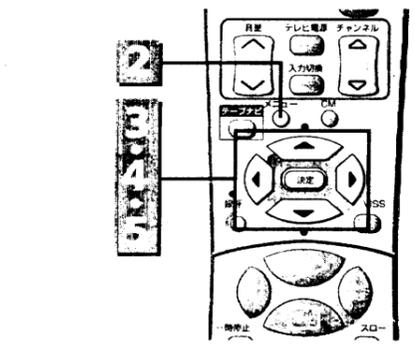


選んだCMの終わるところを探して自動的に停止します。

おしらせ

4の操作のあと電源ボタンを押すと、選んだCMの終わるところを探してから自動的に停止し、電源が切れます。

テープにライブラリ登録する



1 テープを入れる

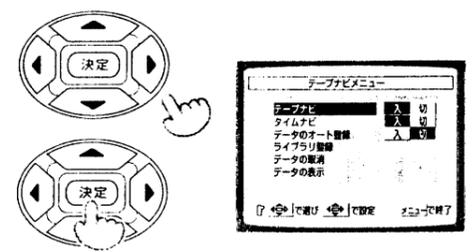


- このビデオでテープナビを「入」にして録画したテープを入れてください。
- ビデオのテープナビボタンが数回点滅してから点灯します。点灯後に次の操作をしてください。

2 メニューボタンを押す

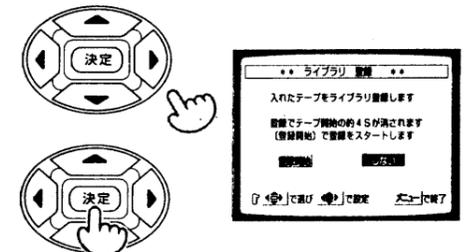


カーソルボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



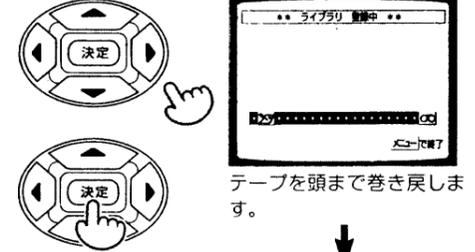
テープナビメニューが出ます。

4 カーソルボタンで「ライブラリ登録」を選び、決定ボタンを押す



ライブラリ登録画面が出ます。

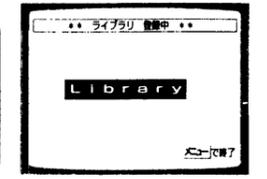
5 「登録開始」を選び、決定ボタンを押す



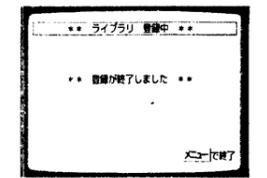
テープを頭まで巻き戻します。

おしらせ

ライブラリ登録中に、登録データを書き込んでいる黒い線が画面の上に出ますが、故障ではありません。



ライブラリ登録中です。



ライブラリ登録が完了すると、元の画面に戻ります。

便利な使いかた

昔のビデオで録画したテープでテープナビを使う.....

このビデオより前に発売された日立製のテープナビ機能付きビデオで、テープナビを「入」にして録画したテープを、このビデオのテープナビで使うことができます。
テープナビを使う前に、昔のビデオで録画したテープのデータを登録してください。この操作をデータのオート登録といいます。

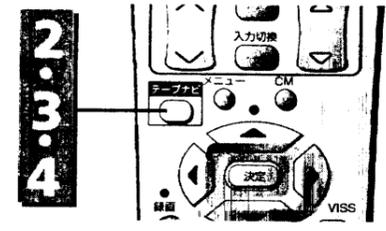
重要

- テープナビ機能がついていないビデオで録画したテープは、録画データを読み込むことができません。
- 以下の日立製ビデオでは録画データが異なるため、データのオート登録ができません。
7B-F61、7B-BF63、7B-S60、7B-BS65、7B-BS3000、7B-DF100
- このビデオでテープナビを「入」にして録画したテープの録画データを、昔の日立製のテープナビ機能付きビデオで読み込むことはできません。

重要

- ライブラリデータでテープナビ、タイムナビ機能が使えなのは、このビデオでライブラリ登録したテープだけです。
- 「テープナビ」、「タイムナビ」を「入」に設定してください(58ページ参照)。

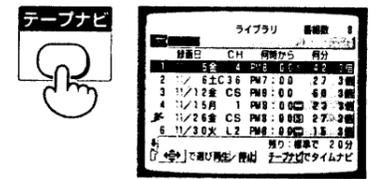
テープのライブラリデータを見る



1 本機でライブラリ登録したテープを入れる



2 テープナビボタンを押す

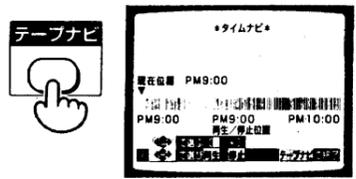


- テープナビ画面が出ます。画面の見かたは56ページをご覧ください。
- 画面が黄色になります。
- この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出しして停止したりできます(59ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照)。

おしらせ

- ライブラリデータではテープ番号と見たマークは出ません。また、ジャンルマークも変えられません。

3 テープナビボタンを押す



- タイムナビ画面が出ます。
- この画面で、番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、選んだ時刻を探して停止したりできます(64ページ「タイムナビで見たい場面を探す」参照)。

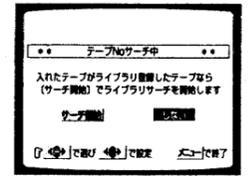
4 テープナビボタンを押す



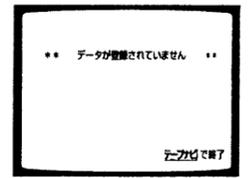
元の画面に戻ります。

テープナビ画面が出ない場合

手順2でテープナビボタンを押してもテープナビ画面が出ないときには、以下の画面が出ます。



- ライブラリ登録したテープが入っていれば、「サーチ開始」を選んで決定ボタンを押してください。テープの録画データが記録されていればライブラリサーチが始まり、テープナビ画面が出ます。テープの録画データが記録されていないと下の画面が出ます。

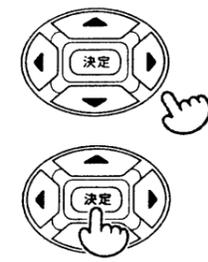


データのオート登録機能を入/切する

1 メニューボタンを押す

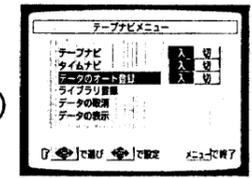


2 カーソルボタンで「テープナビメニュー」を選び、決定ボタンを押す



テープナビメニューが出ます。

3 カーソルボタンで「データのオート登録」の「入」を選ぶ



工場出荷時は「切」です。

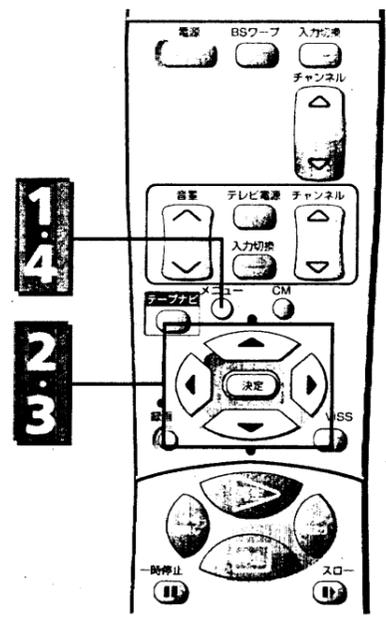
おしらせ

- 「テープナビ」が「切」のときは、「データのオート登録」は出ません。「テープナビ」を「入」にしてください。
- データのオート登録機能を使わないときは、「切」にしてください。

4 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。



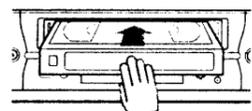
便利な使いかた

重要

- データのオート登録で、昔のテープナビの録画データを読み込んだテープでは、タイムナビ画面の現在位置表示が動かないことがあります(64ページ参照)。また、タイムナビでCMの終わるところを探せません(66ページ参照)。
- データのオート登録したテープに録画すると、タイムナビでCMの終わるところを探せません(66ページ参照)。またCMオートでCMをとばせません。

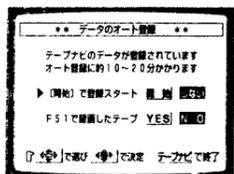
**昔のテープナビの録画データを読み込む
(データのオート登録)**

1 テープを入れる

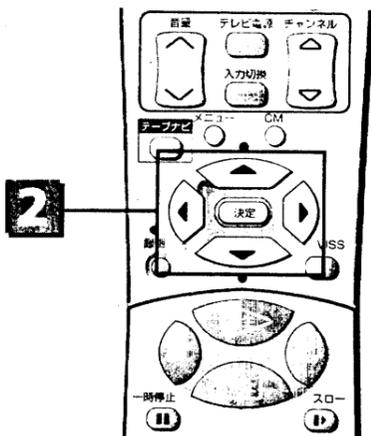
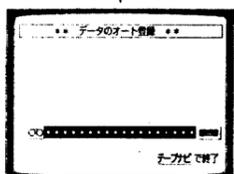


- 昔の日立製のテープナビ機能付きビデオでテープナビを「入」にして録画したテープを入れてください。
- データの判別に約10秒かかります。判別中は、ビデオのテープナビボタンが点滅します。

カーソルボタンで「開始」を選んで、決定ボタンを押す



- データのオート登録が始まります。
- 登録中は、入れたテープの映像が再生されます。音声は現在受信しているチャンネルの音声がでます。
- 7B-F51で録画したテープを入れた場合は、「YES」を選んでから「開始」を選んでください。「NO」のまま開始すると正しく登録されません。
- 登録を中断するとデータは登録されません。



おしらせ

- テープの頭の部分でテープを入れると2の画面が出ないことがあります。このときは、1~2分再生してから、テープを出し入れしてください。
- 録画データの記録状態によっては、正しく登録されないことがあります。

おしらせ

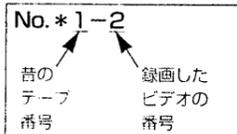
- データのオート登録に約10~20分かかります。
- データのオート登録が終わったテープには、昔のテープナビで付けられたテープ番号の前に*が付きます。

例)

昔のテープ番号	新しいテープ番号
No. 1	No. *1

- 他のビデオで録画したテープをオート登録した場合、録画されたビデオの違いにより、昔のテープ番号に録画したビデオの種類を示す番号が1から12まで自動的に付けられます。

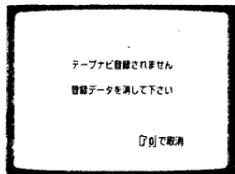
(新しいテープ番号の説明)



例)

他のビデオで録画したテープ	オート登録後の新しいテープ番号	
昔のテープ番号	ビデオの種類	
No. 1	1台目	No. * 1-1
No. 1	2台目	No. * 1-2
No. 1	3台目	No. * 1-3
∥	∥	∥
No. 1	12台目	No. * 1-12

- オート登録を始めたときに下の画面が出た場合は、0ボタンを押して、テープNo1に*が付いたテープの中からいらないテープの登録内容を消してください(63ページ参照)。



- オート登録をすると、オート登録データの録画時間表示に約3分以内の誤差が生じます。

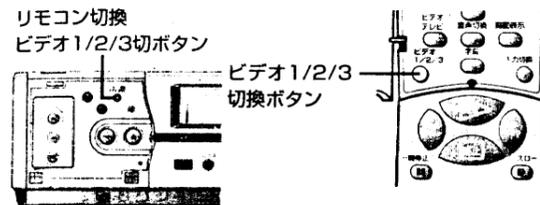
リモコンで2台のビデオを操作する……

付属のリモコンは、日立製のビデオを3台まで、別々に操作できます。ビデオを並べて使っているときなど、1台ずつ操作できるので便利です。

重要

- ビデオのリモコン切換ボタンを「R-OFF」にすると、リモコンをまったく受け付けなくなります。
- ビデオ側のリモコン切換ボタンとリモコン側のビデオ1/2/3切換ボタンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓でビデオのリモコンコードが点滅します。

本機を操作するとき



1 ビデオのリモコン切換ボタンをつまようじなどで押して、表示窓に「R-2」を出す

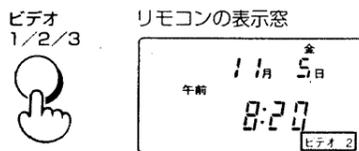


リモコン切換ボタンを押すたびに「R-1」→「R-2」→「R-3」→「R-OFF(切)」の順に切り換わります。

おしらせ

- 3台のビデオを操作するとき
- 本機のリモコン切換ボタンを「R-3」に合わせ、他のビデオを「R-1」または「R-2」にしてください。

2 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ2」を表示させる



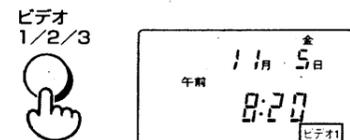
3 リモコンを本機に向けて操作する

おしらせ

- 付属のリモコンで操作できるビデオ
- VT-6800/VT-9700/VT-17以外の日立製ワイヤレスリモコン対応のビデオ
- ビデオによっては、リモコンのタイマー予約や時計合わせができないことがあります。

もう1台のビデオを操作するとき

1 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ1」を表示させる



日立製ビデオは工場出荷時、ビデオ側のリモコン切換スイッチを「R-1」に設定してあるため、「ビデオ1」にします。

2 リモコンをもう1台のビデオに向けて操作する

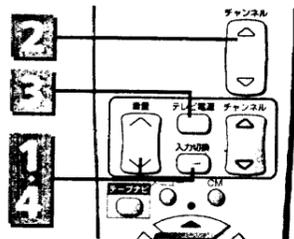
便利な使いかた

リモコンで他社のテレビを操作する……

本機のリモコンで、日立製以外にも他社9社のテレビを操作できます。使い始めるとき、次のようにテレビコードを設定してください。
操作するたびに設定し直す必要はありません。

重要

お手持ちのテレビの製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かないことがあります。



1 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタンの ∇ 側を同時に押す



工場出荷時は、リモコンの表示窓にテレビコード「01」が表示されるように設定されています。

2 チャンネルボタンを押して、テレビのメーカーに合ったテレビコードを設定する



メーカー	テレビコード	メーカー	テレビコード
日立	01	サンヨー (2)	08
松下 (1)	02	シャープ (1)	09
ビクター	03	シャープ (2)	10
ソニー	04	富士通ゼネラル	11
東芝	05	NEC	12
三菱	06	松下 (2)	13
サンヨー (1)	07		

おしらせ

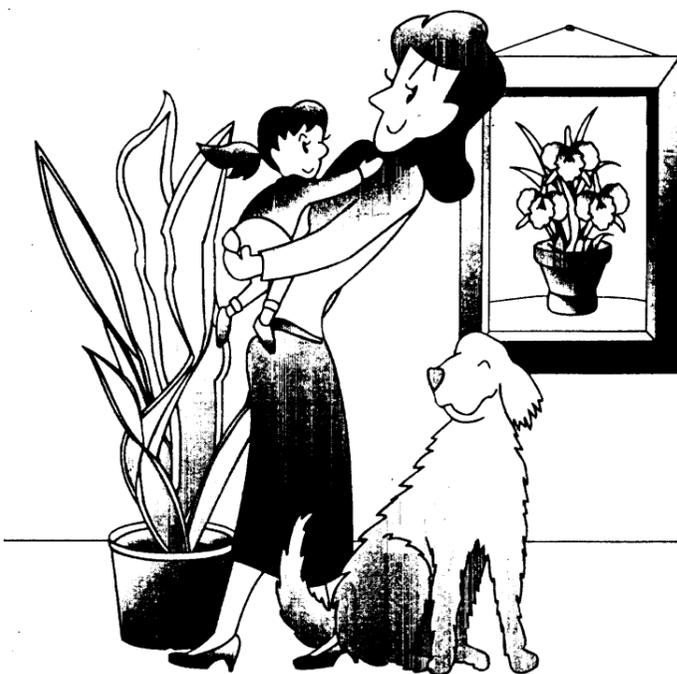
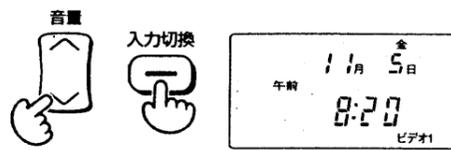
- 松下、サンヨー、シャープはテレビコードが2種類あります。松下、シャープは電源の「入/切」できるコードを選んでください。サンヨーはチャンネルボタンが正しく働くコードを選んでください。
- 数字ボタンでテレビチャンネルを選ぶことはできません。

3 テレビ電源ボタンを押す



テレビ電源ボタンを押してテレビの「入/切」ができれば、このリモコンで操作できます。

4 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタンの ∇ 側を同時に押す



設置・準備編

ご自分で設置するには

設置・準備

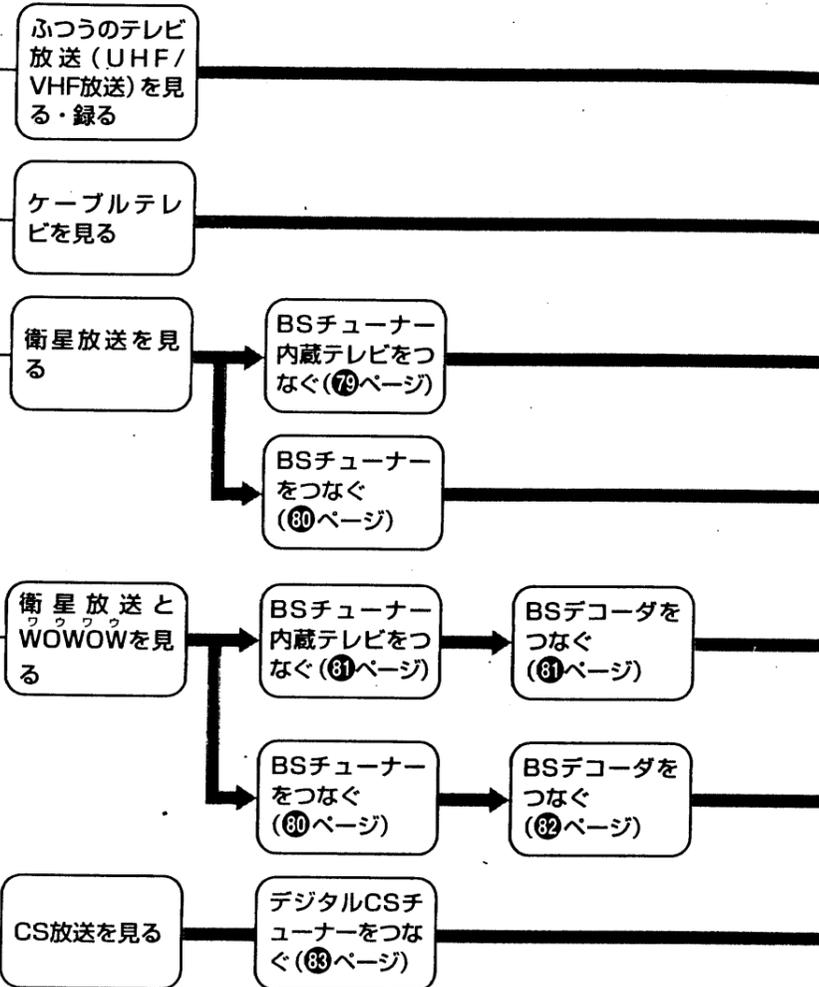
設置・準備編のもくじ

最初に基本の接続をしてから、目的に合った接続と準備をしてください。

◆基本の接続◆

- 1 ビデオにアンテナとテレビをつなぐ (76ページ)
- 2 (テレビに映像・音声入力端子があるときは) テレビとビデオを映像・音声コードでつなぐ (76ページ)

◆目的◆



日立製AV-BUSテレビをお持ちのときは
 テレビをコントロールすることができます。詳しくは、「AV-BUSⅢ端子を使う」参照 (84ページ)

日立製AV-BUSⅢ端子付CSチューナーをお持ちのときは
 ビデオコントローラーなどを使わずに、デジタルCSチューナーの予約に連動してタイマー録画することができます。詳しくは、「デジタルCSチューナーをつなぐ」参照 (83ページ)

付属品を確かめましょう

単3形乾電池 …2個 (12ページ)	ワイヤレスリモコン (VT-RM77) …1個 (12ページ)	同軸ケーブル …1本 (77ページ)	映像・音声コード …1本 (76ページ)
-----------------------	---------------------------------------	-----------------------	-------------------------

設置するときに必要な工具

プラスドライバー	ニッパ	ナイフ	ペンチ
----------	-----	-----	-----

受信チャンネルを合わせる

次の2とおりの方法で受信チャンネルを合わせられます。
 まず①で合わせてみて、すべてのチャンネルがきれいに受信できていないときは②で合わせ直してください。

①エリアコード (80ページ)
 お住まいの都市のエリアコードを入力して設定する方法です。

②オートチャンネル (86ページ)
 お住まいの地域で受信できるチャンネルを一つずつ設定する方法です。



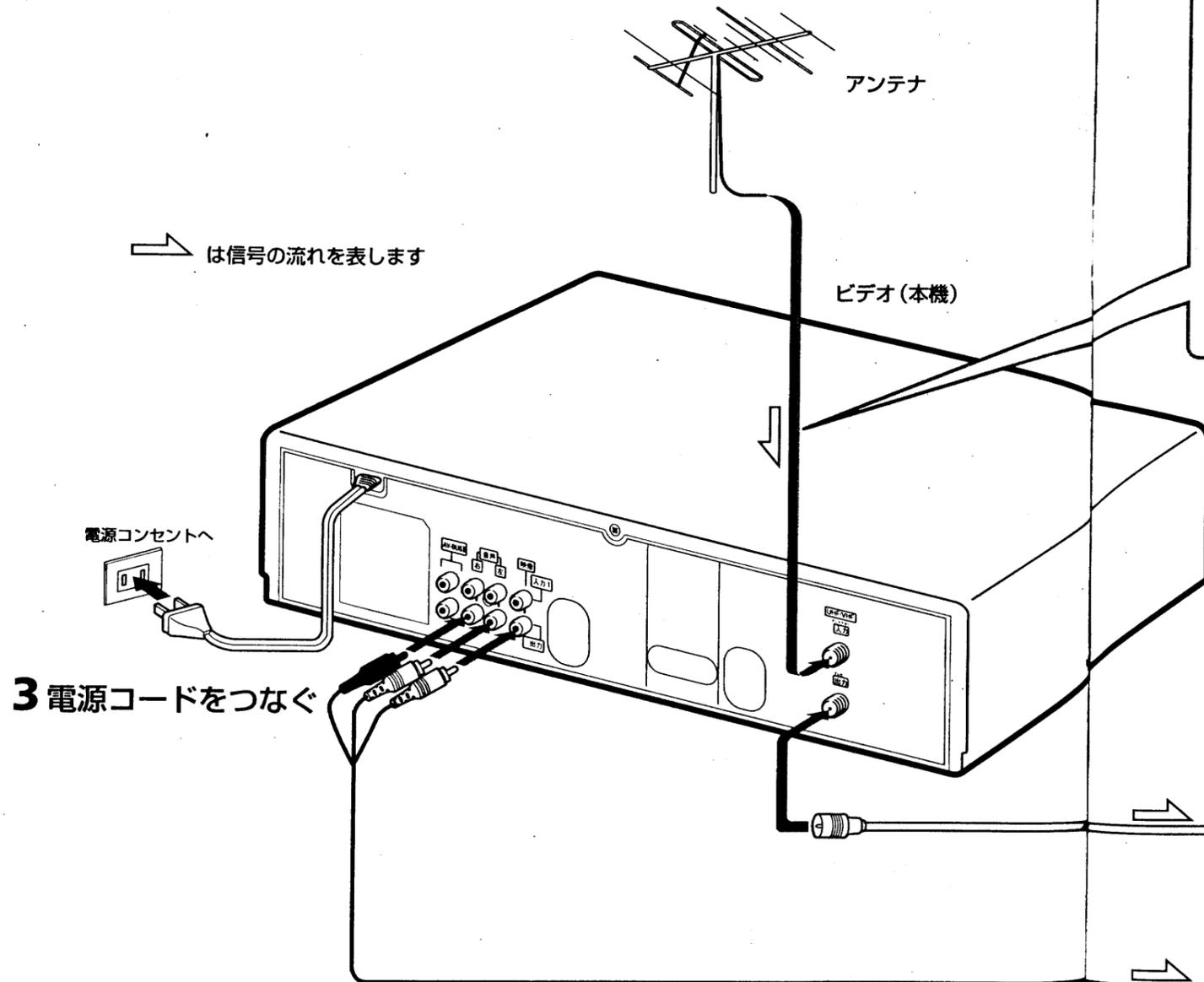
時計を合わせる (94ページ)



アンテナとテレビをつなぐ

テレビにつながっているアンテナ線はずし、はずしたアンテナ線とテレビをビデオにつなぎます。
アンテナ線やテレビのアンテナ端子の種類によって、つなぎかたが異なります。

➡ は信号の流れを表します



3 電源コードをつなぐ

電源コンセントへ

アンテナ

ビデオ(本機)

1 アンテナ線をつなぐ

アンテナ線の種類によってつなぎかたが異なります。

- UHF/VHF混合またはVHF単独のアンテナ線(プラグ付き)
- VHFとUHFが別々のとき
- VHF単独のアンテナ線(先バラ)
- UHF単独のアンテナ線(フィーダー線)



そのままつなぎます

混合器を取り付けます

マッチングアダプターを取り付けます
(くわしくは78ページC)

マッチングアダプターを取り付けます

同軸ケーブル(付属品)

テレビ

ご注意 分波器をお使いの場合は、UHF放送しか受信しない方も必ず、VHF、UHFの両方の端子に接続してください。

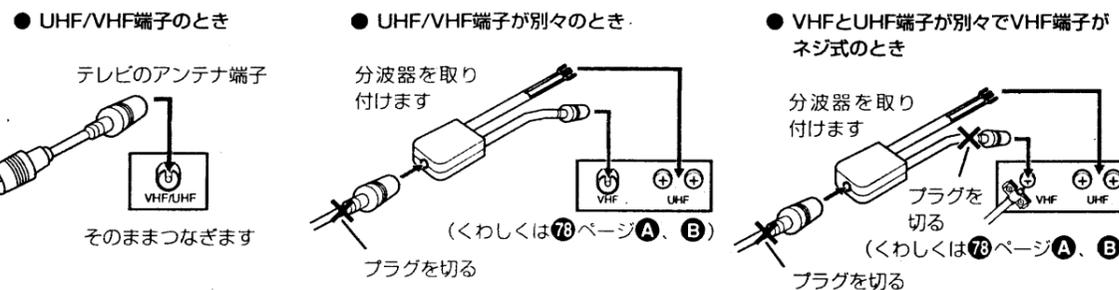
映像・音声コード(付属品)
テレビに映像・音声入力端子があるときだけつなぎます

接続に使う部品——必要に応じてお使いください。

- 同軸ケーブル(付属品)
- マッチングアダプター VT-BF11 086(別売品)
- 分波器VT-BF11 096(別売品)
- 混合器VT-MIX1(別売品)
- ブースター(別売品) 電波が弱い地域でテレビの映りが悪いときにおすすめします。

2 テレビのアンテナ端子とつなぐ

付属の同軸ケーブルを使ってつなぎます。アンテナ端子の種類によってつなぎかたが異なります。



そのままつなぎます

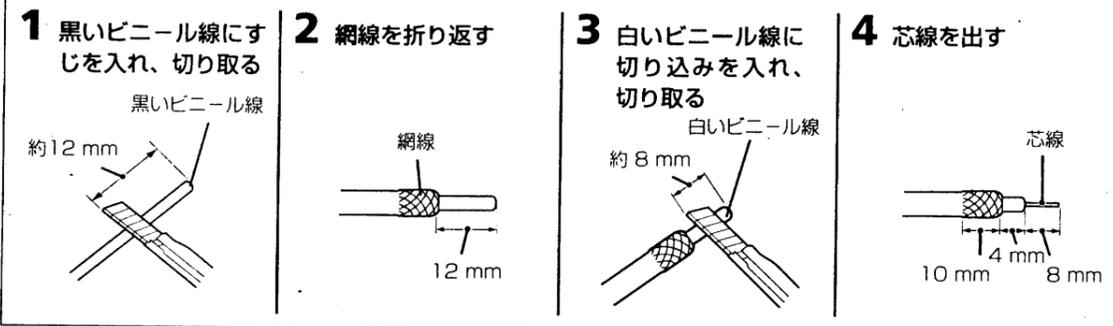
分波器を取り付けます
(くわしくは78ページA、B)
プラグを切る

分波器を取り付けます
プラグを切る
(くわしくは78ページA、B)
プラグを切る

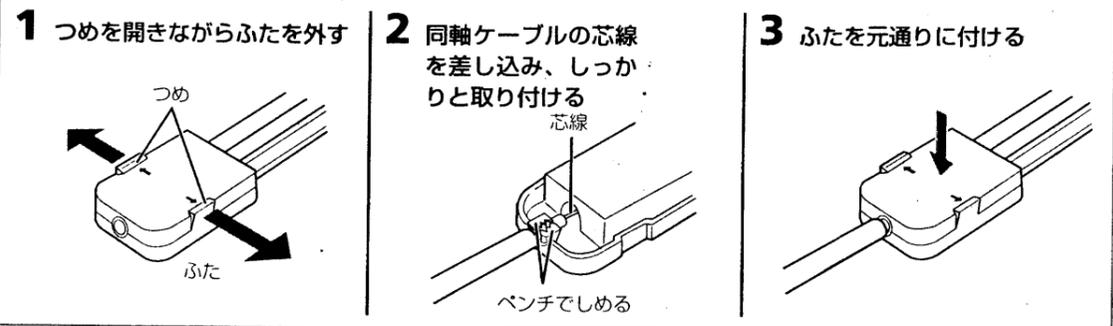
BSチューナー内蔵テレビをつなぐ……

ケーブル先端の加工の仕方や、分波器やマッチングアダプターに同軸ケーブルを取り付ける方法を説明します。

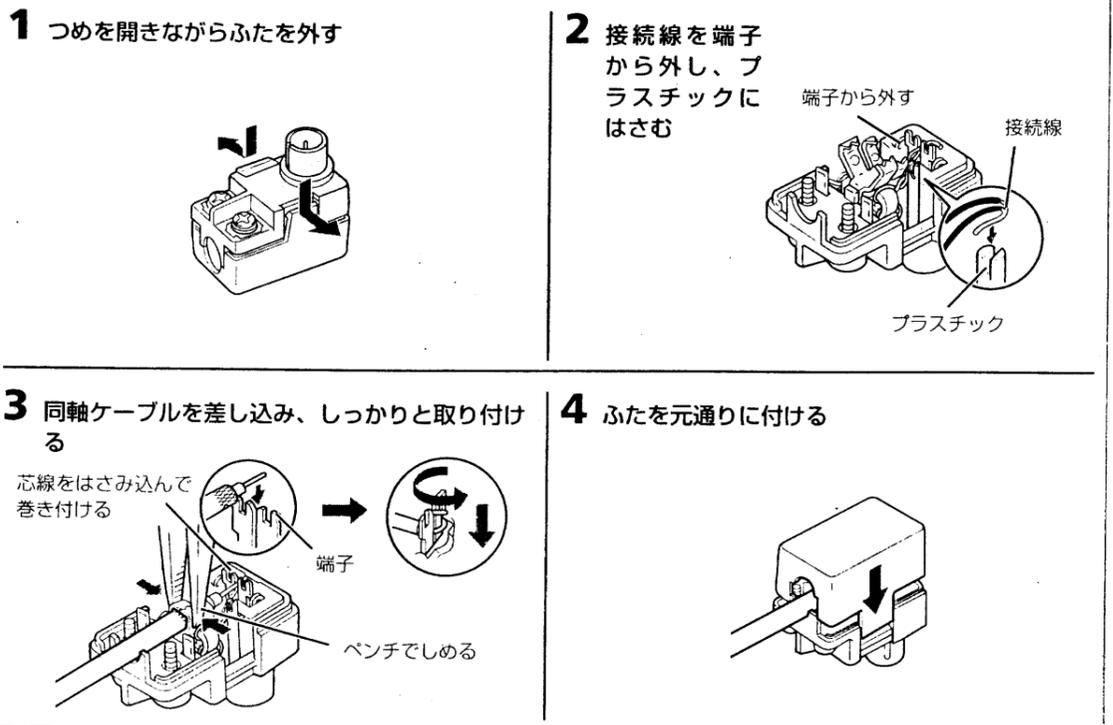
A 分波器の先端の加工



B 分波器 (別売品、VT-BF11096) に同軸ケーブルを取り付ける



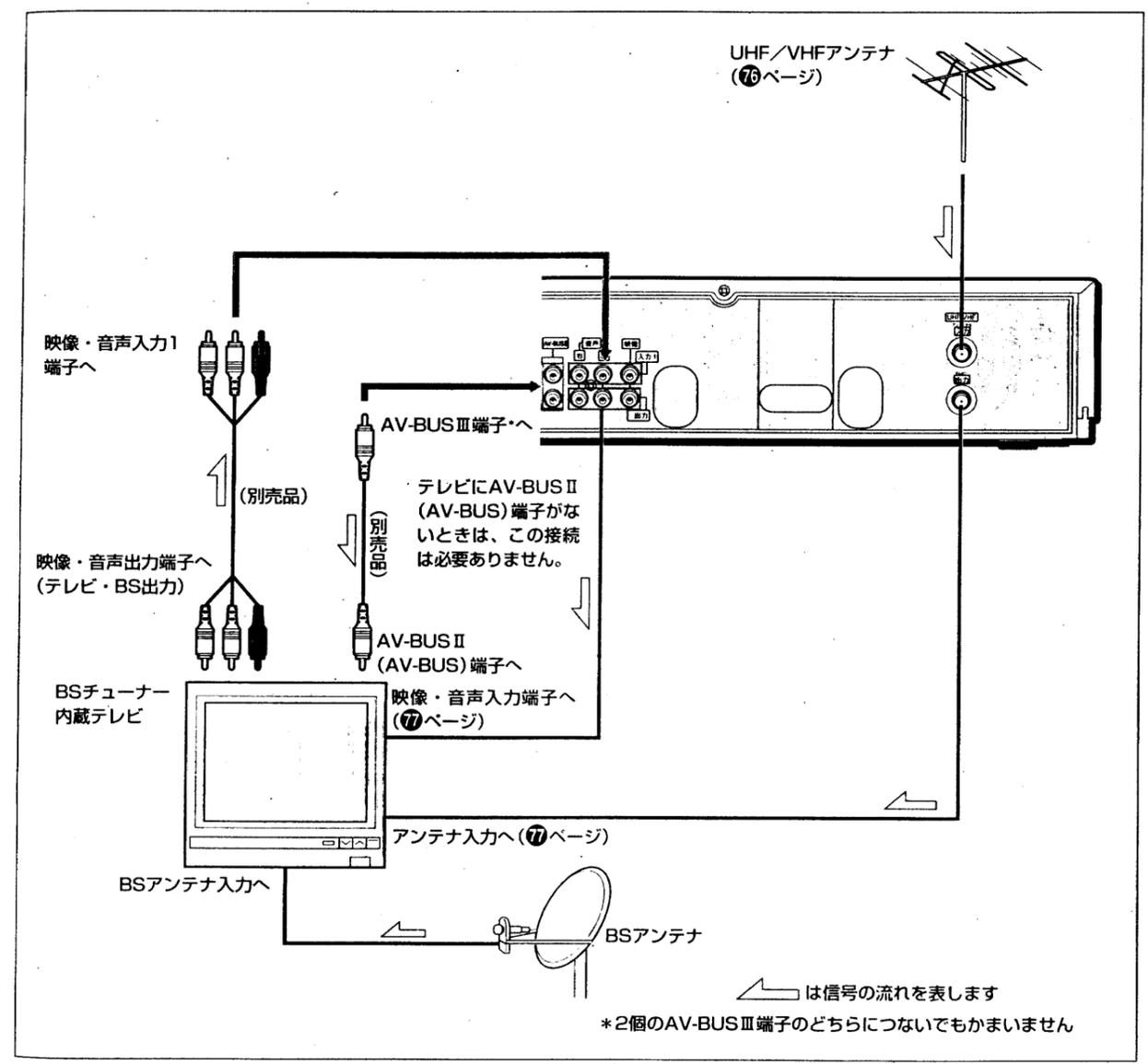
C マッチングアダプター (別売品、VT-BF11086) に同軸ケーブルを取り付ける



衛星放送を録画するときは、BSチューナー内蔵テレビをつないでください。テレビが日立製で、AV-BUS II (またはAV-BUS) 端子がついているときは、ビデオの操作でテレビをコントロールすることができます。

重要

- AV-BUS III端子を使うときは、ビデオ前面のチャンネル切替ボタンを押して必ず「RF-OFF」を選んでください。(85ページ参照)。
- AV-BUS III端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。
- 衛星放送の録画のしかたは、89ページをご覧ください。



設置・準備

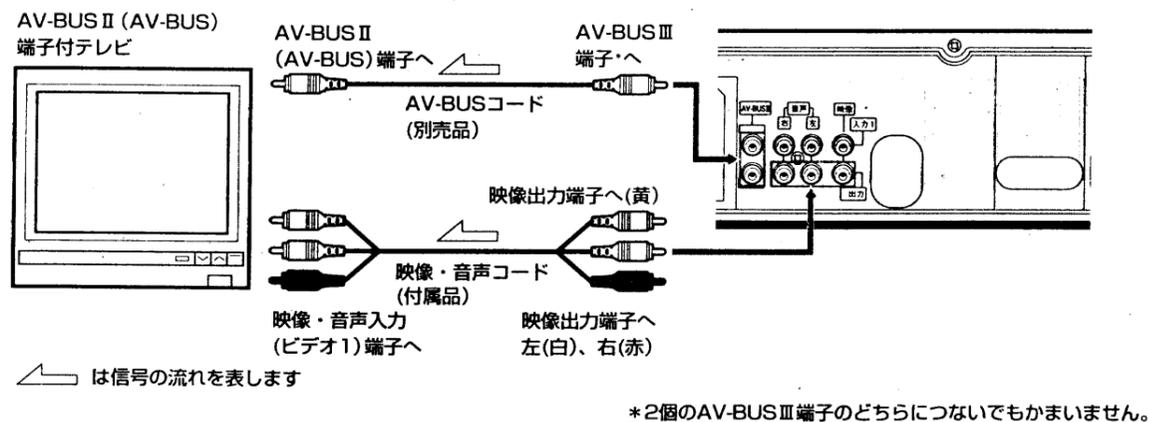
AV-BUSⅢ端子を使う……………

日立製のテレビやデジタルCSチューナーには、AV-BUSⅢ、AV-BUSⅡ (AV-BUS) 端子がついているものがあります。これらの端子とビデオのAV-BUSⅢ端子をつなぐと、ビデオの操作に応じてテレビの電源や入力を自動的に切り換えることができます。

重要

- AV-BUSⅢ端子を使うときは、ビデオのチャンネル切換ボタンを必ず「RF-OFF」にしてください(85ページ参照)。
- AV-BUSⅢ端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。
- AV-BUSコードでつないだ機器の主電源は切らないでください。組み合わせの機器により、AV-BUSが正しく動作しない場合があります。

AV-BUSⅡ端子付テレビをつなぐ



テレビをコントロールする

1 テレビの電源を「入」または「スタンバイ」にする



2 ビデオを操作する

ビデオの操作	テレビの操作
再生を始める	テレビの電源が自動的に入り、入力切換が「ビデオ」になる
ビデオ テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ	
ビデオ テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶ	入力切換が自動的に「テレビ」になる
ビデオの電源を切る	(テレビの電源は切れません)

テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

BSチューナーをコントロールする

日立製のBSチューナー内蔵テレビやBSチューナーと、AV-BUSⅢ (AV-BUS) 端子をつないだときは、AV-BUSⅢ機能を使って、ビデオからテレビやBSチューナーをコントロールすることができます。

ビデオの操作	BSチューナーの動作
電源を入れ、BS放送を選ぶ	電源が入る
電源を切る	電源が切れる
BS以外のチャンネルを選ぶ	電源が切れる

BS放送の録画のしかたは、89ページをご覧ください。

おしらせ

このビデオには「見テ・録」機能はありませんので、AV-BUS端子付きテレビの見テ・録ボタンを押しても、ビデオは動作しません。

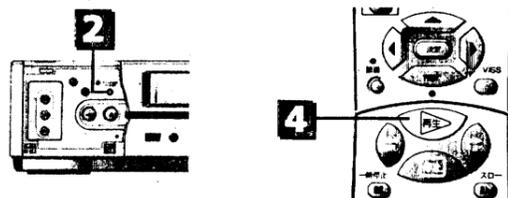
ビデオとテレビの接続を確認する……

接続が終わったら、正しく接続できたか確認してください。

重要

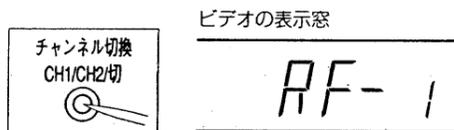
テープが入っていると正しく接続できたか確かめることができません。テープを取り出してから操作を始めてください。

アンテナ線だけでテレビとビデオをつないでいるとき



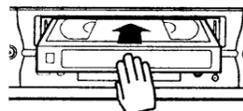
1 テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル(1または2)を選ぶ

2 チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、テレビで選んだチャンネルを出す



- ボタンを押すたびに「RF-1」(1チャンネル) → 「RF-2」(2チャンネル) → 「RF-OFF」(切)の順に出ます。
- ここで選んだチャンネルがビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)です。

3 録画済みのテープを入れる



自動的に電源が入ります。

4 再生ボタンを押す

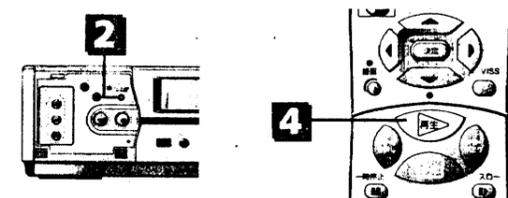


再生が始まります。映像と音声が出れば、正しく接続されています。

おしらせ

ビデオの再生画が映らないとき
 ・アンテナ線の接続を確かめてください(76ページ)。
 ・テレビのビデオチャンネルを合わせ直してください。

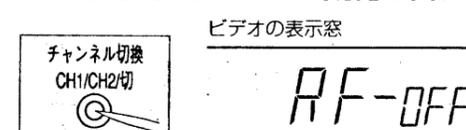
映像・音声コードを使ってテレビとビデオをつないでいるとき



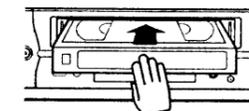
1 ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。

2 チャンネル切換ボタンをつまようじなどで押して、「RF-OFF(切)」を出す



3 録画済みのテープを入れる



自動的に電源が入ります。

4 再生ボタンを押す



再生が始まります。映像と音声が出れば正しく接続されています。

おしらせ

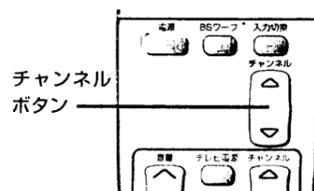
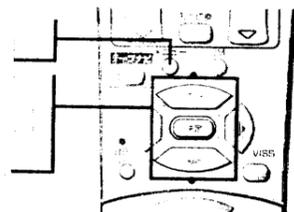
ビデオの再生画が映らないとき
 映像・音声コードの接続を確かめてください(76ページ参照)。

受信チャンネルを合わせる

お住いの地域により(たとえば東京と大阪、あるいは北海道と九州では)、受信できるチャンネルが違います。このため、お住いの地域に合わせてビデオの受信チャンネルを合わせる必要があります。オートチャンネル設定を行うと、お住いの地域で受信できるチャンネルがすべて、自動的に設定できます。

- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切替を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

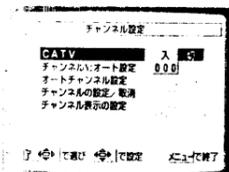
チャンネルが映るかどうか確認する



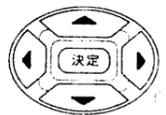
メニューボタンを押す



▼ボタンを押して「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

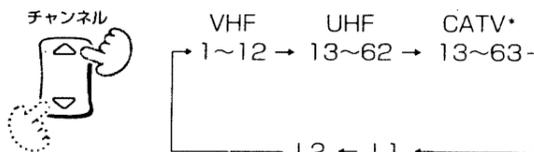


- 受信できたチャンネルを自動的に記憶していきます(約2分かかります)。
- 記憶が終わると、「チャンネル設定」画面に戻ります。
- メニューボタンを押すとテレビの受信画面になります。

おしらせ

工場出荷時は、VHF放送の1~12チャンネルが受信できるように調整されています。

チャンネルボタンを押して、チャンネルを確認する



*CATVチャンネルを設定したとき表示される(88ページ)
チャンネルボタンの△側を押すと上記の矢印の順にチャンネルが出ます。▽側を押すと、逆の順にチャンネルが出ます。

- 放送のないチャンネルが設定されているとき
電波状態によっては、放送のないチャンネルが設定されることがあります。不要なチャンネルは飛ばすことができます(89ページ参照)。
- チャンネルの表示がテレビ番組表の数字と合わないとき
チャンネルの表示を、テレビ番組表と同じ数字に変えることができます(87ページ参照)。

おしらせ

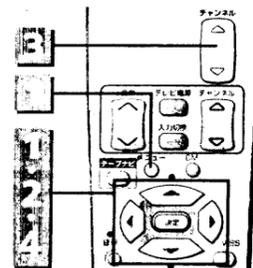
チャンネルが1つも設定されなかったり、画がきれいに映らないときはアンテナ線の接続を確かめてください(76ページ参照)。

重要

- BS放送やケーブルテレビのチャンネル表示を変えることはできません。
- 録画、再生中に外部入力(L1またはL2)が選んであるときは、2の操作をしても「チャンネル表示の設定」画面を出すことはできません。

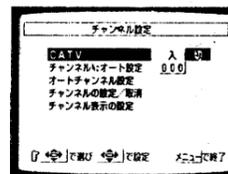
チャンネルの表示を変える

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。このとき、次のようにして、数字を合わせることができます。

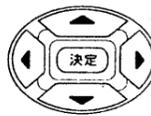


例えば…チャンネル表示「60CH」を「4CH」に変えたいとき

1 86ページの1、2の操作で「チャンネル設定」画面を出す



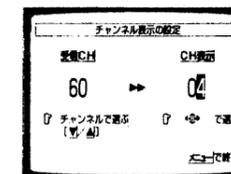
2 ▼、▲ボタンで「チャンネル表示の設定」を選び、決定ボタンを押す



3 変えたいチャンネルを表示させる



4 カーソルボタンで表示したい数字を選ぶ



- ▲を押すと大きい数字になり、▼を押すと小さい数字になります。CH表示の左側の数字を選んだら、▶ボタンを押してください。カーソルが右側に移動します。右側の数字も選んでください。
- 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、3、4を繰り返してください。
- 修正するときは、◀または▶ボタンで修正したい数字を選び、▲または▼ボタンで正しい数字を選んでください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

ケーブルテレビをお使いになるとき

ケーブルテレビの受信契約について

ケーブルテレビを受信するには、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との加入手続きが必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、アダプターが必要になります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。ケーブルテレビの受信はサービスの行われている地域のみ受信可能です。

ケーブルテレビのチャンネルを設定する

86 ページの 、 の操作で「チャンネル設定」画面を出す

◀ボタンを押して「CATV」を「入」にする



▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す



VHFチャンネル(1~12)
→UHFチャンネル(13~62)
→CATVチャンネル(C13~C63)の順で、CATVも設定されます。

ケーブルテレビチャンネルを設定したときにリモコンの0~9ボタンでUHF放送の13~62チャンネルを選ぶには

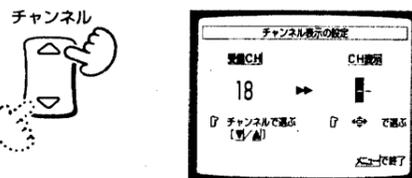
ケーブルテレビチャンネルを設定したとき、チャンネルボタンを使うと全部のチャンネルを選局できますが、リモコンの0~9ボタンで13~63チャンネルを選ぶとケーブルテレビが選局され、UHF放送の13~62チャンネルは選局できなくなります。

リモコンの0~9ボタンで全部のチャンネルを選局するには、前ページの 、 の操作で、UHF放送のチャンネル表示を1~12チャンネルの空いているチャンネルの数字に変えてください。

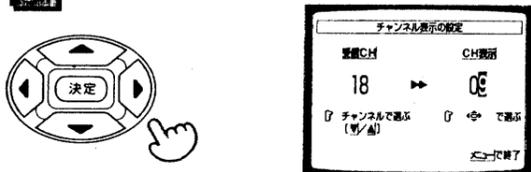
例えば…UHF放送の18チャンネルの表示を、空きチャンネル9に変える

87 ページの 、 の操作で「チャンネル表示の設定」画面を出す

2 チャンネルボタンでUHF18チャンネルを選ぶ



3 カーソルボタンで9チャンネルを選ぶ



- ▲を押すと大きい数字になり、▼を押すと小さい数字になります。CH表示の左側の数字を選んだら▶ボタンを押してください。カーソルが右側に移動します。右側の数字も選んでください。
- 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、2、3を繰り返してください。
- 修正するときは、◀または▶ボタンで修正したい数字を選び、▲または▼ボタンで正しい数字を選んでください。

4 メニューボタンを押す

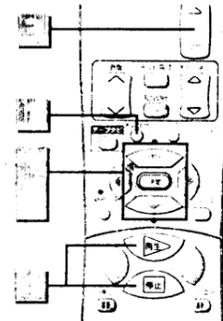
これで、0ボタン、9ボタンと押すと、UHF18チャンネルが選局できます。

おしらせ

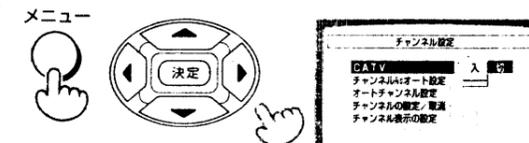
- お住いの地域によっては、0~9ボタンで全部のチャンネルを選局できないことがあります。ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき
- 「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送のタイマー録画はできません。UHF放送の番組をタイマー録画するときは、「ケーブルテレビのチャンネルを設定したときにリモコンの0~9ボタンでUHF放送の13~62チャンネルを選ぶには」で変更したチャンネル番号で予約してください。

チャンネルを飛ばす/元に戻す

オートチャンネル設定をすると、放送のないチャンネルや、電波が弱いチャンネル、妨害が入るチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛ばしたり、元に戻したりすることができます。チャンネルを飛ばすときは、あらかじめ不要なチャンネルをメモしておく、便利です。



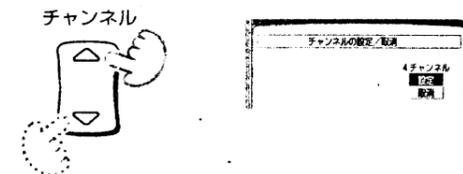
メニュー画面を出し、メニューから「チャンネル設定」を選び決定ボタンを押す



▼、▲ボタンで「チャンネル設定/取消」を選び決定ボタンを押す

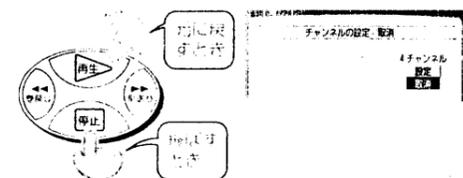


飛ばしたいチャンネル、または元に戻したいチャンネルを選ぶ



L1、L2チャンネルを飛ばすときはまたは元に戻すときは、入力切換ボタンを押して、L1、L2を選んでください。

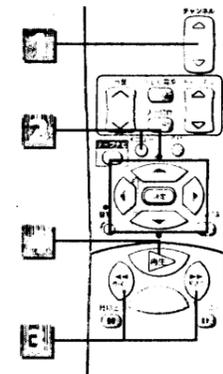
停止ボタン、または再生ボタンを押す



- 続けて他のチャンネルも飛ばすときは、、を繰り返してください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

チャンネルを微調整する

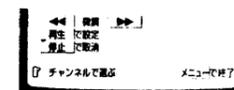
オートチャンネル設定のあとで受信状態を微調整することができます。



1 映りが悪いチャンネルを選ぶ

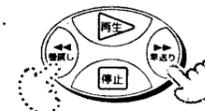


2 「チャンネル設定/取消」画面を出す



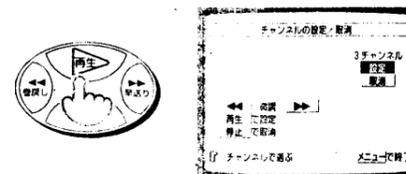
左段の 、 の操作をしてください。

3 画像を見ながら、早送りまたは巻き戻しボタンで調節する



一度、早送りまたは巻き戻しボタンを押すと画像が出ます。画像が最もよく映るように調節してください。

4 再生ボタンを押す



- 続けて他のチャンネルも微調整したいときは、、を繰り返してください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

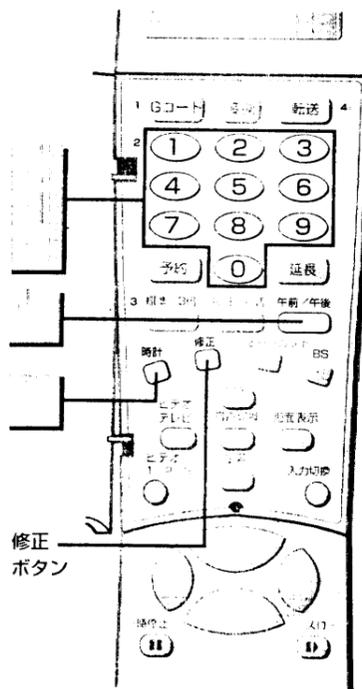
時計を合わせる

はじめにリモコンの時計を合わせたあと、ビデオの時計を合わせてください。

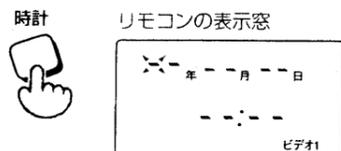
重要

操作を約1分以上中断すると、リモコンの時計設定表示は消えます。このときは、もう一度時計ボタンを押してやり直してください。

たとえば…西暦1999年11月5日午前8時20分に合わせるとき

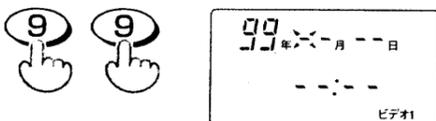


1 時計ボタンを押す



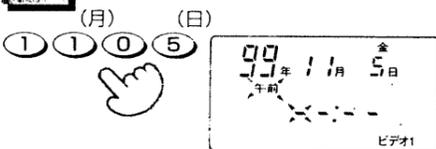
年「-」が点滅します。

2 年を西暦で合わせる



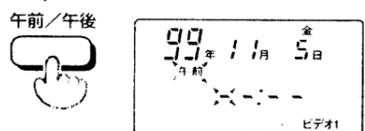
- 西暦の下2けたを合わせてください。
- 2000年は00に合わせてください。

3 月・日を合わせる



- ひとけたの数字を合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- 曜日は自動的に設定されます。

4 午前・午後を合わせる

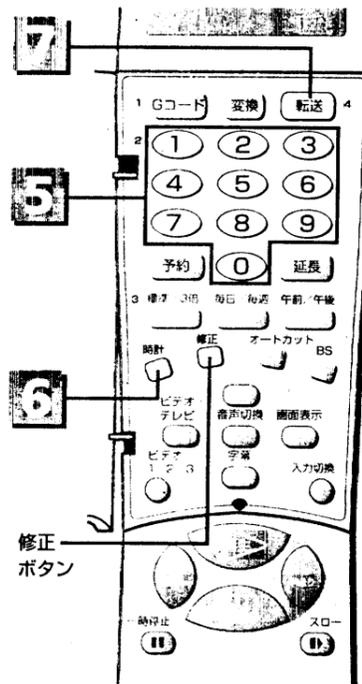


押すたびに「午前」と「午後」が切り換わります。

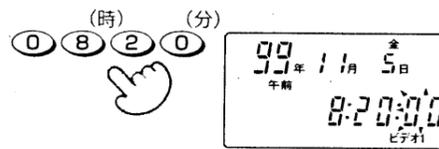
おしらせ

時計を合わせている途中で修正するとき

- 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻してから修正してください。

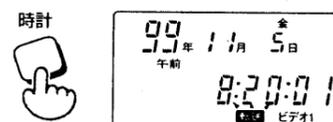


5 時刻を合わせる



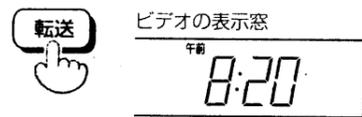
- ひとけたの数字を合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- 昼の12時は「午後00:00」、夜の12時は「午前00:00」に合わせてください。

6 時報などに合わせて時計ボタンを押す



- 時計ボタンを押すと、リモコンの時計がスタートします。
- 転送が点滅します。

7 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



- ビデオの時計がスタートします。
- 転送したら、リモコンのふたを閉じてください。

おしらせ

時計を正確に合わせるには(ジャストクロック) このビデオには、時計を正確に合わせるジャストクロック機能が付いています。

ジャストクロックは、1日に1回(午後0時(正午))、NHK教育テレビの時報を受信して、自動的にビデオの時計を修正します。

次のような場合、ジャストクロックは働きません。

- ビデオの時計が現在時刻と3分以上ずれているとき
- 時報の時刻にビデオの電源が入っているとき
- ビデオの受信チャンネルにNHK教育テレビが設定されていないとき
- 初めてジャストクロック機能が動いたとき、NHK教育テレビを選ぶまで時間がかかり、数回、時計を修正できないことがあります。

時計を修正する

■ リモコンの時計の修正

電池を換えたときや、一度合わせた時計を修正したいとき、次のようにリモコンの時計を合わせ直してください。

- 1 時計ボタンを押して時計を表示させる。
- 2 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところを点滅させる。
- 3 手順 1 ~ 2 を参考にして、日付または時刻を修正する。
- 4 時計ボタンを2回押す。

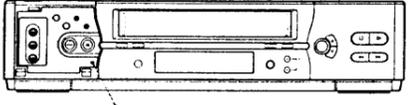
■ ビデオの時計の修正

60分以上の停電があると、ビデオの時計が「--:--」になります。このときは、次のようにリモコンの時計をビデオに転送してください。

- 1 時計ボタンを押して、リモコンの表示窓に「転送」を点滅させる。
- 2 転送ボタンを押す。

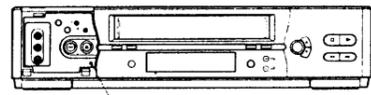
故障かな…と思ったら

まず下の表でお調べください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理せず、お買い上げの販売店にご相談ください。アフターサービスについては、裏表紙をご覧ください。

症状		処置	参照ページ	
電源	ビデオの電源ボタンを押しても電源が入らない(ビデオの操作ができない)。	●電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントを入れたあと、電源ボタンを押してください。		
	リモコンでビデオの操作ができない(リモコンが使えない、リモコンの反応が遅い)。	●乾電池を交換してください。乾電池を交換するときは、古い乾電池を取り外して電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください(乾電池の寿命は、通常の使用で約半年です)。 ●リモコンのビデオ1/2/3切替ボタンを押して、リモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示させてからリモコンを使用してください。 ●ビデオのリモコン切替ボタンを押して設定を確認してください。リモコンの表示窓に「ビデオ1」と表示されているときは、ビデオの表示窓に「R-1」を、「ビデオ2」のときは「R-2」を、「ビデオ3」のときは「R-3」を表示させてください。	12 17 71	
リモコン	リモコンでテレビの操作ができない。	●お手持ちのテレビのメーカーに合わせて、テレビコードを設定してください。	72	
	巻戻し、早送りができない。	テープが最初または最後まで巻取られていないか、確認してください。	22	
	テープが取り出せない。	●リセットスイッチをつまようじなどで押してください。それでも取り出せないときは、電源コードをコンセントから抜き、再度コンセントに入れて取出しボタンを押してください。  リセットボタン		
録画	テレビ番組が録画できない(何も録画されていない)。	●アンテナ線を正しく接続してください。 ●受信チャンネルを合わせ直してください。	76 86	
	録画ボタンを押すと、テープが出てくる。	●「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	18	
	タイマー録画ができない	録画予約したが録画が始まらない	●停電があったため、予約が消えました。再度、時計を合わせたあと予約をやり直してください。	94
		電源を切るとテープが出てくる	●「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	18
		録画予約したが何も映ってない	●タイマー録画予約したあとビデオの電源を切りましたか?ビデオの電源を切っておかないと、予約した時間になっても録画されません。	43
	タイマー録画予約ができない(予約の内容を転送できない)<Gコード予約時、リモコン予約時>	●ビデオの時計を合わせてから、予約を転送してください。	94	
	ケーブルテレビを使用しながら、UHF放送をタイマー録画予約できない。	●「CATV」の設定が「入」になっているときは、UHF放送の番組をタイマー録画予約できません。ケーブルテレビチャンネルを設定したときに変更したチャンネル番号で予約してください。	88	
	ケーブルテレビのBS番組をGコード予約できない。	●予約のとき、下記の方法でチャンネルを修正してください。 1) Gコード予約番号を入力します。リモコンの表示窓に「BS」表示が出ます。 2) 修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させます。 3) BSボタンを押して「BS」表示を消します。 4) ケーブルテレビのチャンネルを入力します。	51	

症状	処置	参照ページ	
リモコンを使ってタイマー予約をしていたら、途中で時計表示に戻ってしまった。	●操作を約1分中断したためです。もう一度Gコードボタンか予約ボタンを押して予約をやり直してください。	41 46	
タイマー録画したが、録画内容が違っている。<Gコード予約時>	●Gコード予約番号を間違えて入力していませんか? Gコード予約番号を正しく入力してください。 ●予約を転送する前に、必ず内容を確認してください。特にチャンネルは、ビデオ本体で設定したチャンネル番号と同じになっていることを確認し、違っていたら修正してください。	41 42	
タイマー録画の途中でビデオの電源が切れ、テープが出てきた。	●タイマー録画の途中でテープがなくなりました。	51	
タイマー録画を途中でやめることができない。	●電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。	43 45 47	
クイックタイマー録画を途中でやめることができない。	●停止ボタンを押してください。	33	
クイックタイマー録画ができない。	●ビデオの時計を合わせてください。	94	
ビデオと接続している機器から録画できない。	後面端子に接続した機器から録画するときは、入力切替ボタンを押して「L1」(外部入力1)を選んでください。	38	
	前面端子に接続した機器から録画するときは、入力切替ボタンを押して「L2」(外部入力2)を選んでください。	36	
再生画像に帯状のノイズが出たり、画像がモヤモヤする。	●古いテープや、他のビデオで録画したテープを再生するときに起こることがあります。チャンネル(トラッキング)ボタンを押して最良に映るように調整してください。	23	
再生画像がきれいに映らない、または音は出るが画像が出ない。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	8	
音が途切れる。	●日本とヨーロッパなどでは信号方式が違うためこのビデオでは再生できません。	104	
ヨーロッパなどで買って来たテープが再生できない。	●音声切替ボタンを押してビデオの表示窓に「L」または「R」を出し、聞きたい音を選んでください。	23	
日本語と英語が同時に聞こえる。	●音声切替ボタンを押してビデオの表示窓に「L R」を出し、聞きたい音を選んでください。	23	
Hi-Fiサウンドの音が出ない。	●音声切替ボタンを押してビデオの表示窓に「L R」を出し、聞きたい音を選んでください。	23	
テープナビ	録画時のデータが登録されない。	●テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらぬテープの登録内容を消してください。 ●テープナビメニューの「テープナビ」を「入」にしてください。 ●録画時間が短いとき(標準モードで約5分以内、3倍モードで約15分以内)のときは、登録されません。 ●オートカット機能を使って30分以内の番組を録画したときは、録画時のデータが登録されません。	60 58 55 56
	録画時に「登録データを消してください」という表示がテレビ画面に出る。	●テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらぬテープの登録内容を消してください。	60
	タイムナビ画面で「00」が出ない。	●ビデオ前面の「CM」表示が消灯していると「00」が出ません。	66

	症状	処置	参照ページ
テープナビ	見たい番組が探せない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機または日立製テープナビ機能つきビデオ以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。 本機または日立製テープナビ機能つきビデオで録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、テープナビボタンを押してください。 	59
	録画予約したときの録画時間と実際の録画時間がちがう。	<ul style="list-style-type: none"> オートカット機能を使って録画すると、CMをカットした分だけ録画時間が短くなります。故障ではありません。 	56
CMとばしワザ	CMとばしワザでCMをとばさない。	<ul style="list-style-type: none"> 他のビデオで録画したテープを再生しています。本機、日立製CMオート機能付きビデオまたは日立製ステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオ以外で録画したテープでは動作しません。 	28
		<ul style="list-style-type: none"> テープナビ「切」で録画したテープを再生しています。テープナビ「入」で録画したテープを再生してください。 	28
		<ul style="list-style-type: none"> 1本で60秒以上のCMや1本が15秒以内のCM、また2本以上続いて60秒未満のCM部分は正しくとばされません。故障ではありません。 	27
		<ul style="list-style-type: none"> 録画開始部分や終了部分では正しくとばせないことがあります。 	29
		<ul style="list-style-type: none"> 再生中にリモコンのCMボタンを押し、テレビ画面に[CMオート]を出してください。 	29
オートカット機能	録画(予約も含む)したのにテープには何も録画されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ステレオ放送の番組を録画していませんか? オートカット機能はステレオ放送をカットするので、ステレオ放送の番組を録画することはできません。オートカット機能を使って録画するときは、ステレオ放送以外の番組を選んでください。 	34
	見ている番組をオートカット機能を使って録画しているが、オートカットを解除できない。	<ul style="list-style-type: none"> 停止ボタンを押して録画を終了するとオートカットが解除されます。 	35
	録画中に番組を切り換えられない(一時停止ボタンを押しても録画一時停止にならない)。	<ul style="list-style-type: none"> 停止ボタンを押して録画を終了させてから、チャンネルを切り換えてください。 	35
	オートカット機能を使って録画を始めたが、すぐに一時停止になった。	<ul style="list-style-type: none"> ステレオ放送のCMまたは番組をカットしています。ステレオ放送以外の番組になると自動的に録画を開始します。 	35
チャンネル設定	受信チャンネルの表示を変えたら、テレビ番組の内容とチャンネル表示が合わなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルの表示と番組の内容を確認し、もう一度設定をやり直してください。 	86
	チャンネルが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたチャンネルを元に戻してください。 	89
		<ul style="list-style-type: none"> チャンネル設定をしたあとでアンテナなどの接続を変えたときや、引っ越しなどで放送局が変わったときは、チャンネル設定をやり直してください。 	86
「L1」「L2」が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 「L1」「L2」を飛ばして設定しています。飛ばした「L1」「L2」を元に戻してください。 	89	

	症状	処置	参照ページ
その他	ダビング編集ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機を録画側のビデオとして使うのか、再生側として使うのかを確認し、正しく接続してください。 	36 37
		<ul style="list-style-type: none"> 録画側ビデオで「外部入力」を選んでください。 	37
	ビデオの表示窓が誤表示したり、ボタンを押しても操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> リセットスイッチをつまようじなどで押してください。表示部がリセットされます。そのあと、時計合わせやタイマー予約など必要な設定をやり直してください。 	—
	 <p>リセットボタン</p>		
	テープが動いているのに、経過時間表示が動かない。	<ul style="list-style-type: none"> 経過時間表示は、テープに何も録画されていないと動きません。 	53
	ビデオを操作しても画面表示(動作表示)が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオモード設定の「OSD表示」を「オート」にしてください。 	52
	ビデオの時刻を自動的に修正(ジャストクロック)できない。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオの時刻と現在時刻が3分以上ずれているときは、時刻を修正することはできません。 	95
	英語の字幕が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 字幕ボタンを何回か押してください。 	25
		<ul style="list-style-type: none"> 早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が出ません。また、傷がついたテープや録画状態の悪いテープは字幕を正しく表示できないことがあります。 	25
	録画した番組を再生していたら、自動的に早送り再生になった。	<ul style="list-style-type: none"> 再生中にCMボタンを押してテレビ画面の[CMオート]を消してください。 	28
テープを停止後、しばらくして音がした。	<ul style="list-style-type: none"> 停止状態で約1分たつと内部のテープ保護メカが動作し、多少音がします。故障ではありません。 	—	
ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選んだときに、テレビの映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンのビデオ/テレビ切替ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」を消してください。 	33	

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ。
 なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記の(相談)窓口または(修理)窓口にご相談ください。
 ●お買物相談やお取り扱いについてのご相談は………(相談)窓口を担当するお客様相談センターへ
 ●修理などアフターサービスに関するご相談は………(修理)窓口を担当するエコーセンター又はサービスセンターへ

お客様相談センター・サービスセンター

北海道地区				関東・甲信越地区 (東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、新潟、静岡県富士川以南)																	
窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号														
(相談) (修理)	北海道	札幌	(011)231-5088 (011)833-1725	(相談) (修理)	関東・甲信越地区	東京	(03)3834-8588 (047)382-1111														
		旭川	(0166)35-5222			東京都	東京エコーセンター	(03)3422-2511													
		北見	(0157)23-2266				北東京	(03)3879-2939													
		釧路	(0154)25-3357				西東京	(03)3973-2295													
		帯広	(0155)22-5504				南東京	(03)3424-8511													
		小樽	(0134)22-3500				三鷹	(0422)49-8088													
		苫小牧	(0144)36-5165				神奈川県	神奈川エコーセンター	(045)825-2201												
		室蘭	(0143)45-3122					横浜	(045)824-7712												
		函館	(0138)41-9106					厚木	(0462)50-0020												
		(相談) (修理)	東北地区 (青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)					東北	(022)222-5088 (022)237-2311	(相談) (修理)	埼玉	埼玉エコーセンター	(048)663-8355								
青森	(0177)34-2134			埼玉県	大宮				(048)667-4584												
むつ	(0175)22-1194				越谷	(0489)79-7311															
弘前	(0172)27-2171				三芳	(0492)58-3021															
八戸	(0178)27-6610				千葉県	千葉エコーセンター			(043)212-8241												
(相談) (修理)	岩手					岩手			(019)635-2123			茨城県	水戸	(029)226-2223							
						水沢			(0197)25-3811				日立	(0294)22-4162							
						(相談) (修理)	宮城		宮城				(022)232-5263	栃木	鹿嶋	(0299)82-4411					
									古川				(0229)22-1579		土浦	(0298)43-2715					
									石巻				(0225)75-2229		(修理)	群馬	北関東エコーセンター	(048)652-2092			
		(相談) (修理)	秋田					秋田	(018)847-5171	山梨	山梨エコーセンター		(055)274-5833								
				大館				(0186)42-1962	(修理)		長野		長野				(026)259-0051				
				南				(0187)62-5166					松本				(0263)58-3236				
				(相談) (修理)				山形					山形				(023)688-8511	(修理)	新潟	新潟	(025)247-3177
					庄内								(0234)22-3740				佐渡			(0259)63-4175	
(相談) (修理)	福島				いわき							(0246)23-0691	(修理)				静岡県 (富士川以南)			静岡エコーセンター	(054)289-2030
					福島							(024)535-3391								静岡県 (富士川以西)	静岡
					原町	(0244)22-5332	(修理)					静岡県 (富士川以西)		静岡							(054)222-7151
					郡山	(0243)33-5211								(修理)							静岡県 (富士川以西)
					会津若松	(0242)24-1771									(修理)	静岡県 (富士川以西)					

お客様相談センター・サービスセンター

中部地区 (愛知、岐阜、三重、静岡県富士川以西、富山、石川、福井)				中国地区 (鳥取、島根、岡山、広島、山口)																																					
窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号																																		
(相談) (修理)	中部地区	中部	(052)795-5088 (052)354-0546	(相談) (修理)	中国地区	中国	(082)221-5088 (082)281-2462																																		
		(相談) (修理)	愛知県			名古屋エコーセンター	(052)354-0546	(相談) (修理)	鳥取県	鳥取	(0857)28-5721																														
						名古屋東	(052)795-1831			(相談) (修理)	島根県	山陰	(0852)23-2131																												
						名古屋西	(052)354-3011					浜田	(0855)28-2137																												
						三河	(0564)28-0855					(相談) (修理)	岡山県	岡山	(086)293-4711																										
						豊橋	(0532)64-6710							津山	(0868)22-9337																										
						(相談) (修理)	岐阜県							岐阜エコーセンター	(052)354-0546	(相談) (修理)	広島県	広島	(082)233-1221																						
														岐阜	(058)273-5111			備後	(0849)34-1160																						
														高山	(0577)32-4351			(相談) (修理)	山口県	山口	(0839)72-1111																				
														東濃	(0572)68-1010					東山口	(0833)41-1300																				
(相談) (修理)	三重県			三重エコーセンター	(052)354-0546									(相談) (修理)	四国地区 (徳島、香川、愛媛、高知)					四国	(0877)47-1088 (0877)47-3133																				
		北三重	(0593)34-1111	(相談) (修理)	徳島県			徳島	(088)665-6411																																
		南三重	(0596)58-9053					(相談) (修理)	香川県	香川	(0877)47-3135																														
		(相談) (修理)	静岡県 (富士川以南)							静岡エコーセンター	(054)289-2030									(相談) (修理)	愛媛県	宇和島	(089)979-1170																		
										静岡	(054)222-7151	宇和島	(089)22-2619																												
										(相談) (修理)	静岡県 (富士川以西)	静岡エコーセンター	(054)222-7151									(相談) (修理)	高知県	高知	(0888)44-4156																
						静岡	(054)222-7151					(相談) (修理)	九州・沖縄地区 (福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)			九州	(092)281-5088 (092)606-2831																								
						(相談) (修理)	富山県									富山	(0764)52-1615							(相談) (修理)	福岡県	福岡エコーセンター	(092)606-0707														
																(相談) (修理)	石川県	石川	(076)246-7373							(相談) (修理)	福岡県	福岡	(092)501-1545												
																		(相談) (修理)	福井県									福井	(0776)54-7730	(相談) (修理)	福岡県	北九州	(093)592-7507								
(相談) (修理)	関西地区 (大阪、奈良、兵庫、京都、滋賀、和歌山)													関西地区	関西													(078)431-5088 (06)686-5611	(相談) (修理)			福岡県	筑豊	(094)82-1302							
				(相談) (修理)	大阪府										大阪エコーセンター													(06)686-5611					(相談) (修理)	福岡県	久留米	(0942)34-4505					
								(相談) (修理)	奈良県						奈良													(0743)64-2712							(相談) (修理)	福岡県	大牟田	(0944)52-3311			
		(相談) (修理)	兵庫県												兵庫エコーセンター					(06)686-5633	(相談) (修理)							福岡県									唐津	(0955)72-7174			
															(相談) (修理)					京都府																	京都	(075)321-5826 (0773)23-2802	(相談) (修理)	福岡県	長崎
										(相談) (修理)	滋賀県											滋賀	(077)545-5088 (0749)25-4188														(相談) (修理)	福岡県			佐世保
												(相談) (修理)	和歌山県									和歌山	(0734)77-4188 (0739)22-6014 (0735)22-6355																		(相談) (修理)
						(相談) (修理)	九州・沖縄地区															九州	九州	(092)281-5088 (092)606-2831	(相談) (修理)																
																(相談) (修理)	福岡県						福岡	(092)606-0707		(相談) (修理)	福岡県														
																		(相談) (修理)	佐賀県				佐賀	(0952)25-3115						(相談) (修理)	福岡県										
(相談) (修理)	長崎県													長崎									(095)887-3379	(相談) (修理)					福岡県			大分									
				(相談) (修理)	熊本県									熊本									(096)362-2143									(相談) (修理)	福岡県	中津							
								(相談) (修理)	大分県					大分									(097)533-0916 (0979)24-5711 (0972)23-2521											(相談) (修理)	福岡県	佐伯					
		(相談) (修理)	宮崎県											宮崎							(0985)39-4811 (0982)37-7350		(相談) (修理)					福岡県								宮崎					
														(相談) (修理)	鹿児島県					鹿児島	(099)250-8350															(相談) (修理)			福岡県	延岡	
										(相談) (修理)	沖縄県									沖縄	(098)662-9670																(相談) (修理)	福岡県		都城	
												(相談) (修理)	鹿児島県							鹿児島	(099)250-8350																			(相談) (修理)	福岡県
						(相談) (修理)	鹿児島県													鹿児島	(099)250-8350	(相談) (修理)			福岡県																
																(相談) (修理)	鹿児島県			鹿児島	(099)250-8350					(相談) (修理)	福岡県														
																		(相談) (修理)	鹿児島県	鹿児島	(099)250-8350									(相談) (修理)	福岡県										

●ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は変更することがありますのでご了承ください。

形名	VT-F77NV			
電源	AC 100V、50/60Hz共用			
消費電力	電源「入」時20W、電源「切」時2.5W			
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン VHS 方式 (NTSC準拠)			
使用カセット	VHS タイプビデオカセット			
テープ幅	12.7mm			
テープ速度	標準モード 33.4mm/秒、3倍モード 11.1mm/秒			
録画再生時間	標準モード 3時間30分 (T-210使用時) 3倍モード 10時間30分 (T-210使用時)			
巻戻し時間	高速巻戻しモード約83秒、通常巻戻しモード約130秒 (T-120使用時)			
ヘッド数	6 (4:映像用、2:Hi-Fi音声用)			
VHF出力	1、2チャンネル切り換え可能			
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル UHF 13~62チャンネル CATV 13~63チャンネル			
映像入力	映像端子: 1.0Vp-p、75Ω不平衡			
映像出力	映像端子: 1.0Vp-p、75Ω不平衡			
音声入力	-7.8dBs (316mVrms)、ハイインピーダンス			
音声出力	-7.8dBs (316mVrms)、ローインピーダンス			
音声トラック	3トラック Hi-Fi VHS音声2トラック:ステレオ録音/ステレオ再生 ノーマル音声 1トラック:モノラル録音/モノラル再生			
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ: 90 dB以上 周波数特性: 20 Hz~20 kHz ワウ・フラッター: 0.005 %			
許容動作温度	5℃~40℃			
許容相対湿度	35~80%以下			
外形寸法	(幅)43.5 × (高さ)9.9 × (奥行)30.2 cm			
質量	本体 4.5kg			
付属品	ワイヤレスリモコン (VT-RM77)	1個	単3形乾電池	2個
	同軸ケーブル	1本		
	映像・音声コード	1本		

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオカセットレコーダーは、日本国内専用です。電源・電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
<This video cassette recorder cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

別売品のご紹介

液晶Hi8ビデオカメラ

VM-H200L
VM-H845L

ミニビデオカメラ

VK-C32

カラービデオプリンタ

VY-VP20

カセットアダプタ

TA-3C

ブースター

- HD-WB2A (VHF・UHF・FM兼用)
- HVTR-W26A (VHF・UHF兼用)
- HVTR-U26A (UHF専用)

ヘッドクリーニングテープ

- 乾式ビデオヘッドクリーナー T-CLO1
- 湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210

ビデオカセットテープ

VHS テープ

- T-160SX ●T-120SX
- T-160HG ●T-120HG
- T-180HG

接続コード

- HPU-131AV (映像用)
- HPU-121 (音声用)
- HPU-200AV (映像・音声用)
- HPU-100 (AV-BUSII用)

その他

- マッチングアダプター VT-BF11 086
- U/V分波器 VT-BF11 096

デジタルCS放送 (40、83ページ)

通信衛星 (CS) を利用したデジタル衛星放送の一種で、いくつかの放送サービスがあります。映像や音声をデジタル化して、多チャンネルの放送を高画質、高音質で放送します。

トラッキング調節 (23ページ)

再生時、画面に出たりノイズを少なくし、きれいな再生画になるように調節することをトラッキング調節といいます。

入力切替 (33ページ)

他の機器から録画・録音するときに必要な切替です。入力切替ボタンで「L1」、「L2」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

ビデオ専用チャンネル (ビデオチャンネル) (85ページ)

1または2いずれかのチャンネルです。映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオの専用チャンネルです。

BSデコーダ (81、82ページ)

JSB (日本衛星放送株式会社) の有料放送、WOWOW (BS5チャンネル) を見るためにスクランブル画像を正常な画像に戻す装置です。

ブースター (電波増幅器) (76、102ページ)

名前のとおり、電波を増幅します。電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることができます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

録画モード (標準/3倍) (18、30ページ)

ビデオには、「標準」と「3倍」の録画モードがあり、録画時に切り換えられます。

標準: テープスピードが標準の速さです。画質を重視するときには「標準」で録画することをおすすめします。
3倍: テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「標準」に比べて3倍長く録画できます。再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り換わります。

クローズド キャプション Closed Caption (25ページ)

クローズド・キャプションシステムは、アメリカで聴覚障害者用に開発されたテレビの字幕放送です。アメリカではテレビ番組のみではなく、ソフトテープ、ビデオディスクなどにもクローズド・キャプション信号が入っています。日本国内でも、クローズド・キャプション対応のソフトテープが増えており、英語学習に利用することができます。

Gコード (41ページ)

ジェムスターコードの略で、番組予約を簡単にするために、各番組に付けた最大8桁の数字です。

Gコード・インフォ (41ページ)

従来の「Gコードシステム」を応用・展開した予約録画システムのことです。次のような利点があります。

- ① 1つの番組には全国どこでも同じコードが与えられるので、効率がよい。
- ② 録画時間の長さの精度が高いため、短時間番組の予約録画に適している。

「Gコード・インフォ」に使用する1コードは、Info plus code の略です。1コードはGコードの番号が「0」で始まります。

Hi-Fiサウンド (23ページ)

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定ヘッドで録音/再生します。

一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-Fiサウンドです。

オーディオ OSD表示 (52ページ)

OSDとは、On-Screen Displayの略です。OSD表示とは、画面表示やビデオを操作したときにテレビに現れる動作表示です。

NTSC方式 (102ページ)

日本やアメリカなどで使われているテレビの信号方式です。ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式とは互換性がないので、PAL方式やSECAM方式で録画されたテープはNTSC方式のビデオでは再生できません。

VHFとUHF放送(77ページ)

テレビ放送にはVHFとUHF放送、BS・CS(衛星)放送があります。VHF放送は1~12チャンネル、UHF放送は13~62チャンネルでご覧になれます。
 ※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

ビス VISS(26ページ)

VHS Index Search System の略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。本機は録画を始めると、自動的にVISS信号を記録します。

索引

あいうえお

頭出し26,55,59
 アンテナ線77
 一時停止
 テープを止めて見る24
 録画を一時停止する32
 衛星放送を録画する30,39
 映像・音声コード19
 ~を使った接続76,77
 延長43
 お好みセレクト54
 オーディオ録音38
 オート
 録画モード「オート」を選ぶ42,44,47
 録画モードを「オート」に合わせると51
 オートカット34,35
 オート電源オフ20,54
 オートトラッキング23
 オートリワインド22
 オートリワインドシャットオフ22
 音声切換
 オーディオ録音の音声切換38
 二重音声・ステレオ音声の音声切換23
 録画中の音声切換31
 音量ボタン17,72

かきくけこ

画面表示52
 カラーバー56,59
 クイックタイマー33
 クローズド・キャプション25
 経過時間52,53
 結露9
 ケーブルテレビ87,88
 誤消去防止18
 混合器76
 ~を使ってアンテナ線をつなぐ77
 午前・午後ボタン46,95

さしすせそ

再生
 ある場面を止めて見る24
 映像をクッキリさせる26
 画像を見ながら探す24

テープを見る22
 ゆっくりした速さで見る24
 CMをとばして見る27
 サーチ24
 3倍
 3倍モードでの録画時間18
 録画モード「3倍」を選ぶ30
 残り時間52,53
 ジャストクロック95
 ジャンルマーク62
 主音声23
 19ミクロンヘッド2
 受信チャンネル
 エリアコードで合わせる90
 ~の表示を変える87
 ~を合わせる86
 ステレオ
 ~音声を選ぶ23
 ~から音声を録音する38
 ~放送の録音31
 ~をつなぐ38
 スロー再生24
 静止画再生24

た

タイムナビ56,64
 タイマー録画・予約
 タイマー録画を途中でやめる43,45,47
 デジタルCS放送をタイマー録画する40
 予約内容を確認する49
 予約のしかた41~48
 予約を取り消す49
 ダビング
 本機を再生側にしてダビングする37
 本機を録画側にしてダビングする36
 チャンネル設定86
 「オートチャンネル設定」86
 「チャンネルの設定/取消」89
 「チャンネルの表示の設定」87
 CATVのチャンネル設定88
 チャンネル
 映りの悪いチャンネルをとばす89
 映るチャンネルを確認する86
 ~の選ばれる順序86
 ~の表示を変える87
 ~を微調節する89

録画したいチャンネルを選ぶ30
 つめ
 ~を折る18
 ~を折ったテープに録画する18
 ~を折ったテープに録画すると31
 ~を折ったテープを再生すると22
 ~を折ったテープでタイマー予約すると18,43,45,47
 停止
 再生を停止する22
 タイマー録画を停止する33,43,45,47
 録画を停止する31
 デジタルCSチューナー83
 データのオート登録69
 テープナビ画面56
 テープナビメニュー58,60,61,67,69
 テープナビ55
 テレビ
 映像・音声入力端子つき~77
 AV-BUS II 端子つき~89
 ~でチャンネルを選ぶ33
 ~をつなぐ76
 リモコンで~を操作する72
 テレビ専用ボタン17,72
 音量ボタン72
 入力切換ボタン72
 チャンネルボタン72
 テレビ電源ボタン72
 テレビコード72
 電源
 ~が自動的に入る22
 ~を切る43,45,47
 転送42,45,47,95
 トラッキング103
 ~を調節する23,24
 時計
 ~の合わせかた94
 ~を修正する95
 ~を表示する52
 同軸ケーブル74,77
 ~を使ってテレビをつなぐ77
 分波器に同軸ケーブルを取り付ける78

ご参考



索引の見かた

見出し語と同じ形のもの「～」で代用してあります。
ただし、活用形や複合語、文の途中に出てくる場合は、文字で示してあります。

な に め ね の

二重音声
～放送を録画する31
～を選ぶ23

入力切替103
～ボタン36,38
テレビの入力切替を「ビデオ」にする85

ノーマルサウンド23

ノイズ
スロー再生中にノイズが出る時24
静止画が上下に揺れる時24
字幕が上下に揺れる時25

は ひ ふ へ ほ

早送り
テープを高速(260倍速)で早送りする23
テープを早送りする22
早送りしながら見たい場面を探す24

ビデオチャンネル85
ビデオ1/2/3切替71
ビデオ/テレビ切替19

「ビデオ」表示
～を消す33
～を出す19

ビデオヘッド
～の清掃8
～の磨耗8

標準
標準モードでの録画時間18
録画モード「標準」を選ぶ30

副音声23
プースター76,102
分波器76,102
～に同軸ケーブルを取り付ける78
～を使ってテレビをつなぐ77

ヘッドクリーニングテープ102
～でヘッドを清掃する8

ま み む め も

毎日/毎週
～録画43,48

巻戻し
テープを高速(260倍速)で巻戻しする23
テープを巻戻す22
巻戻しながら見たい場面を探す24

メニュー
メニュー画面49,50,54

モノラル23
～ビデオをつなぐ36,37

や ゆ よ

予約
Gコード予約41
リモコン予約46
→「タイマー録画・予約」も参照

ら り る れ ろ

ライブラリ登録67

リモコン
～受光部13
～の電池の入れかた12
～でビデオ、テレビを操作する17

リモコン切替ボタン71

録画
クイックタイマー33
見ている番組を録画する30
タイマー録画41
デジタルCS放送を録画する40
～しながら別の番組を見る33

録画時間18

録画モード103
～によるテープの録画時間18
～を選ぶ30,42,47

わ を ん

ワイドポジションボタン26

A B C

AV-BUSⅢ端子84
BSデコーダ81,82
BSチューナー内蔵テレビ79,81
BSワープボタン12
CATVをご使用のとき87
CL8,16
Closed Caption25
CMカット34,35
CMとぼしワザ27
Err16,51
Error41
FULL16,51
Gコード41,103
Gコード・インフォ103
～予約41
～を入力する41

Hi-Fiサウンド103
～を選ぶ23

JSB81
OSD表示37,54,103
PROG16,42,45
R-216
RF-1/2/OFF85
SQPB22
STスキップ29,54
TAB16,31
TAPE16
VISS104
～を使う26
UHF/VHF放送77,103
WOWOW81